

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所

設備運転保守管理業務

業務仕様書

設備運転保守管理業務仕様書

1 一般事項

- 1.1 業務名称 設備運転保守管理業務
- 1.2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 1.3 履行期間 令和7年10月1日午前9時から令和10年10月1日午前9時まで
- 1.4 建築概要
 - (1) 敷地面積 6,449.62 m²
 - (2) 延床面積 21,025.73 m²
 - (3) 構造規模
 - ・ 北館 (12,023.10 m²)
S R C造
地下1階 地上13階 塔屋2階 ヘリポート (ホバリング)
 - ・ 南館 (8,837.50 m²)
P C a P C造
地上8階 一部塔屋1階
 - ・ 渡り廊下 (41.64 m²)
S造
 - ・ ゴミ庫・ボンベ庫 (60.12 m²)
S造
 - ・ 社用車庫 (63.37 m²)
軽量鉄骨造
 - (4) 主要用途
研究所 (建築基準法における用途：事務所、集会場、その他「研究所」)
防火対象物の用途区分 (16) 項イ [集会場・その他の事業場]

2 業務概要

2.1 目的

地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所 (以下「発注者」という。) の敷地、建物および構内施設等の設備運転保守管理が円滑かつ、適正に行われるよう必要事項を定め、もって施設が良好な環境および安全に使用されることを目的とする。

2.2 管理体制

受注者は、本仕様書に基づき計画的かつ、適正に施設管理を行うとともに設備運転保守管理の実務について十分な知識、経験および技術を有する者によって行い、施設の利用者に対して安全のための管理体制をとること。

2.3 書類の提出

受注者は、本業務の実施に当たり、本仕様書により必要な書類を発注者の施設管理責任者 (施設 I T グループ職員) (以下「施設管理責任者」という。) に提出する。

2.4 関係法規等の遵守

受注者は、本業務の実施に当たり、本仕様書および関係法規を遵守するものとする。

2.5 業務の把握

受注者は、本業務が円滑かつ、適正に行われるよう目的、内容および業務手順等を充分理解するとともに、施設の実態状況を把握すること。

2.6 機密の保持

受注者は、職務中または、その他の機会に知り得た発注者の機密を自己のために使用したり、第三者に漏洩しないこと。

2.7 届出等

受注者は、契約の履行に当たって暴力団員等から妨害又は不当な要求を受けた場合は、警察署への届出及び発注者への報告をしなければならない。届出等がない場合は入札参加停止することがある。

2.8 周知

受注者は、本業務の実施に当たり、停電または断水等により発注者の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業内容および作業日程等を施設管理責任者へ余裕をもって提出し承諾を得るとともに、関係者にも周知する。

2.9 現状復旧

作業中、誤って器物を破損または、汚損した場合は、施設管理責任者に報告するとともに、受注者の責任において速やかに現状に復すること。

2.10 作業用の電気等

作業に伴い必要となる電気、水道およびガス等の使用は、施設管理責任者と協議を行い指示を受けること。

2.11 業務責任者等の選任

- (1) 発注者は、本業務に従事する者（以下「従事者」という。）の中から業務責任者および副業務責任者を選任する。
- (2) 業務責任者が休暇等で常駐できないときは、副業務責任者が、その職務を代行すること。
- (3) 業務責任者及び副業務責任者は、他の従事者の管理及び各種作業での的確な指示をすること。

2.12 業務計画書

受注者は、本業務の実施体制、全体工程、従事者が有する資格等、必要事項をまとめた業務計画書を作成し、施設管理責任者に提出して承諾を得ること。なお、変更の必要が生じ、かつ、その内容が重要と判断される場合は、変更計画書を施設管理責任者に提出し承諾を得ること。

2.13 作業計画書

受注者は、業務計画書に基づき業務別に実施日程、作業内容、作業手順、作業範囲、作業責任者、作業者、安全管理等を具体的に定めた作業計画書を作成のうえ、施設管理責任者に提出し承諾を得ること。

2.14 本業務の従事者

- (1) 従事者は、業務の内容に精通し、かつ、習熟した者を配置すること。
- (2) 関係法規に定める有資格者をもって作業に従事させること。
- (3) 配置する従事者の名簿を提出すること。
- (4) 従事者は、常に会社名、氏名の確認できる名札を左胸部に付け、受注者の従事者であることを明瞭にすること。
- (5) 従事者に相応しいよう、常に清潔を保たなければならない。

2.15 連絡体制

受注者は、緊急時に備え、早急に措置が取れるよう緊急連絡体制表を施設管理責任者に提出す

ること。また、緊急時の呼び出しに対応できるよう（従事者の派遣）体制を整えること。

2.16 安全の確認

作業の開始にあたっては、作業内容および作業場等の安全を確認のうえ作業を実施すること。

関係者等の通行等に支障をきたす場所での作業については、安全対策および養生を行ったうえ作業を実施すること。

2.17 確認

作業が完了した時は、機器等が正常に作動することを確認のうえ、施設管理責任者へ完了報告を行い、作業を終えること。

2.18 報告

業務責任者は、速やかに施設管理責任者へ次のとおり報告する。

- (1) 通常における報告は、翌日の午前中に受注者の様式で発注者指定メールアドレスに行うこと。
ただし、土・日曜日、「国民の祝日に関する法律」に規定する休日および年末年始（12月29日から1月3日）（以下「休・祝祭日等」という。）は、休・祝祭日等の休み明けに報告する。
- (2) 緊急事故等が発生した場合は、予め指定された連絡先に通報するとともに、後日受注者の様式で報告書を作成し発注者指定のメールアドレスに報告すること。
- (3) 報告書は、必要に応じ写真・資料等を添付すること。

2.19 臨機の措置

業務責任者は、作業中に発見した不具合等のうち、早急に措置が必要と思われるものについては、速やかに施設管理責任者へ報告し、指示を受けること。

2.20 緊急時の対応

停電、断水、浸水、漏水その他の事故が発生した場合は、事故被害、事故範囲を最小限に止められるように処置するとともに、事故発生を施設管理責任者に連絡すること。

また、応援が必要な場合は、連絡体制表により緊急呼び出しを行うこと。

2.21 検査

環境衛生管理業務等が完了した場合、受注者は、業務毎に報告書を作成の上、施設管理責任者の検査を受けること。

2.22 用語の定義

- (1) 本仕様書において、次の(1)～(7)に掲げる用語の意味は、それぞれ当該各号の定めによる。
通常における報建築物：建築基準法第2条第1項で規定する、屋根、柱、壁、門、塀および建築設備をいう。
- (2) 施設管理：建築物、諸施設、外構等の機能関連業務を効率的に実施に計るための維持管理活動をいう。
- (3) 保全：施設の機能の維持および耐久性の確保を行う点検、保守、運転、保安、清掃および修理をいう。
- (4) 点検：測定機器の使用または目視などにより、建築物の機能状態及び損耗の程度を調査し、その良否を判断することをいい、日常点検と定期点検がある。
 - ① 日常点検：視覚、聴覚、触覚、臭覚による簡便な方法により、設備機器等の状況を巡回しながら点検および保守を行う。
 - ② 定期点検：点検周期が比較的長く、半年以上のものをいう。ただし、日常点検の困難なものは半年未満でも定期点検する場合がある。
 - ③ 保守：点検結果に基づき機能の回復または危険防止のために実施する。

- ④ 運転・監視：施設の機能を発揮させるために、設備機器を稼働させ、その状態を監視・制御することおよび記録することをいう。
- ⑤ 修繕：修繕（建築物などの損耗部分を当初の機能に近づける措置）のうち軽微なものをいう。

2.23 負担区分

(1) 発注者負担

- ① 本業務に必要な防災センター・中央監視室及び宿直室
施設備品として設置
 - ア 防災センター・中央監視室
事務机・椅子×3セット
 - イ 宿直室
4人掛けテーブル及び椅子4脚、2人用更衣ロッカー×2台
簡易折り畳みベッド×1台、ユニットバス（トイレ付）
※ユニットバス（トイレ付）については日々清掃等を行い、常に清潔に保つこと。
- ② 本業務に必要な光熱水費。

(2) 受注者負担

- ① 作業服
- ② 業務に必要な工具、計測器
- ③ 業務に必要な装備品（懐中電灯、携帯電話、デジタルカメラ等）
- ④ 業務に必要なパソコン、プリンター（インク、用紙含む。）インターネット通信機器（通信料金含む）、設置費用等（ただし、有線のインターネット回線を引き込むことは不可。）
- ⑤ 控室等で使用する備品
- ⑥ その他業務に必要とされるもの

2.24 グリーン調達への取組

- (1) 施設管理において使用する物品が「大阪府グリーン調達方針」における調達推進物品に該当する場合は、判断の基準を満たしている物品が使用されていること。
- (2) 毎月、空気調和設備、照明設備、受変電設備、制御設備および給排水衛生設備等の稼動状況を集計し、施設管理責任者に提出すること。また、前月比又は前年同月比で著しく増加した場合は、その原因及び対応策について提案を行うこと。
- (3) グリーン調達を理由として、物品調達総量を増やすことにならないように留意する必要があることから、上記(1)の規定は、今後調達（買い替えを含む）を行う物品等について適用するものであり、現在使用している物品等の買い替えをもとめるものではない。

2.25 業務引継について

令和7年9月1日から9月30日まで、業務責任者、副業務責任者は、防災センター・中央監視室において、中央監視盤・防災盤ほか機器等の運転操作、保守点検などの取扱説明を既受注者から受けること。（取扱説明時間は原則、午前9時00分から午後5時00分までとする。）また、令和10年9月1日から9月30日までは、同様に次期受注者に引継ぎを行うこと。

2.26 その他

本仕様書は、一定の基準を示すものであり、記載なき事項でも、専門家として必要とされる軽微な作業については、金額範囲内において実施すること。また、施設の性格上、休日等に点検（法令定期点検ほか）を必要があるものは、点検に必要な勤務体制をとること。その他、疑義の

生じた事項については、施設管理責任者と協議の上、指示に従うこと。

2.27 本業務の適用範囲

本業務の適用範囲は〔表－１〕のとおりとする。ただし、臨時に行う点検等について、やむを得ないと認めたものについては、本仕様書を適用しない。

〔表－１〕

委託業務の適用範囲	委託業務の項目	委託業務の内容
1 設備運転監視・点検保守業務	1 設備機器の運転・監視 2 設備機器の日常点検 (運転と日常点検は一体的に行う)	1 電気設備 ① 受変電設備 ② 幹線設備 ③ 動力設備 ④ 電灯・コンセント設備 ⑤ 直流電源設備 ⑥ 自家発電設備 ⑦ 避雷針設備 ⑧ 照明制御設備 ⑨ 構内情報通信設備 ⑩ 中央監視設備 ⑪ 入退室管理設備 ⑫ 自動火災報知設備 ⑬ 監視カメラ設備 ⑭ 電気時計・非常放送設備 ⑮ テレビ共聴設備 ⑯ インターホン設備 2 機械設備 ① 冷暖房・空調熱源設備 ② 空気調和設備 ③ 給排水衛生設備 ④ 給蒸設備 ⑤ 自動制御設備 ⑥ 消火設備 ⑦ ガス設備 ⑧ 実験ガス設備 ⑨ 排水処理設備 ⑩ 濯水設備 3 特殊空調設備 ① BSL3・BSL2 ② 低温室 ③ 高圧蒸気滅菌装置 4 建築設備 ① 自動ドア
2 日常（定期）点検・保守業務	1 管理上必要な日常(定期)点検 2 管理上必要な日常(定期)保守 (点検と保守は一体的に行う)	
3 法令による定期点検	1 法令による定期点検	
4 環境衛生管理業務	1 ビル管法による定期点検	
5 修繕業務	1 設備機器類の部品交換等の点検は、定期点検に含む 2 破損したコンセント・スイッチの取替、過負荷に伴うＯＡタップの振替え等 3 軽微な修繕 ① 衛生器具類の部品交換修繕 ② 執務室出入口扉、共用部出入口扉の点検調整 ③ その他施設維持上の軽微な修繕	

		② 制震装置 ③ 免震装置 ④ 防火シャッター 5 構内施設 ① 外構 ② 外灯 ③ ハンドホール 6 ヘリポート設備
--	--	--

3 業務内容

3.1 設備運転監視・点検保守業務

3.1.1 目的

安全で効率の良い運転操作・監視を行い、機器の性能が充分発揮されるよう機能および劣化の状態を調べ、必要とする機能を維持する。また、事故の防止に努めることを目的とする。

3.1.2 管理業務体制

- (1) 従事者は、防災センター・中央監視室（北館 2 階）に常時勤務するものとし、本業務に必要な知識・経験及び技能を有する者とし、自衛消防組織の業務に関する講習（消防法施行規則第 4 条の 2 の 14）の講習を受講し修了証を取得した者とする。なお、自衛消防業務の講習修了証を持っていない者については、契約後速やかに講習を受講させ修了証を取得すること。また、自衛消防業務再講習（平成 20 年消防庁告示第 15 号）に定める期間内に再講習を受講すること。
- (2) 従事者のうち次の資格を有する者を選任し、関係官庁に対する届出は受注者にて行うものとする。
 - ① 電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）第 43 条に規定する第 3 種電気主任技術者以上の資格を有する者（以下「電気主任技術者」という。）
 - ② 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和 45 年法律第 20 号）第 6 条に規定する建築物環境衛生管理技術者（以下「衛生管理技術者」という。）
 建築物環境衛生管理技術者が常駐出来ない場合は、必要な知識・経験・技能を有した機械管理技術者を常駐させること。但し、環境測定等の法的規定のある業務は建築物環境衛生管理技術者が管理監督し実施すること。
- (3) 電気事業法第 43 条第 1 項により選任する電気主任技術者にあつては、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務の受注者の従業員であり、研究所に常時勤務すること。なお、下記にあげる事項すべてを約するものとする。
 - ① 設置者は、自家用電気工作物の工事、維持及び運用の保安を確保するに当たり、電気主任技術者として選任する者の意見を尊重すること。
 - ② 自家用電気工作物の工事、維持及び運用に従事する者は、電気主任技術者として選任する者がその保安のためにする指示に従うこと。
 - ③ 電気主任技術者として選任する者は、自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督の責務を誠実にを行うこと。
- (4) 電気主任技術者が病気その他やむを得ない事情により不在となる場合は、その業務の代行を行う者を発注者、受注者協議の上あらかじめ指名しておくものとする。

3.1.3 勤務体制および管理業務時間

(1) 昼間勤務

- ① 平日：3名以上
- ② 土・休・祝祭日等：1名以上
- ③ 管理業務時間：午前8時30分～午後5時30分

(2) 夜間勤務

- ① 平日：1名以上
- ② 土・休・祝祭日等：1名以上
- ③ 管理業務時間：午後5時30分～午前8時30分（内、仮眠時間6時間30分含む）

3.1.4 業務の内容

- (1) 空調・衛生設備および電気設備の運転操作業務は、操作チェックリストを準備し各設備運転操作が安全におこなえるよう操作手順を明確にすること。
- (2) 設備運転操作を行う場合は、設備機器の運転・停止の状態を確認し、順次操作を進めること。なお、空調運転（冷暖房運転等）は、原則として午前8時30分に運転を開始すること。
- (3) 常に系統及び負荷の状態を確実に把握し、各種計器類の指示表示の変化を監視し、異常の早期発見に努めること。
- (4) 電気事業法による自家用電気工作物の維持および運用についての保安規程、労働安全衛生法等関係法規を遵守して、適正にその点検保守業務を行うこと。
- (5) 停電等を伴う作業は、充分余裕をもって施設管理責任者への連絡を行い、復旧後は完全に元の状態になっていることを確認すること。
- (6) 点検において異常を発見した箇所について、本来の状態・機能に回復させること。また、発注者と協議の上、必要に応じて劣化部品の交換などを行うこと。
- (7) 受注者は、発注者の要請に応じ建物本体（扉、窓、水漏れ対応等）の軽微な修繕及び消耗品の交換（管球交換等）を行うこと。
- (8) 業務に必要な資機材及び部品等の購入依頼を行うこと。
- (9) 受注者は、別契約の関連業者が行う定期保守点検・修繕等に関し、必要に応じ立会うと共に協力すること。
- (10) 業務責任者は、機器等に異常が認められた場合の連絡体制、対応策について、施設管理責任者とあらかじめ協議して定めておくこと。なお、緊急を要する場合は、受注者は、直ちに点検業者等へ連絡すると共に必要な措置を講ずること。
- (11) 発注者が、別途発注する点検等の業務に必要な資料の作成等を行うこと。
- (12) すべての機器の機器台帳の整備を行うこと。
- (13) 電気室・機械室等の設備室は整理整頓及び、はき掃除程度の清掃を行うこと。また、北館・南館屋上設備機器周辺の清掃も行うこと。
- (14) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）に基づき、点検保守業務を実施すること。

3.1.5 業務の記録・報告等

下記の業務記録等を作成し、施設管理責任者に報告及び提出すること。

- (1) 運転監視状況および検針記録
- (2) 点検保守業務の記録および故障箇所・要修理箇所、法令点検等の結果報告書
- (3) 各種エネルギー管理に必要なデータを収集し、「地方独立行政法人 大阪健康安全

基盤研究所環境方針」及び「同環境マニュアル」に基づく削減目標についての報告・助言を行う。

- (4) 上記については必要に応じて、電子データも併せて提出すること。

3.1.6 設備機器リスト

下記の別表設備機器リストによる。

- (1) 電気設備機器リスト（別表１）
- (2) 機械設備機器リスト（別表２）
- (3) 建築設備機器リスト（別表３）
- (4) ヘリポート設備機器リスト（別表４）

3.2 日常点検および保守業務の内容
(電気設備関係点検及び保守)

電 気 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
1 電灯・動力設備	1 分電盤・開閉器 2 動力制御盤 3 照明器具 4 幹線	① 盤内部の損傷、錆、発熱若しくは異音の有無 又は配線の接続状態の良否 ② 作動の良否 ③ 幹線の損傷、錆又は発熱の有無 ④ 支持物の損傷若しくは錆の有無又は発熱の有無 ⑤ 共用部照明点灯の良否 ⑥ 照明灯の取替え（球は支給）		○ ○ ○ ○ ○	
2 受変電設備 高圧配電盤 高圧機器	1 キュービクル（配電盤） 母線連絡盤 饋電盤 TR盤等 2 部配線 ケーブル配線 バスダクト ケーブルラック・配管 3 変圧器 モールド 4 交流遮断器 真空遮断器 5 断路器 6 計器用変成器 7 避雷器 8 高圧負荷開閉 9 高圧カットアウト 10 電力ヒューズ 11 高圧電磁接触器 12 力率改善装置 進相コンデンサ 直列リアクトル 13 指示計器 14 保護継電器 15 低圧開閉器類	① 固定状態の良否 ② 亀裂、損傷、摩耗、錆、異常、異音若しくは異常振動の有無又は配線の接続状態の良否 ③ 接地抵抗測定 ④ 放射温度計による温度測定 （停電による点検がある年を除く） ⑤ 操作機構部の損傷若しくは摩耗の有無又は潤滑油若しくは作動の良否 ⑥ 総合作動試験 ⑦ 付属計器類の設定値又は警報装置の作動の良否 ⑧ 保護継電器の特性試験		○ ○ ○ ○	
				都 度	
				停電による 点検時に実施	

電 気 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
3 非常用発電設備 ディーゼルエンジン	1 本体 2 付属装置 3 付属計器類保護装置・警報装置	① 作動の良否 ② 固定状態の良否 ③ 亀裂、損傷、摩耗、錆、異常、異音若しくは異常振動の有無又は配線の接続状態の良否 ④ 油、水及び空気の漏れの有無 ⑤ 潤滑油の良否及び油量の確認 ⑥ 放熱部塵埃等の付着・堆積物の有無 ⑦ 作動試験 ⑧ 調定値の良否 ⑨ 保護装置及び警報装置の作動の良否 ⑩ 機器及付属装置の作動時における警報装置の作動の良否		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	
4 直流電源装置・ 交流無停電電源装置 (1) 直流電源装置 (2) 交流無停電電源装置	1 整流装置 2 蓄電池 3 交流無停電電源装置 4 蓄電池用整流装置	① 充電電圧の良否 ② 支持台及び固定具の錆、腐食又は緩みの有無 ③ 蓄電池の表面温度		○ ○ ○	
5 通信・情報設備	1 電気時計設備 2 拡声装置 3 インターホン設備 4 TV共聴設備	① 作動の良否 ② 固定状態の良否 ③ 映像の良否 (TV共聴設備)		○ ○ ○	
6.中央監視設備	1 中央監視制御装置 2 自動記録装置及び 末端装置	① 損傷、錆、発熱若しくは異音の有無又は配線の接続状態の良否 ② 中央処理部の作動確認 ③ 入出力値の作動確認	○ ○ ○		
7.避雷設備	1.避雷設備	① 受電部及び避雷導線の取付け状態 若しくは接続状態の良否又は損傷又は錆の有無		○	
8. I T V設備	1. I T V架 2. I T Vカメラ	① 作動の良否 ② 固定状態の良否		○ ○	
9.漏水対策設備	1.漏水検知器	① 作動の良否 (分電盤に組み込み)		○	
10.入退室管理設備	1. 管理用パソコン	① 作動の良否 ② 損傷の有無		○ ○	

電 気 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
11.構内設備	1.外灯設備 2.配線及び機器	① 配線及機器の損傷、腐食若しくは発熱の有無又は取付け状態若しくは接続状態の良否 ② ハンドホールの亀裂、損傷、又は沈下の有無 ③ 配線の支持物及び保護物の変形、損傷若しくは腐食の有無又は取付け状態の良否 ④ 機器の作動試験		○ ○ ○ ○	

(機械関係保守及び点検機器)

機 械 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
1.水槽設備	1高架水槽	① 外観点検 (漏水、汚損、腐食、施錠、防虫網) ② 作動確認、調整 (警報装置、制御装置、ボールタップ、ゲートバルブ等) ③ 槽内汚れの点検	○	○	○
2.ポンプ及び配管設備	1.給水ポンプ 2.圧力ポンプ 3.給湯循環ポンプ	① 作動確認 (電流値の確認) ② 作動時の異音、異常振動の点検 ③ 外観点検 (異音、油量、排水等) ④ グランドよりの滴下水量の適否	○ ○ ○ ○		
3.給湯設備	1.貯湯槽 2.湯沸器	① 外観点検 (貯湯量、湯温、燃焼、排気、漏水、ガス等) ② 各計器の指示値確認、記録 (圧力、電流値、湯温、水頭圧、蒸気圧等)	○ ○		
4.衛生陶器設備	1.洗面器 2.シスタック 3.フラッシュ 4.大便器、小便器	① 外観点検 (破損、漏水、排水の詰まり等) ② 作動確認、調整 (ボールタップ、水量等) ③ ビル管理法に定める給水栓末端における残留塩素の確認 (※週1回)	○	○ ※	
5.排水管設備		① 排水状態の点検		○	
6.汚水、排水槽	1.緊急排水槽 2.高温排水槽 3.湧水槽 4.雨水槽 5.雨水貯水槽	① 外観点検 (密閉状態、害虫、浮遊物、沈殿物等) ② 制御装置、警報装置の作動確認 (高温排水槽のみ) ③ 害虫の発生状況の点検 ④ マンホール蓋の密閉状態確認		○ ○ ○ ○	
7.汚水、排水ポンプ等	1.汚水ポンプ 2.雑排水ポンプ 3.湧水ポンプ 4.実験排水ポンプ	① 外観点検 (異音、油量、排水等) ② 各計器の指示値確認、記録 (電流値等) ③ ポンプの作動確認		○ ○ ○	

機 械 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
8.ボイラー及び付属装置 (簡易貫流式蒸気 ボイラー)	1.ボイラー 2.バーナー 3.油タンク 4.配管付属装置 5.煙道 6.ストレージタンク 7.ボイラー給水ポンプ 8.オイルポンプ	① 各計器の指示値確認、記録（圧力、温度、 水位燃焼状態 等） ② ボイラー水のドレン抜き ③ ボイラー水のPH測定 ④ 外観点検（異音、異臭、異常、振動、破損、 油漏れ等）	○ ○ ○ ○		
9.冷凍機	1.空冷コンプレッサー 2.ガス冷温水チラー	① 抽気回収装置の機能確認 ② 各計器の指示値確認、記録（冷水温、 冷却水、油圧、油量、蒸発、圧力、 凝縮圧力等） ⑤ 冷媒漏れ点検 ⑥ 外観点検（異音、異臭、異常、振動、 破損等）	○ ○	○ ○	
10.吸収式冷温水発生機		① 各計器の指示値確認、記録（冷水温、 冷却水、圧力、真空度、液質等） ② 外観点検（異音、異臭、異常、振動）	○ 	○	
11.熱交換器	1.クーリングタワー	① 水温、水頭圧、蒸気圧の有無 ② 外観点検（破損、発錆、漏れ、腐食等） ③ Vベルト交換	○ ○		1回／2年
12.配管及び配管付属品		① 外観点検（破損、発錆、漏れ、腐食等） ② 弁類の開閉状態	○ ○		
13.薬液注入装置	1.クーリングタワー用	① 液量の確認 ② 外観点検（破損、発錆、漏れ等）		○ ○	
14.空気調和設備及び 付属装置	1.空気調和機 2.パッケージ型空気 調和機 3.ファンコイルユニット	① 各計器の指示値確認、記録（電流、冷水温、 冷却水温度） ② 汚れ状況の点検（フィルター、コイル、 ドレン、エリミネーター等） ③ ファン、Vベルト、点検 ④ 外観点検（異音、異臭、異常、振動、 破損、腐食、詰まり、汚損、水漏れ等）		○ ○ ○	共用部1回／日 その他1回／月

機 械 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
15.空調付属装置	1.冷温水ポンプ 2.冷却水ポンプ	① 各計器の指示値確認、記録（圧力、電流値等） ② グランド滴下水量の確認 ③ 回転部異音、異臭、異常振動、加熱の点検 ④ Vベルト、カップリング点検、調整 ⑤ 外観点検（破損、腐食、水漏れ等）	○	○ ○ ○ ○	
16.送風機、排風機 及び付属装置	1.送風機 2.排風機 3.付属装置	① 電流値の確認、記録 ② 外内、吹出口、換気口の汚れ点検 ③ Vベルトの点検 ④ キャンバス部の破損点検 ⑤ 外観点検（異音、異臭、異常振動、破損、腐食加熱、汚損等） 天井隠ぺい型のみ（異音、異臭、異常振動）		○ ○ ○ ○ ○	
17.風道及び附属装置		① ダクト、フード、フィルター等の汚れ点検、清掃		○	
18.高圧ガス設備		① 中央監視室での警報監視	○		
19.中和処理槽		① 作動状態の確認 ② 各計器の指示値確認、記録 ③ 外観点検（破損、腐食、水漏れ等）	○ ○ ○		
20.緊急シャワー設備		① 作動状態の確認 ② 外観点検		○ ○	
21.灌水設備		① 作動状態の確認 ② 外観点検（破損、漏水等ホース含む）		○ ○	

消 防 設 備 区 分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
1.自動火災報知器 設備		① 蓄電池の電圧確認 ② 各種スイッチの定位置の確認		○ ○	
2.誘導灯・誘導標識		① 変形・損傷の有無 ② 予備電源による点灯確認		○ ○	
3.非常警報設備		① 蓄電池の電圧確認 ② 各種スイッチの定位置の確認		○ ○	
4.漏電火災警報器		① 電源表示灯の点灯確認 ② 各種スイッチの定位置の確認		○ ○	
5.非常用照明設備		① 器具取り付け状態の確認 ② 変形・損傷の有無		○ ○	
6.防災設備	1.非常照明装置 2.防火扉、ダンパー類 3.排煙装置 4.ガス漏れ警報	① 汚れ、損傷又は錆の有無 ② 点灯試験		○ ○	
7.消火器		① 定位置及び標識の確認		○	
8.連結送水設備		① 送水口の変形・損傷の有無 ② 消防自動車の接近障害の有無		○ ○	
9.不活性ガス消火 設備		① ヘッドの変形・損傷の有無 ② 制御装置の各種スイッチ、ボタンの 定位置の確認		○ ○	
10. スプリンクラー 設備		① ヘッドの変形・損傷の有無 ② 定位置の確認		○ ○	
11. 粉末消火設備		① 定位置及び標識の確認		○	

(ヘリポート設備関係保守及び点検機器)

設備区分	点検及び保守項目	点 検 及 び 保 守 の 主 要 内 容	点 検 周 期		
			日	月	年
1.基本施設	1.ヘリポート 2.飛行場標識施設 (マーキング)	① 離着陸帯の損傷等の有無 ② 離着陸帯の飛散ゴミ等の回収 ③ 飛行場標識施設(マーキング)の 損傷の有無		○ ○ ○	
2.航空等灯火設備	1.ヘリポート照明制御盤 (風向風速計指示部 含む) 2.着陸区域照明灯 3.境界灯	① 外観及び灯具内部点検 (損傷・雨水透等の有無) ② 点灯状況の確認 球切れの際は交換(電球は支給) ③ 制御盤の表示灯の点灯状態及び ランプチェック		○ ○ ○	
3.付帯設備	1.インターホン 2. I T V	① 外観点検 ② インターホン通話確認		○ ○	

3.3 定期点検業務

3.3.1 定期点検

定期点検は次のとおりとする。なお、点検実施時期については別添1のとおりとする。

定期点検		点 検 内 容	点検回数
1	消防設備点検業務	消防設備の機器点検及び総合点検を行う 消防設備点検報告書の提出（総合点検）	2回／年 1回／年
2	防火対象物定期点検業務	防火対象物点検資格者による点検を行う 防火対象物定期点検報告の提出	1回／年 1回／年
3	防災管理点検業務	防災管理点検資格者による点検を行う 防災管理点検報告書の提出	1回／年 1回／年
4	免震材料点検業務	免震建物点検技術者による点検を別添仕様書に基づき行う	1回／年
5	建築設備・防火設備点検業務	建築基準法有資格者による点検を行う 建築設備・防火設備定期検査報告書の提出	1回／年 1回／年
6	特定建築物調査業務	建築基準法有資格者による点検を行う 特定建築物定期検査報告書の提出	※1
7	高圧電気設備年次点検業務	別添仕様書に基づき点検を行う	※2
8	非常用発電設備点検業務	別添仕様書に基づき点検を行う	1回／年
9	地下タンク法定漏洩点検業務	別添仕様書に基づき点検を行う	1回／3年
10	フロン定期点検業務	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づき点検を行う	1回／3年

※1 特定建築物調査業務については、令和10年7月末までに報告すること。

※2 高圧電気設備点検業務については、令和8年度、令和10年度は7月～9月に無停電による点検を実施し、令和9年度は、停電を実施して行うこと。また、電気主任技術者は施設管理責任者と事前に無停電点検時期、停電点検時期及び仮設電源供給機器等の調査打合せを行うこと。

3.4 環境衛生管理業務

3.4.1 目的

庁舎を快適で衛生的な環境の確保を図り、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」（以下「ビル管法」という。）を遵守することを目的とする。

3.4.2 環境衛生管理業務体制

建築物環境衛生管理技術者は、ビル管法に従い環境衛生の維持管理に関する監督を行い、衛生的環境の確保に努める。

3.4.3 環境衛生管理業務

測定項目等はビル管法のとおりとする。なお、実施時期については別添2のとおりとする。

環境衛生業務区分	業 務 の 内 容	年間点検回数
1.空気環境測定 照度測定含む	本所（測定ポイント：23P）	6回
2.飲料水水質測定	・簡易項目・全項目 ・消毒副生成物12項目（6月～9月） 測定ポイント：2P （北館1階警備員室及びトイレ） ※残留塩素の測定周期は1回/週とする。	2回 1回
3.簡易専用水道法定検査	測定ポイント：2P	1回
4.冷却水水質検査	冷却塔冷却水（測定ポイント：2P）	2回
5.貯水槽の清掃	高架水槽（24m ³ ）、（15m ³ ）	1回
6.各種エアフィルター洗浄	ファンコイル・空調機及びパッケージエアコン等	2回以上
7.排水水質検査	測定ポイント：1P	12回
8.汚水・雑排水槽等清掃	汚水・湧水・雨水・高温排水槽（釜場のみ）	1回
9.煤煙測定	測定ポイント：2P	2回
10.冷却塔清掃	冷房イン、冷房オン（ストレーナー清掃含む）	2回
11.害虫生息調査	測定ポイント：212P	2回

3.5 業務の記録・報告等

3.1.4 に準ずる。

3.6 その他

3.6.1 改正フロン法（フロン排出抑制法）に基づく簡易点検及び定期点検

業務用空調機器について、フロン排出抑制法に基づく簡易点検を3か月に1回以上、定期点検（圧縮機の定格出力7.5kW以上）を3年に1回以上実施し、その結果を報告すること。

3.6.2 定期保守点検業務

定期保守点検は製造メーカー等に再委託を行うこととし、点検日程調整、点検作業立会い及び操作等の確認を行うこと。

対象となる業務、再委託先等は別添3-1、点検実施時期については別添3-2のとおりとする。また、別添3-1の点検仕様は別添仕様書のとおりとする。

3.6.3 ACU・排気ファンベルト交換、軸受け注油業務

ACU（別添4-1）、排気ファン（別添4-2）のベルト交換及び軸受け注油を行うこと。

なお、対象機器以外でベルト等交換が必要な場合は、別途契約とする。

No	機 器 名	仕 様	単 位	数 量	数 量	数 量
1	高圧受変電設備	高圧配電盤(非発系1面含む)	面	8	7	15
		低圧配電盤	面	19	10	29
		取引用変成器	台	0	1	1
		CT 変流器	台	32	16	48
		ZCT 零相変流器	台	13	11	24
		DS 断路器	台	2	1	3
		変圧器(500KVA以下)	台	9	10	19
		VCB 真空遮断器	台	7	9	16
		LBS 高圧負荷開閉器	台	9	10	19
		UVR 不足電圧継電器	台	2	1	3
		OCR 過電流継電器	台	6	8	14
		DGR 地絡方向継電器	台	3	7	10
		LGR 低圧地絡継電器	台	10	11	21
		高圧進相コンデンサー	台	3	3	6
		VMC 真空電磁接触器	台	3	3	6
		直列リアクトル	台	3	3	6
		VT 計器用変圧器	台	4	2	6
		PAS 高圧引込用気中開閉器(LA内蔵)	台	0	1	1
2	非常用発電機	自家発電装置(625KVA)	台	0	1	1
		自動始動盤	面	0	1	1
		真空遮断器	台	0	1	1
		燃料貯油槽(9000ℓ)	基	0	1	1
		燃料小出槽(1950ℓ)	基	0	1	1
		ポンプ制御盤	面	0	1	1
		燃料移送ポンプ	台	0	1	1
3	中央監視設備		式			1
4	防災設備	GR型複合受信盤	式			1
		中継器盤	面	12	7	19
		感知器	個	536	327	863
		誘導灯	台	264	101	365
		ガス漏れ火災警報設備	個	2	4	6
		誘導灯標識	枚	7	7	14
5	非常放送設備	操作部	面	1	0	1
		防災アンプ(600W)	台	1	0	1
		スピーカー	個	256	168	424
6	負荷設備	動力盤	面	45	78	123
		低圧分電盤(電灯盤・電灯動力盤)	面	137	108	245
		照明制御盤	式			1
		照明器具(一般)	台	1878	1449	3327
7	直流電源設備	操作用及び非常照明用	式			1
8	電気時計設備	会議室・共用部	式			1
9	ITV設備	監視カメラ(エレベータ含む)	台	50	21	71
		屋外監視カメラ	台	2	5	7
10	昇降機設備	乗用エレベータ	台	3	2	5
		非常用エレベータ	台	1	0	1
		小荷物専用エレベータ	台	0	1	1
11	インターホン設備	インターホンシステム	式			1
12	非常警報設備	非常警報システム	式			1
13	TV共聴設備	TV共聴システム	式			1
14	鍵管理・入退室管理設備	鍵管理・入退室管理システム	式			1
15	OA-LAN設備	OA-LANシステム	式			1
16	AV設備	AVシステム	式			1

No	機 器 名	仕 様		数 量	数 量	数 量
1	空冷モジュールチラー	冷却能力150KW	台	11	0	11
2	ガス吸収式冷温水機	冷却能力1,266KW	台	0	2	2
3	冷却塔	冷却能力2,341KW	台	0	2	2
4	ガス冷温水チラー	冷却能力71KW	台	9	4	13
5	簡易貫流蒸気ボイラー	熱出力219KW	台	0	2	2
6	密閉式膨張タンク		台	2	2	4
7	冷温水ヘッダー(往・還)		台	0	6	6
8	冷水ポンプ		台	3	3	6
9	温水ポンプ		台	3	3	6
10	冷却水ポンプ		台	0	4	4
11	ファンコイルユニット		台	171	0	171
12	空調機		台	21	25	46
13	パッケージエアコン	業務用	台	7	25	32
14	ビル用マルチエアコン	室外機	台	22	38	60
		室内機	台	74	184	258
15	送排風機		台	134	105	239
16	ケミカルファン		台	27	4	31
17	可変風量装置(VAV)		台	53	118	171
18	定風量装置(CAV)		台	214	97	311
19	高架水槽	上水用 FRP製 有効容量24m³	基	1	0	1
		雑用水用 FRP製 有効容量15m³	基	1	0	1
		空調用 FRP製 有効容量12m³	基	0	1	1
20	消火用補給水槽	SUS製 有効容量1.5m³	基	1	0	1
21	給水ブースターポンプユニット	2台 5.5KW	組	1	0	1
22	給水ブースターポンプユニット	3台 5.5KW	組	0	1	1
23	上水用給水ポンプユニット	上水用	組	1	1	2
24	給湯用循環ポンプ		組	1	1	2
25	給湯用膨張タンク		台	1	1	2
26	防災設備	スプリンクラー用消火ポンプ(B1～7階用)55KW	台	1	0	1
		スプリンクラー用消火ポンプ(8～R1階用)45KW	台	1	0	1
		スプリンクラーヘッド	個	1181	603	1784
		補助散水栓	カ所	36	22	58
		不活性ガス消火ポンプ(起動用2本含む)	本	0	17	17
		噴出ヘッド	カ所	5	5	10
		連結送水管放水口(単口、双口)	カ所	12	6	18
		送水口	カ所	1	1	2
		粉末消火設備(危険物倉庫用 60Kg/80ℓ)	式	1	0	1
		消火水槽(地下ピット)	基	1	0	1
		排煙ファン	台	1	0	1
27	各種排水槽用水中ポンプ	緊急排水槽用	台	2	2	4
		湧水槽用	台	6	8	14
		雨水槽用	台	8	0	8
		中和処理原水用	台	2	0	2
		中和処理	台	2	0	2
		中和処理中継槽	台	0	2	2
		高温排水槽	台	0	2	2
28	衛生器具類	衛生陶器、水栓類	個	232	127	359
29	ガス給湯器	50号	台	2	8	10
30	貯湯槽	SUS製 有効容量 2m³	基	1	0	1
31	ガス湯沸かし器	5号	台	13	25	38
32	灌水設備	屋外散水用	式	1	2	3

建築設備機器リスト(別表3)令和6年11月現在

北館 南館 合計

No	機 器 名	仕 様		数 量	数 量	数 量
1	自動ドア		基	6	19	25
2	制震装置		基	41	0	41
3	免震装置		基	0	32	32
4	防火シャッター		カ所	5	3	8
5	防火戸	常開	カ所	29	6	35
6	防火ダンパー		カ所	4	3	7
7	防煙ダンパー		カ所	2	0	2
8	排煙ダンパー		カ所	1	0	1
9	排煙口		カ所	62	0	62
10	排煙口手動操作函		カ所	62	0	62

ヘリポート設備機器リスト(別表4)令和6年11月現在

北館 南館 合計

No.	機 器 名	仕 様		数 量	数 量	数 量
1	基本施設	ヘリポート躯体	面	1		1
		飛行場標識施設(マーキング)	面	1		1
		吹流し	組	1		1
2	航空灯火設備	ヘリポート照明制御盤	面	1		1
		風向灯	組	1		1
		着陸区域照明灯	組	1		1
		境界灯	個	8		8
3	その他付帯設備	ヘリポート航空制御盤に係る電気設備	式	1		1
		その他	式	1		1

定期点検実施時期

定期点検		年度				備考
		7	8	9	10	
1	消防設備点検業務	2月	7月 2月	7月 2月	7月	7月 総合点検 2月 機器点検
2	防火対象物定期点検		7月	7月	7月	
3	防災管理点検業務	11月 12月	11月 12月	11月 12月		11月～12月上旬に実施
4	免震材料点検業務	1月 2月	1月 2月	1月 2月		1月～2月に実施 9年度竣工後5年定期点検
5	建築設備・防火設備点検業務		7月	7月	7月	
6	特定建築物調査業務				4月 6月	4月～6月に実施 7月末までに報告書提出
7	高圧電気設備年次点検業務		7月～ 9月	11月	7月～ 9月	8・10年度 無停電にて7月～9月実施
8	非常用発電設備点検業務		7月～ 9月	7月～ 9月	7月～ 9月	
9	地下タンク法定漏洩点検業務				8月 9月	8月～9月に実施
10	フロン定期点検業務	10月 11月				10月～11月に実施

環境衛生業務実施時期

定期点検		年度				備考
		7	8	9	10	
1	空気環境測定 照度測定含む	11・1・3月	備考参照	備考参照	5・7・9月	5・7・9・11・1・3月
2	飲料水水質測定	12月	6月 12月	6月 12月	6月	
3	簡易専用水道法定検査		9月	9月	9月	
4	冷却水水質検査	10月	6月 10月	6月 10月	6月	
5	貯水槽の清掃		6月	6月	6月	
6	各種エア-フィルター洗浄	11月	5月 11月	5月 11月	5月	
7	排水水質検査	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	
8	汚水・雑排水槽等清掃		9月	9月	9月	
9	煤煙測定	3月	9月 3月	9月 3月	9月	
10	冷却塔清掃		4月 8月	4月 8月	4月 8月	
11	害虫生息調査	12月	6月 12月	6月 12月	6月	

定期保守点検		再委託先	R 6 年度契約額 (税込み) 単位(円)
1	ガス吸収冷温水機保守点検業務	川重冷熱工業株式会社	2,915,000
2	自動扉保守点検業務	ナブコドア株式会社	990,000
3	排水処理設備保守点検業務	株式会社ゼオ	1,708,300
4	防災監視システム保守点検業務	パナソニック防災システムズ株式会社	1,379,400
5	入退室管理設備保守点検業務※	パナソニック E W エンジニアリング株式会社	1,507,000
6	電力監視設備外保守点検業務※	パナソニック E W エンジニアリング株式会社	1,280,400
7	構内交換電話設備保守点検業務	株式会社スイタ情報システム	594,000
8	昇降機保守点検業務	三菱電機ビルソリューションズ株式会社	6,454,800
9	ガスヒートポンプチラー保守点検業務（フロン定期点検含む）	ヤンマーエネルギーシステム株式会社	契約実績なし
10	空冷ヒートポンプチラー保守点検業務（フロン定期点検含む）	株式会社 R Y O D E N	契約実績なし
11	簡易ボイラー保守点検業務	株式会社日本サーモエナー	契約実績なし

※令和 6 年度オンコール・オンサイト契約は含まない契約金額である。

定期保守点検実施時期

定期保守点検		年度			備考
		8	9	10	
1	ガス吸収冷温水機保守点検業務	4～5月 冷房シーズンイン点検 冷却水チューブ洗浄 溶液分析 7～9月 冷房シーズンオン点検 10～11月 暖房シーズンイン点検 1～2月 暖房シーズンオン点検			R10年度暖房シーズンイン、暖房シーズンオン点検は業務対象外
2	自動扉保守点検業務	6月 12月	6月 12月	6月	
3	排水処理設備保守点検業務	1回/月	1回/月	1回/月	毎月下旬に実施
4	防災監視システム保守点検業務	6～7月 1～2月	6～7月 1～2月	6～7月	
5	入退室管理設備保守点検業務	10～11月	10～11月		
6	電力監視設備外保守点検業務	1～2月	1～2月		
7	構内交換電話設備保守点検業務	1回/月	1回/月	1回/月	毎月中旬に実施
8	昇降機保守点検業務	1～6号機 遠隔点検 1回/月 1～6号機 技術員による点検 1・2・4号機 5月・8月・11月・2月 3・5・6号機 6月・9月・12月・3月 7号機 技術員による点検 1回/月			
9	ガスヒートポンプチラー保守点検業務（フロン定期点検含む）	北館 R7年 10～11月 南館 R9年 4～5月			
10	空冷ヒートポンプチラー保守点検業務（フロン定期点検含む）		4～5月 10～11月		
11	簡易ボイラー保守点検業務		4～5月 10～11月		

ACUベルト交換・軸受け注油機器一覧表

各年度○印の内容を実施すること

ACU番号	設置場所			メーカー	型式	台数	ベルト			R8年度		R9年度		R10年度	
							型式	種別	数量	ベルト 交 換	軸受け 注 油	ベルト 交 換	軸受け 注 油	ベルト 交 換	軸受け 注 油
101	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-22	1	B104R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
102	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-4	1	A52R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
301	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-11	1	B83R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
302	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-10	1	B72R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
303	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-70	1	B100R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
304	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-10	1	B73R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
401	南館	2階	機械室	新晃工業(株)	SH-40	1	B116R	レッド	3	○	○	○	○	○	○
501	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-10	1	B68R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
502	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-9	1	B65R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
503	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-10	1	B65R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
601	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-3	1	A47R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
602	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-6	1	A48R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
603	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-6	1	A45R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
604	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-6	1	A49R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
701	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-4	1	A56R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
702	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-5	1	A47R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
703	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-4	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
704	南館	R1階	機器置場	新晃工業(株)	KH-3	1	A46R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
801	南館	8階	観測室	新晃工業(株)	DCS-3	1	A48R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k101	北館	2階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ40-A0-BD	1	A46R	レッド	1	○	○	○	○	○	○
k102	北館	2階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ40-A0-BD	1	A44R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k103	北館	3階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ40-A0-BD	1	直結				○		○		○
k201	北館	3階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ60-A0-BD	1	A49R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k301	北館	4階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ125-A0-BD	1	A61R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k302	北館	4階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ100-A0-BD	1	A62R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k401	北館	5階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A52R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k501	北館	5階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ60-A0-BD	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k601	北館	6階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k701	北館	7階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k801	北館	8階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k802	北館	8階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ250-A0-BD	1	B91R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k901	北館	9階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ200-A0-BD	1	B70R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1001	北館	10階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A62R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1002	北館	10階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ125-A0-BD	1	B69R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1101	北館	11階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ80-A0-BD	1	A50R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1102	北館	12階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ40-A0-BD	1	A44R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1103	北館	11階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ100-A0-BD	1	A54R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1201	北館	12階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ300-A0-BD	1	B89R	レッド	2	○	○	○	○	○	○
k1301	北館	13階	空調機械室	新晃工業(株)	AJ250-A0-BD	1	B85R	レッド	2	○	○	○	○	○	○

排気ファンベルト交換・軸受け注油機器一覧表

R7年度及びR9年度のみ実施すること

No	排気ファン 名 称	棟	設置場所	メーカー	型式	台数	ベルト			R7年度		R9年度	
							型式	種別	数量	ベルト 交 換	軸受け 注 油	ベルト 交 換	軸受け 注 油
1	FE-k801-3	北館	8F機械室	テラル(株)	CTF2-U-NO.2-BH-L-OB-e	1	A62	STD	2	○	○	○	○
2	FE-k901-7	北館	屋上	テラル(株)	CTF2-NO.2-TV-R-OB-B-e	1	A53	STD	2	○	○	○	○
3	FE-K1201-4	北館	屋上	テラル(株)	CTF2-NO.2-TV-R-OB-B-e	1	A53	STD	2	○	○	○	○
4	FE-301-2	南館	3F天井	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-TH-R-RS-NI	1	A33	STD	1	○		○	
5	FE-304-8	南館	3F天井	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS-NI	1	A33	STD	1	○		○	
6	FE-502-2	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
7	FE-502-3	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
8	FE-502-4	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
9	FE-502-6	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
10	FE-502-9	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
11	FE-604-7	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
12	FE-604-4	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
13	FE-604-5	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
14	FE-601-3	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
15	FE-603-3	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
16	FE-701-2	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1.25-BH-R-RS	1	A41	STD	1	○		○	
17	FE-603-5	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
18	FE-603-6	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
19	FE-603-7	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
20	FE603-8	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
21	FE-603-9	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
22	FE-603-10	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
23	FE-602-7	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	
24	FE-602-8	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
25	FE-602-11	南館	R2F 下部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-L-RS	1	A33	STD	1	○		○	
26	FE-602-12	南館	R2F 上部	テラル(株)	CLF6-U-NO.1-BH-R-RS	1	A33	STD	1	○		○	

仕 様 書

- 1 業務名称 免震材料保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和7年10月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 建築基準法第20条第1項第三号に掲げる建築物の構造方法に基づき認定された免震材料の維持管理を適正に行うものとする。
 - (3) 本仕様書に記載なき事項については、日本免震構造協会「免震建物の維持管理基準-2018-」によるものとする。
- 5 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 6 その他
 - (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
 - (2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
 - (3) 受注者は、作業中破損個所を発見したときは、直ちに施設ITグループ担当職員（以下「担当者」という。）に報告し指示を受けること。
 - (4) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を担当者に通知するとともに担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。
- 7 委託概要及び委託範囲
 - 仕 様 免震材料を良好な状態に維持するため、点検を実施すること。
 - 1 業務内容
免震建物点検技術者による通常点検を履行期間中に令和7年度・8年度各1回及び竣工後5年定期点検を令和9年度1回行う。
点検仕様については、通常点検は別紙1、竣工後5年定期点検は別紙2による。
 - 2 報告書
 - (1) 点検終了後、速やかに報告書を作成の上、担当者に提出すること。
 - (2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
 - (3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。
 - 3 検 査
受注者は、本業務が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けること。
 - 4 その他
 - (1) 作業計画
業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。
なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を

担当者に報告し、承諾を受けること。

(2) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

以 上

点 検 仕 様

位置		箇所	通常点検						
			点検項目		点検方法	管理値			
免振材料	積層ゴム支承	18 基	被覆ゴムの外観	汚れ、異物	目視	汚れ・異物付着がない			
				傷	目視	有害な傷がない			
					計測	長さ、深さとも10mm未満			
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない			
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない			
			取付部躯体	破損の有無	目視	取付躯体にひび割れなどがない			
	弾性すべり支承	6 基	すべり板の外観	汚れ、異物	目視	摩擦面に有害な汚れ・異物の付着			
				発錆、傷	目視	摩擦に影響を与える錆、傷の有無			
					計測				
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない			
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない			
			取付部躯体	損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない			
	防塵カバー	損傷、はずれ	目視	損傷・はずれがない					
	U型鋼材ダンパー	4 基	ダンパー部の外観	変形	目視	外観上に大きな水平変形がない			
				塗装はがれ、亀裂	目視	塗装はがれ、亀裂等がない			
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない			
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない			
			取付部躯体	損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない			
			稼働範囲	障害物	目視	躯体他との接触がない			
	減衰こま	4 基	外観	変形	目視	外観上大きな変形がない			
				損傷	目視	減衰機能に影響を与える損傷がない			
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない			
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない			
			取付部躯体	損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない			
			粘性体	液漏れ	目視	液体の漏出がない			
免震層・建物外周部	建物	外周免震層	周辺環境	クリアランス	目視 計測	水平、鉛直ともに最小クリアランスを確保している※			
	免震層内環境	免震層				周辺状況	障害物	目視	可動範囲内に障害物がない
							可燃物	目視	可燃物がない
	免震エキスパンションジョイント	外周免震層	可動、作動状況	障害物	目視	可動域内に障害物がない			
				可動部の変形	目視	有害な変状がない			
	取付部状況	傷・亀裂	目視	取付躯体にひび割れなどがない					
	設備配管・配線可とう部	設備配管	免震層	可とう部	液体漏れ	目視	異常がない		
電気配線		継手部		傷・亀裂	目視	傷・亀裂がない			
		変位		余長	確認	十分な余長がある			
その他	けがき式変位計	免震層	移動量		目視	移動していない			

※ 水平最小クリアランス 700mm 鉛直最小クリアランス 30mm

点 検 仕 様

位置		箇所	定期点検（竣工後5年・10年、以降10年毎）				
			点検項目		点検方法	管理値	
免振材料	積層ゴム支承	18基	被覆ゴムの外観	汚れ、異物	目視	汚れ・異物付着がない	
				傷	目視	有害な傷がない	
			計測		長さ、深さとも10mm未満		
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない	
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない	
		取付部躯体	破損の有無	目視	取付躯体にひび割れなどがない		
		18基のうち3基以上	積層ゴムの変位	鉛直変位	目視	－5％程度	
				水平変位	計測	±50mm以下	
				水平精度	計測	1／400程度	
		弾性すべり支承	6基	すべり板の外観	汚れ、異物	目視	摩擦面に有害な汚れ・異物の付着
	発錆、傷				目視	摩擦に影響を与える錆、傷の有無	
					計測		
	鋼材部の状況			発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない	
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない	
	取付部躯体			損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない	
	防塵カバー			損傷、はずれ	目視	損傷・はずれがない	
	6基のうち3基以上		装置の変位	鉛直変位	目視	－5％程度	
				水平変位	計測	±50mm以下	
				水平精度	計測	1／500程度	
	U型鋼材ダンパー		4基	ダンパー部の外観	変形	目視	外観上に大きな水平変形がない
					塗装はがれ、亀裂	目視	塗装はがれ、亀裂等がない
		鋼材部の状況		発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない	
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない	
		取付部躯体		損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない	
		装置の変位		水平変位	計測	±50mm以下	
		稼働範囲		障害物	目視	躯体他との接触がない	
	減衰こま	4基	外観	変形	目視	外観上大きな変形がない	
				損傷	目視	減衰機能に影響を与える損傷がない	
			鋼材部の状況	発錆	目視	浮錆、赤錆が見当たらない	
				ボルト、ナット	目視	ボルト、ナットのマーキングにズレがない	
			取付部躯体	損傷	目視	取付躯体にひび割れなどがない	
			変位	取付長さ	計測	±50mm以下	
				可動長さ			
			粘性体	液漏れ	目視	液体の漏出がない	

位置		箇所	定期点検（竣工後５年・１０年、以降１０年毎）			
			点検項目		点検方法	管理値
免震層・建物外周部	建物	外周免震層	周辺環境	クリアランス	目視計測	水平、鉛直ともに最小クリアランスを確保している＊ 可動範囲内に障害物がない エクスパンション状況確認
				位置標識	確認	位置確認
				建物位置	計測	竣工時より±５０mm以下
				不動沈下	計測	竣工時同等程度
	免震層内環境	免震層	周辺状況	障害物	目視	可動範囲内に障害物がない
				可燃物	目視	可燃物がない
				排水状況	目視	排水状況がよい
	免震エクスパンションジョイント	外周免震層	可動、作動状況	障害物	目視	可動域内に障害物がない
				可動部の変形	目視	有害な変状がない
取付部状況			傷・亀裂	目視	取付躯体にひび割れなどがない	
設備配管・配線可とう部	設備配管	免震層	可とう部	液体漏れ	目視	異常がない
			継手部	傷・亀裂	目視	傷・亀裂がない
	電気配線			変位	余長	確認
その他	けがき式変位計	免震層	移動量		目視	移動していない

※ 水平最小クリアランス 700mm 鉛直最小クリアランス 30mm

高圧電気設備年次点検（無停電）業務仕様書

1 業務名称

高圧電気設備年次点検（無停電）業務

2 作業概要

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所の定める保安規程に基づき無停電による高圧電気設備年次点検を行う。

3 仕様

業務の実施基準は別紙「点検、測定及び試験の基準」に基づき行うものとする。

4 履行場所

大阪市東成区中道1丁目3番3号

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

5 履行期間

令和8年4月1日から令和8年9月30日まで及び令和10年4月1日から令和10年9月30日まで

6 作業時間等

点検実施日等については担当者と協議すること。

7 業務従事者

（1）業務責任者

本業務における業務責任者は、設備運転保守管理業務委託で選任された者とし、本業務と安全管理を遂行すること。

（2）業務作業員

本業務の作業員は本業務に精通していること。又、作業に当たっては労働安全衛生規則第351条による定期自主検査を行った安全防具、保護具を使用し安全に留意すること。

8 提出書類

点検計画書（2部）

点検報告書（作業写真含む）（2部）

その他担当者が指示するもの

9 その他

（1）点検の結果、修理等が必要と認めた場合は速やかに担当者に報告し協議すること。

（2）本業務中に施設に損傷を与えた場合は受注者の責任において復旧すること。

（3）本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は担当者と協議すること。

1 点検の方法

(1) 外部点検とは、次に掲げる項目について運転中の施設を肉眼又は双眼鏡によるほか、異音、異臭及び温度測定等により点検することをいう。

- ①電気工作物の異音、異臭、損傷、汚損等の有無
- ②電線と他物との離隔距離の適否
- ③機械器具、配線の取付け状態及び過熱の有無
- ④接地線等の保安装置の取付け状態

(2) 外部精密点検とは、施設の運転を停止して、上記点検ほか、手指を接触させて点検することをいう。

2 点検、測定及び試験項目

電気工作物		点検、測定及び試験項目	備 考
受電設備 (二次受変電設備を含む)	区分開閉器（地絡継電器を含む）、引込線等電線、支持物及びケーブル	外部点検	
		絶縁抵抗測定	※ 1
		活線温度測定	
	遮断器、開閉器	外部点検	
		絶縁抵抗測定	※ 1
		活線温度測定	
	構内 P A S、断路器、電力ヒューズ、避雷器、計器用変成器、母線、電力コンデンサ、リアクトル、その他高圧機器	外部点検	
		絶縁抵抗測定	※ 1
		活線温度測定	
	変圧器	外部点検	
		絶縁抵抗測定	※ 1
		活線温度測定	
		漏えい電流測定	
	受電盤、配電盤、制御回路、継電器	外部点検	
		絶縁抵抗測定	※ 1・2
		電圧・電流測定	
		活線温度測定	
	受電設備の建物・室、キュービクルの外箱	外部点検	
	接地装置（接地線、保護管等）	外部点検	
		接地抵抗測定	
配電設備	開閉器、遮断器、変圧器、電線、支持物、接地装置（接地線、保護管等）、その他機器	受電設備に準ずる	

電気工作物		点検、測定及び試験項目	備 考
直流電源装置	蓄電池	外部点検	
		電圧測定	
		内部抵抗測定	
	充電装置	外部精密点検	
		絶縁抵抗測定	
		接地抵抗測定	

※1 高圧電路は部分放電探知器で実施する。

※2 制御回路については測定を省略することがある。

高圧電気設備年次点検（停電）業務仕様書

1 業務名称

高圧電気設備年次点検（停電）業務

2 作業概要

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所の定める保安規程に基づき高圧電気設備の精密点検を行う。

3 仕様

本仕様書によるほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」最新版による。

4 作業場所

大阪市東成区中道 1 丁目 3 番 3 号

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

5 履行期間

令和 9 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

6 作業時間等

高圧電気設備年次点検（停電）による全館一斉停電日は令和 9 年 11 月頃の土曜日とし、仮設電源の準備はその前日に行うものとする。なお、詳細な日程時間等については担当者と協議すること。

ただし、停電予定日は担当者と打合せを行い令和 9 年 5 月末までに決定すること。

7 作業範囲及び内容

- ・南館 2 階第 1 電気室及び北館 1 3 階第 2 電気室の電気設備の精密点検とし、別紙機器一覧表による。
- ・別紙「仮設電源切替手順」により仮設電源必要機器に給電し送電中及び復旧後の機器の状態の確認を行う。
- ・点検の結果、修理等が必要と認めた場合は速やかに担当者に報告し協議すること。尚、軽微な修理は行うこと。

8 業務従事者

（1）業務責任者

本業務における業務責任者は、設備運転保守管理業務で選任された者とし、本業務と安全管理を遂行すること。

（2）業務作業員

本業務の作業員は本業務に精通していること。又、作業に当たっては労働安全衛生規則第 351 条による定期自主検査を行った安全防具、保護具を使用し安全に留意すること。

9 提出書類

点検計画書（2 部）

点検報告書（作業写真含む）（2 部）

その他担当者が指示するもの

10 その他

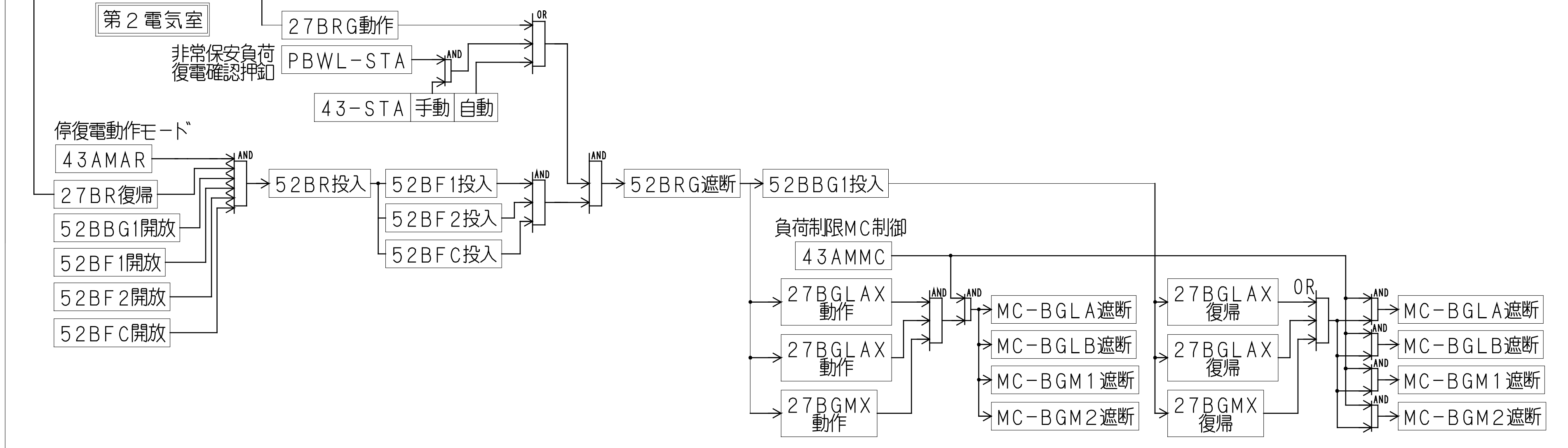
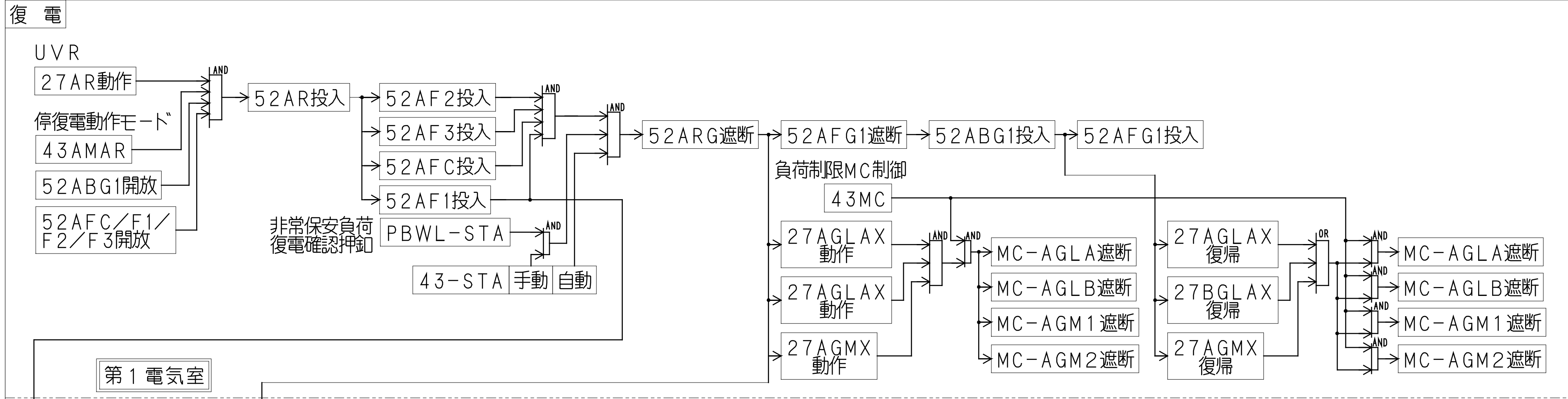
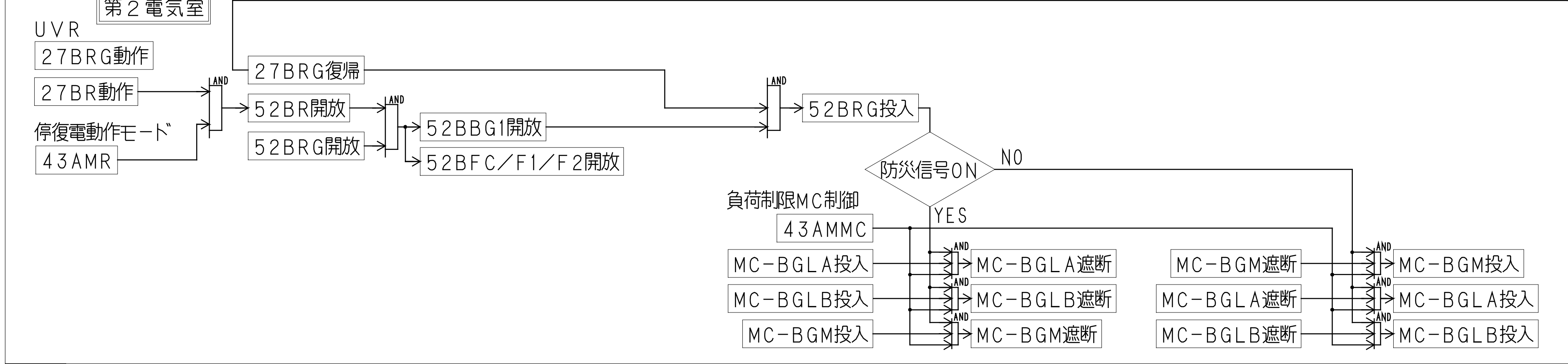
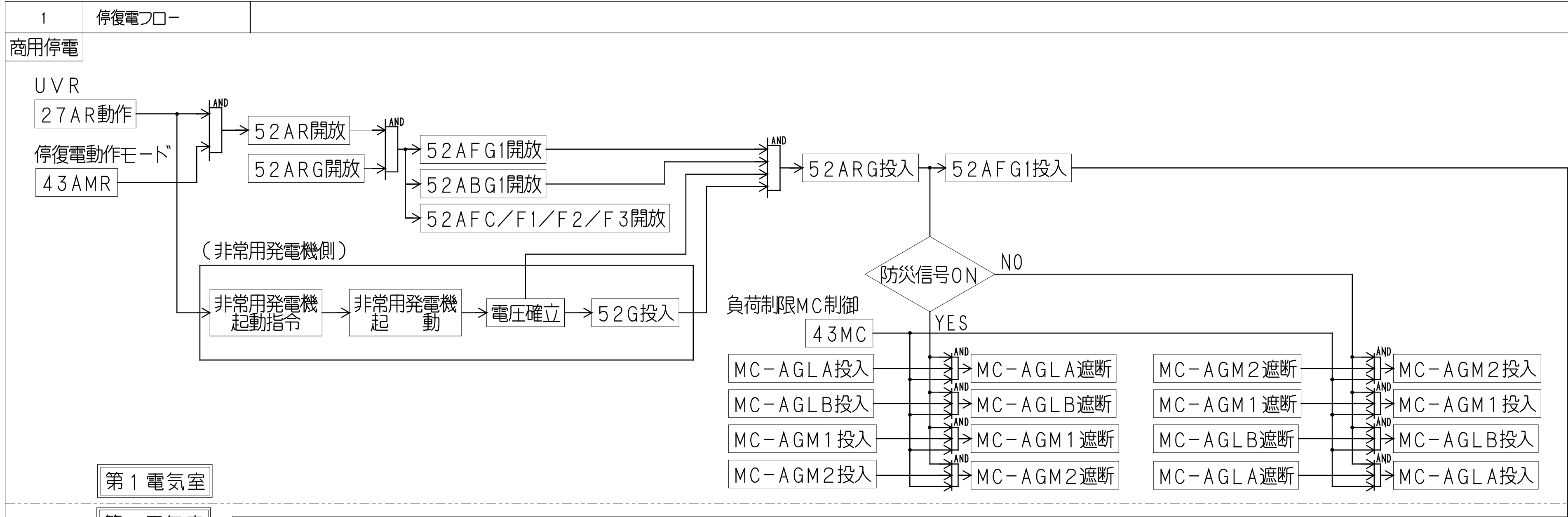
- ・本業務中に施設に損傷を与えた場合は受注者の責任において復旧すること。
- ・本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は担当者と協議すること。

別紙 機器一覧表

< 第 1 電気室 >

機 器 名	数量	単位	点 検 内 容
高圧気中開閉器	1	台	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 開閉表示、開閉動作、動作回数 4. 絶縁抵抗の測定 5. 操作機構部の点検と適量のグリス注油 6. その他
過電流継電器	8	台	1. 機器の損傷、過熱、汚損の有無 2. 配線接続と端子部の状態 3. 動作特性試験 4. シーケンス試験 5. その他
不足電圧継電器	1	台	
高圧地絡方向継電器	7	台	過電流継電器による
低圧地絡継電器	1 1	台	過電流継電器による
高圧真空遮断器	9	台	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 開閉表示、開閉動作、動作回数 4. 絶縁抵抗の測定 5. 操作機構部の点検と適量のグリス注油 6. その他
高圧電磁接触器	3	台	
高圧負荷開閉器	1 0	台	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 入り、切り操作の良否 4. 接触部の損耗、荒れ等の有無 5. 電力ヒューズの汚損、亀裂等の有無 6. その他
高圧断路器	1	組	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 入り、切り操作の良否 4. 接触部の損耗、荒れ等の有無 5. その他
計器用変圧器・変流器	1 0	組	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 電力ヒューズ付きは、ヒューズの汚損亀裂の有無 4. その他

高圧モールド形変圧器	1 0	台	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 本体及び防振装置の取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 温度計の損傷、指示値の良否 4. タップ切替部の損傷、変色等の有無 5. その他
高圧進相コンデンサ 直流リアクトル	3 3	台 台	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 本体の取り付け状態、配線及び端子の状態 3. その他
高圧ケーブル	8	系統	1. ケーブル被覆材、支持材、端子部の損傷、腐食、過熱、緩み等の有無 2. 絶縁耐力試験 3. その他
高圧配電盤	7	面	1. 高圧盤の据付状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無 2. 操作レバー、ボタン、スイッチ等機器の破損及び取付け状況 3. 機器の取付け状況及び配線の状況 4. その他
低圧配電盤	1 0	面	1. 低圧盤の据付状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無 2. 絶縁抵抗測定 3. 機器の取付け状況及び配線の状況 4. その他
接地盤	9	極	1. 各種接地抵抗の測定 2. 接地盤の損傷、さび、腐食、変色等の有無 3. その他

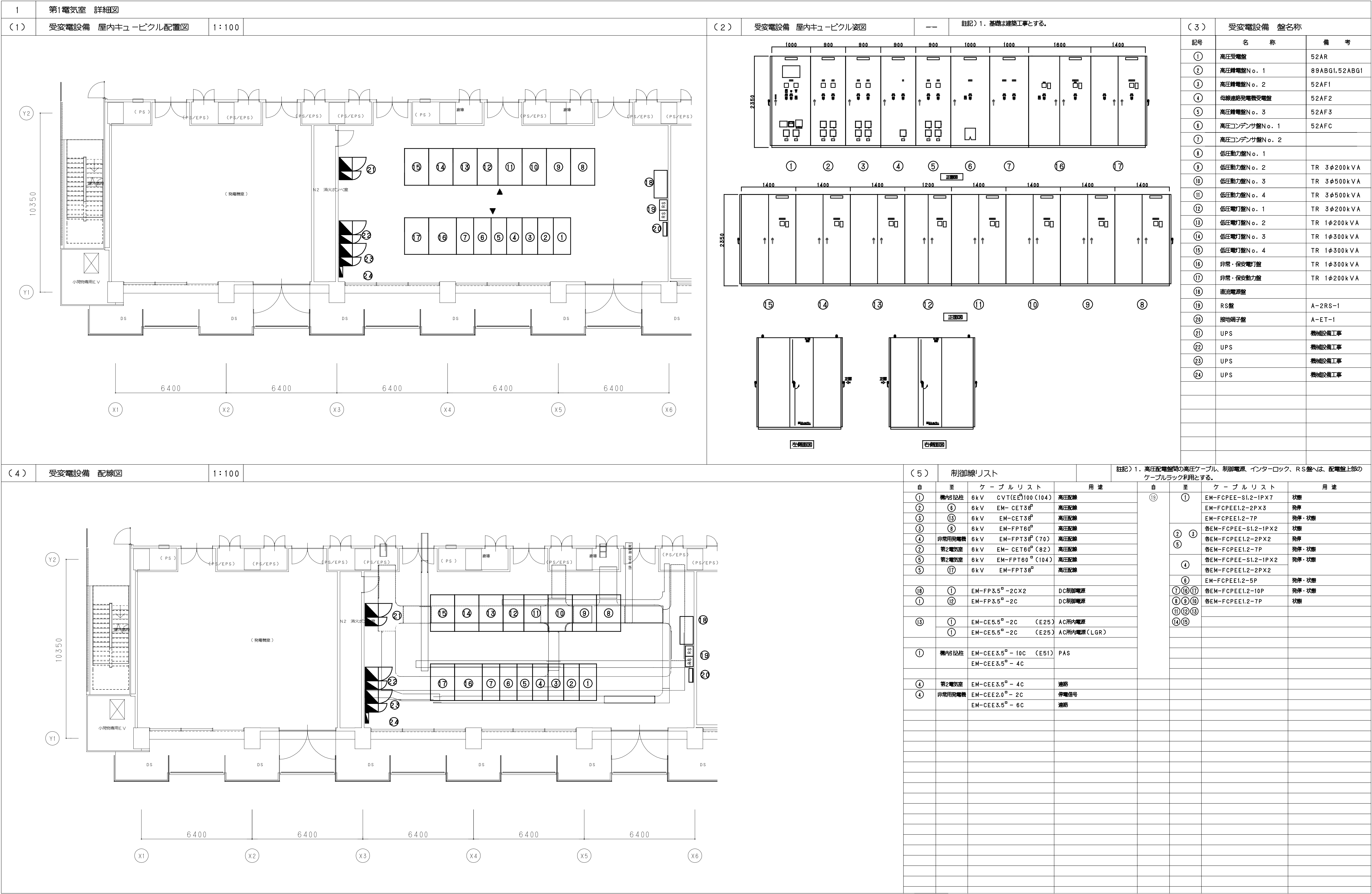


1	配電盤リスト(1)			-					
変 圧 器 盤		配 電 盤		幹 線			負 荷		
		幹線記号	3P MCCB AF/AT	容 量 (kVA)	結 線	ケーブル サイズ	配 管	名 称	備 考
TR No.1 1φ 3W 210V-105V (150kVA) 低圧電灯盤No.1	AL101	225/150	23.774		100°	(70)	A-1L-2		
	AL102	100/75	9.705		38°	(42)	A-2L-1		
	AL103	225/125	16.362		60°	(54)	A-3L-1		
	AL104	100/100	13.619		60°	(54)	A-4L-1		
	AL105	225/125	19.125		100°	(70)	A-5L-1		
	AL106	225/125	18.212		100°	(70)	A-6L-1		
	AL107	100/100	15.674		100°	(70)	A-7L-1		
	AL108	50/30	3.803		22°	(36)	A-8L-1		
	S21	2P 50/15					LGR電源		
	S22	2P 50/15					盤内照明・コンセント1		
	S23	2P 50/15					盤内照明・コンセント2		
			計	120.274					
TR No.2 1φ 3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.2	AL201	225/225	34.100		150°	(82)	AL-1L-1		
	AL202	225/125	16.300		60°	(54)	AL-1L-2		
	AL203	225/200	31.500		150°	(82)	AL-1LM-3		
	AL204	400/300	49.220		200°	(92)	AL-1L-4		
	AL205	400/300	52.720		200°	(92)	AL-1L-5		
	AL206	400/300	48.110		200°	(92)	AL-1L-6		
	AL207	400/300	51.857		200°	(42)	AL-1L-8		
	AL208	100/100	12.740		60°	(28)	AL-1L-10		
	AL209	50/40	5.100		14°	(28)	AL-1LM-11		
	AL210	400/300	45.000		200°	(92)	AL-1-i-12		
	AL211	400/300	45.000		200°	(92)	AL-1L-13		
	AL212	400/300	51.000		200°	(92)	AL-1LM-14		
	AL213	400/300	45.000		200°	(92)	AL-1L-15		
	AL214	400/300	43.600		200°	(92)	AL-1LM-16		
	AL215	400/300	48.000		200°	(92)	AL-1L-17		
	AL216	400/300	48.100		200°	(92)	AL-1L-18		
	AL217	400/300	54.000		200°	(92)	AL-1L-19		
	AL218	400/300	45.000		200°	(92)	AL-1L-20		
	AL219	400/350	49.420		200°	(92)	AL-3L-1		
	AL220	400/350	51.393		200°	(92)	AL-3L-2		
	AL2B	225/225					予備		
			計	827.176					
TR No.3 1φ 3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.3	AL301	225/125	17.500		60°	(54)	AL-3L-4		
	AL302	225/125	16.600		60°	(54)	AL-3L-5		
	AL303	225/175	26.200		100°	(70)	AL-3L-6		
	AL304	225/125	19.100		100°	(54)	AL-3L-8		
	AL305	225/175	26.480		150°	(82)	AL-3-9		
	AL306	400/300	49.430		200°	(92)	AL-3L-10		
	AL307	400/300	47.950		200°	(92)	AL-3L-12		
	AL308	400/350	52.020		150°×2	(82)×2	AL-3L-14		
	AL309	225/150	23.600		100°	(70)	AL-3L-15		
	AL310	225/200	30.000		150°	(70)	AL-4L-1		
	AL311	400/350	49.270		150°×2	(82)×2	AL-4L-2		
	AL312	400/300	47.500		200°	(92)	AL-4L-4		
	AL313	400/300	44.000		200°	(92)	AL-4L-5		
	AL314	225/200	26.700		150°	(82)	AL-4L-6		
	AL315	400/250	36.600		150°	(82)	AL-4L-7		
	AL316	225/150	19.200		100°	(54)	AL-4L-8		
	AL317	50/30	3.100		8°	(28)	AL-4LM-10		
	AL318	400/300	43.430		200°	(92)	AL-4L-12		
	AL319	400/300	51.100		150°×2	(82)×2	AL-4L-13		
	AL320	225/225	32.890		150°	(82)	AL-5L-1		
	AL321	225/200	27.950		150°	(82)	AL-5L-2		
	AL322	400/250	37.931		150°	(92)	AL-5L-4		
	AL323	400/300	43.640		200°	(92)	AL-5L-6		
	AL3A	225/225					予備		
		計	781.344						

註記) 1. 特記なきケーブルはEM-CETとする 2. MCCBは定格電流可調整型を使用の事(225AF以上)
3. 図中、太線は本工事、薄線は既設を示す 4. FのつくケーブルはEM-FPTとする。

完成図		地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所等 一元化施設整備工事			
鴻池組・大鉄工業共同企業体	E	受変電設備 停復電フロー図 配電盤リスト (第1電気室) (1)		A1 A3	N. S N. S
	004				
		竣工番号		O-22-007	

1	配電盤リスト(2)			註記) 1. 特記なきケーブルはEM-CETとする 2. ケーブルラック外は記載配管にてケーブル保護とする 3. MCCBは定格電流可調整型を使用の事(225AF以上) 4. FのつくケーブルはEM-FPTとする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤	配電盤			結線	幹線				変圧器盤

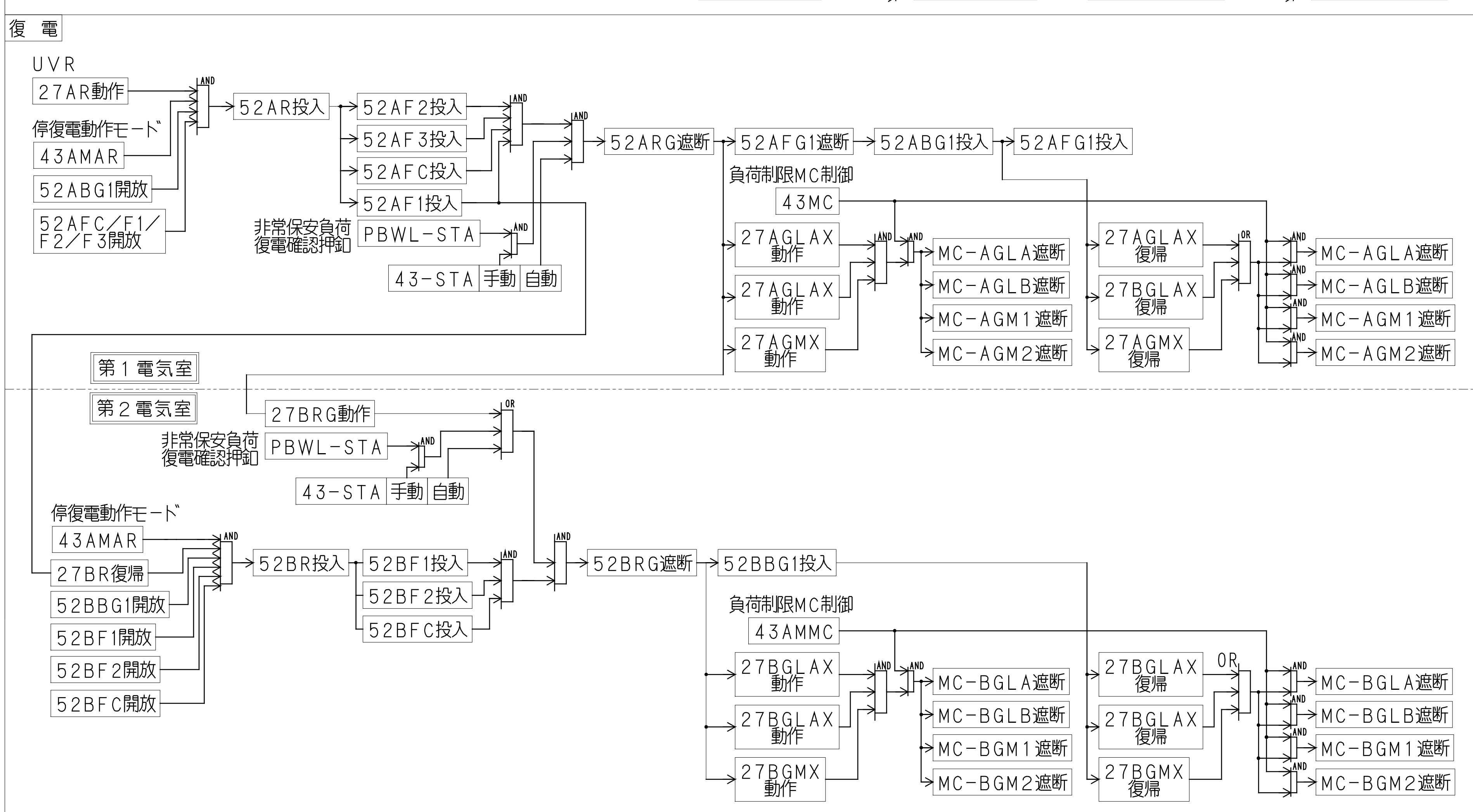
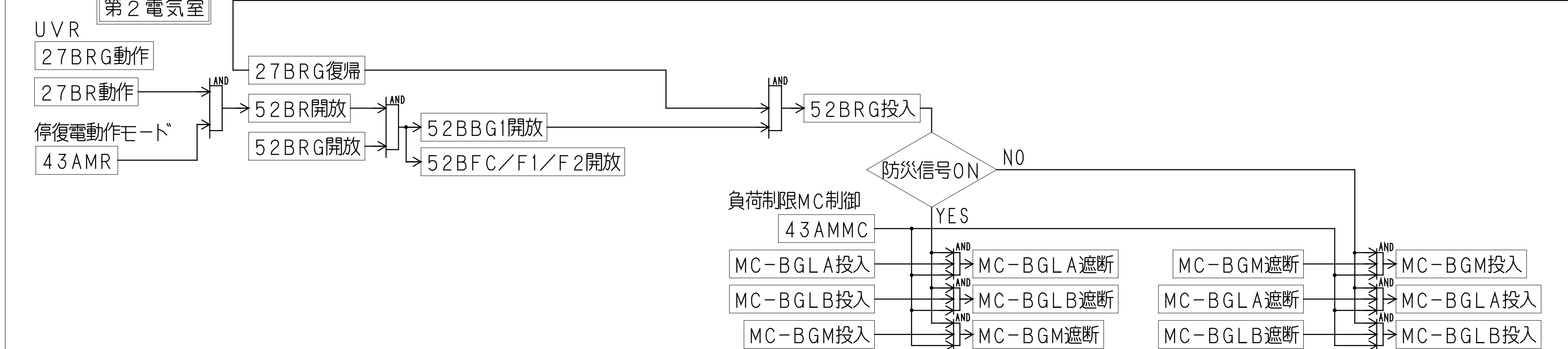
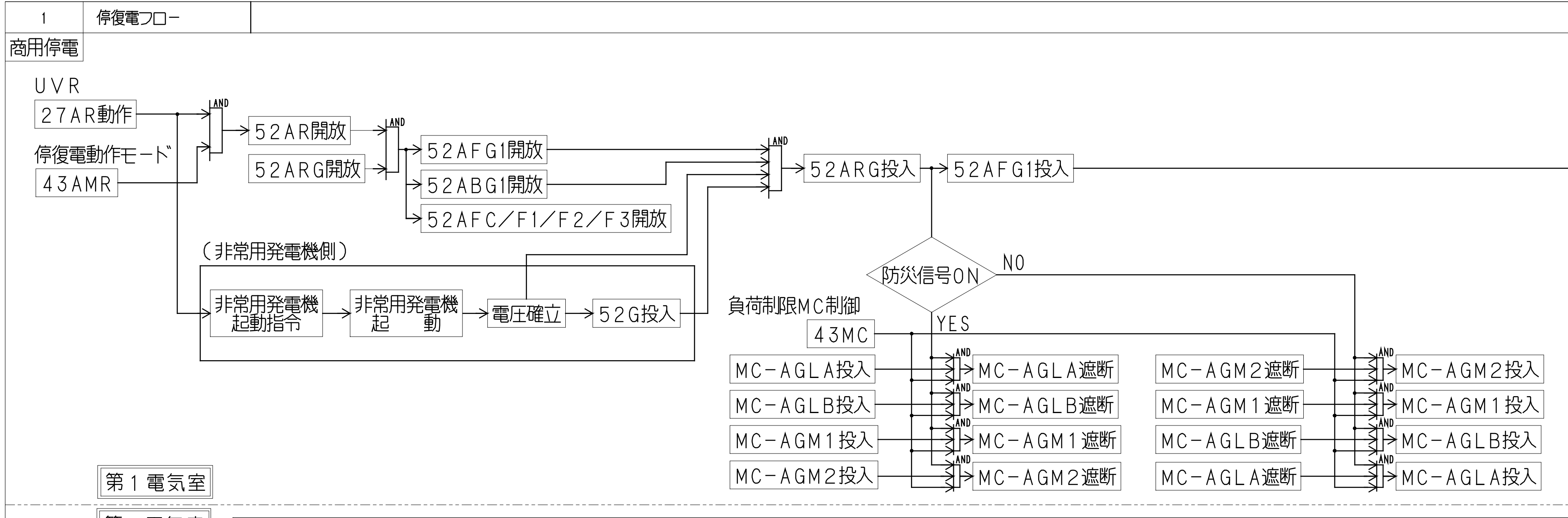


完成図		地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所等 一元化施設整備工事	
		E	電気設備工事 A1 N.S
		006	受変電設備 A3 N.S
		電気室詳細図・制御線リスト(第1電気室)	
鴻池組・大鉄工業共同企業体		竣工番号 O-22-007	

<第2電気室>

機 器 名	数量	単位	点 検 内 容
過電流継電器 不足電圧継電器	6 2	台 台	1. 機器の損傷、過熱、汚損の有無 2. 配線接続と端子部の状態 3. 動作特性試験 4. シーケンス試験 5. その他
高圧地絡方向継電器	3	台	過電流継電器による
低圧地絡継電器	10	台	過電流継電器による
高圧真空遮断器 高圧電磁接触器	7 3	台 台	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 開閉表示、開閉動作、動作回数 4. 絶縁抵抗の測定 5. 操作機構部の点検と適量のグリス注油 6. その他
高圧負荷開閉器	9	台	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 入り、切り操作の良否 4. 接触部の損耗、荒れ等の有無 5. 電力ヒューズの汚損、亀裂等の有無 6. その他
高圧断路器	2	組	1. 機器の損傷、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 入り、切り操作の良否 4. 接触部の損耗、荒れ等の有無 5. その他
計器用変圧器・変流器	8	組	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 電力ヒューズ付きは、ヒューズの汚損亀裂の有無 4. その他
高圧モールド形変圧器	9	台	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 本体及び防振装置の取り付け状態、配線及び端子の状態 3. 温度計の損傷、指示値の良否 4. タップ切替部の損傷、変色等の有無 5. その他

高圧進相コンデンサ 直流リアクトル	3 3	台 台	1. 機器の損傷、亀裂、過熱、さび、腐食、変形、汚損、変色等の有無 2. 本体の取り付け状態、配線及び端子の状態 3. その他
高圧ケーブル	3	系統	1. ケーブル被覆材、支持材、端子部の損傷、腐食、過熱、緩み等の有無 2. 絶縁耐力試験 3. その他
高圧配電盤	8	面	1. 高圧盤の据付状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無 2. 操作レバー、ボタン、スイッチ等機器の破損及び取付状況 3. 機器の取付状況及び配線の状況 4. その他
低圧配電盤	1 9	面	1. 低圧盤の据付状態、損傷、さび、腐食、変色等の有無 2. 絶縁抵抗測定 3. 機器の取付状況及び配線の状況 4. その他



1	配電盤リスト(1)			-						
変 圧 器 盤				配 電 盤			幹 線		負 荷	
				幹線記号	3P MCCB AF/AT	容 量 (kVA)	結 線	ケーブル サイズ	配 管	名 称
TR No.1 1φ3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.1	BL101	225/150	26.91		100°	(70)	B-2LM-1			
	BL102	400/250	46.52		150°	(82)	B-3L-1			
	BL103	50/50	8.30		22°	(36)	B-3-OAT-2			
	BL104	225/175	28.15		100°	(70)	B-4LM-1			
	BL105	225/200	32.52		100°	(70)	B-5LM-1			
	BL106	100/100	13.80		38°	(42)	B-5-OAT-2			
	BL107	100/100	16.14		38°	(42)	B-6L-1			
	BL108	225/200	29.60		100°	(70)	B-6-OAT-1			
	BL109	225/125	17.40		60°	(54)	B-6-OAT-2			
	BL110	225/125	17.90		60°	(54)	B-7L-1			
	BL111	225/200	29.60		100°	(70)	B-7-OAT-1			
	BL112	225/125	21.10		60°	(54)	B-7-OAT-2			
	BL113	50/40	5.00		14°	(28)	健診車用電源盤			
	BL114	100/100	15.00		38°	(42)	イベント用電源盤			
	BL115	250/225					予備			
	BL116	250/225					予備			
		計	307.94							
TR No.2 1φ3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.2	BL201	225/225	38.44		150°	(82)	B-1LM-1			
	BL202	225/150	25.10		100°	(70)	B1L-1-1 車庫分電盤			
	BL203	100/75	9.00		38°	(42)	B-3-OAT-1			
	BL204	50/50	5.20		22°	(36)	B-5-OAT-1			
	BL205	225/200	30.89		100°	(70)	B-8LM-1			
	BL206	225/125	19.00		60°	(54)	B-9L-1			
	BL207	225/125	22.60		60°	(54)	B-10L-1			
	BL208	400/250	38.72		150°	(82)	B-11LM-1			
	BL209	100/100	15.40		38°	(42)	B-12LM-1			
	BL210	225/125	22.27		60°	(54)	B-13LM-1			
	BL211	100/75	9.5		22°	(36)	B-RCP-1			
	BL212	250/225					予備			
			計		236.12					
	TR No.3 1φ3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.3	BL301	50/30		1.10		8°-3C	(28)	BL-5LT-1	
BL302		400/300	51.90	250°	(92)		BL-8L-1			
BL303		400/300	56.70	250°	(92)		BL-8L-2			
BL304		225/200	35.30	100°	(70)		BL-8L-3			
BL305		225/225	37.50	150°	(82)		BL-8L-3			
BL306		225/200	32.30	100°	(70)		BL-8L-3			
BL307		225/225	39.00	150°	(82)		BL-8L-4			
BL308		225/125	21.80	60°	(54)		BL-9L-1			
BL309		50/40	5.00	14°	(28)		BL-9L-2			
BL310		400/250	39.10	150°	(82)		BL-9LM-3			
BL311		400/300	52.00	250°	(92)		BL-9L-4			
BL312		100/100	15.30	38°	(42)		BL-9L-5			
BL313		225/125	18.90	60°	(54)		BL-10L-1			
BL314		50/40	0.50	14°	(28)		BL-10LM-2			
BL315		250/225					予備			
BL316		250/225					予備			
			計	406.40						
TR No.4 1φ3W 210V-105V (300kVA) 低圧電灯盤No.4	BL401	400/350	65.70		250°	(92)	BL-11LM-1			
	BL402	225/200	31.60		100°	(70)	BL-11L-2			
	BL403	225/225	37.30		150°	(82)	BL-12L-1			
	BL404	225/150	23.00		100°	(70)	BL-12L-2			
	BL405	225/200	32.20		100°	(70)	BL-12L-3			
	BL406	100/100	13.90		38°	(42)	BL-12L-4			
	BL407	400/250	42.00		200°	(82)	BL-12L-5			
	BL408	100/100	14.30		38°	(42)	BL-12L-6			
	BL409	225/200	35.60		100°	(70)	BL-12L-7			
	BL410	100/100	15.40		38°	(42)	BL-13L-1			
	BL411	225/125	19.70		60°	(54)	BL-13LM-2			
	BL412	225/125	21.70		60°	(54)	BL-13L-3			
	BL413	225/200	30.70		100°	(70)	BL-13LM-4			
	BL414	100/100	17.70		38°	(42)	BL-13L-5			
	BL415	400/300	55.20		200°	(82)	BL-13LM-6			
	BL416	225/200	29.40		100°	(70)	BL-13L-7			
	BL417	225/125	20.30		60°	(54)	BL-13L-8			
	BL418	250/225					予備			
	BL419	250/225					予備			
		計	505.70							

註記) 1. 特記なきケーブルはEM-CETとする 2. MCCBは定格電流可調整型を使用の事(225AF以上)
3. 図中、太線は本工事、薄線は現設を示す 4. FのつくケーブルはEM-FPTとする。

完成図		地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所等 一元化施設整備工事		
鴻池組・大鉄工業共同企業体	E	電気設備工事	A1	N.S
	502	受変電設備 停復電フロー図 配電盤リスト(第2電気室) (1) 竣工番号 O-22-007	A3	N.S

[illegible]

[illegible]

仮設電源切替手順

1. 仮設発電機仕様

＜南館仮設電源盤用＞（仮設が必要な容量とする）

- ・電灯仮設容量 135KVA→1φ3W 発電機×1台 車載タイプ
 - ・動力仮設容量 65KVA→3φ3W 発電機×1台 車載タイプ
- 発電機 ⇔ 仮設電源盤 接続ケーブル 30m（下記系統毎）
- 仮設電灯 CVT22sq×4本（CVT200sq 相当）
- 仮設動力 CVT22sq×4本（CVT200sq 相当）

＜北館仮設電源盤用＞（仮設が必要な容量とする）

- ・電灯仮設容量 40KVA→1φ3W 発電機×1台 車載タイプ
 - ・動力仮設容量 19KVA→3φ3W 発電機×1台 車載タイプ
- 発電機 ⇔ 仮設電源盤 接続ケーブル 30m（下記系統毎）
- 仮設電灯 CVT22sq×4本（CVT200sq 相当）
- 仮設動力 CVT22sq×4本（CVT200sq 相当）

※精密点検を土曜日に実施するため、前日の 13 時頃に発電機を設置しケーブルを仮配線し仮設電源盤の系統ブレーカーの 1 次側電圧確認を行う。（レンタル期間は金曜日から土曜日夕方までとしてください。）

2. 仮設切替要領

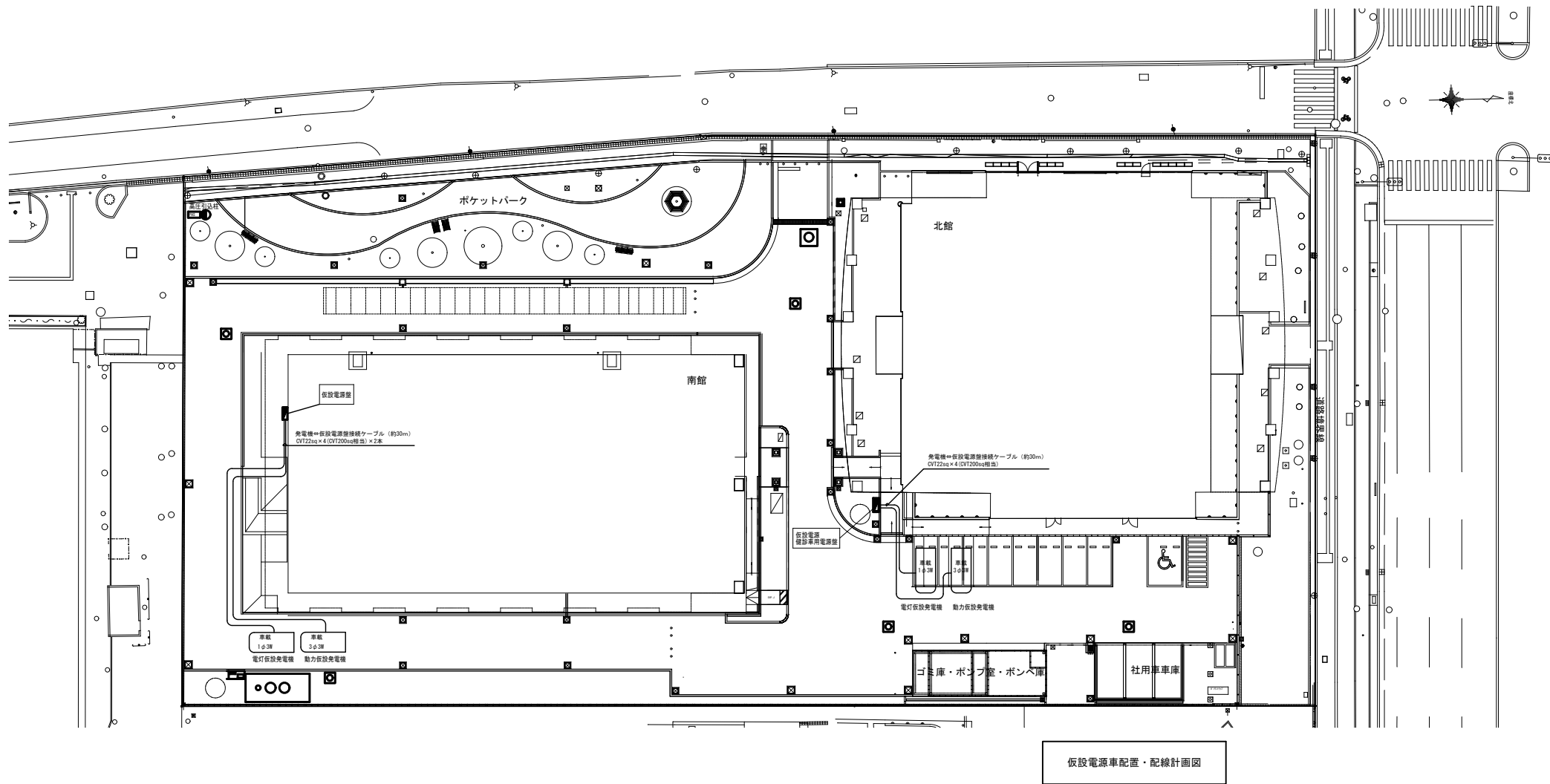
- ①仮設電源盤より各系統ブレーカー投入し送電
- ②各階仮設対象の分電盤・切替盤（別紙仮設電源送電機器表）の切替器の仮設電源側電圧確認
- ③各分電盤の負荷回路の仮設否回路解放後、切替器を商用電源から仮設電源に切替

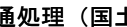
3. 商用復電切替要領

- ①各階仮設対象の分電盤・切替盤（別紙仮設電源送電機器表）の切替器の商用電源側電圧確認
- ②切替器を仮設電源から商用電源に切替
- ③各分電盤の負荷回路の仮設否回路投入
- ④商用復電後、仮設電源盤の各系統ブレーカー解放し発電機を停止する。

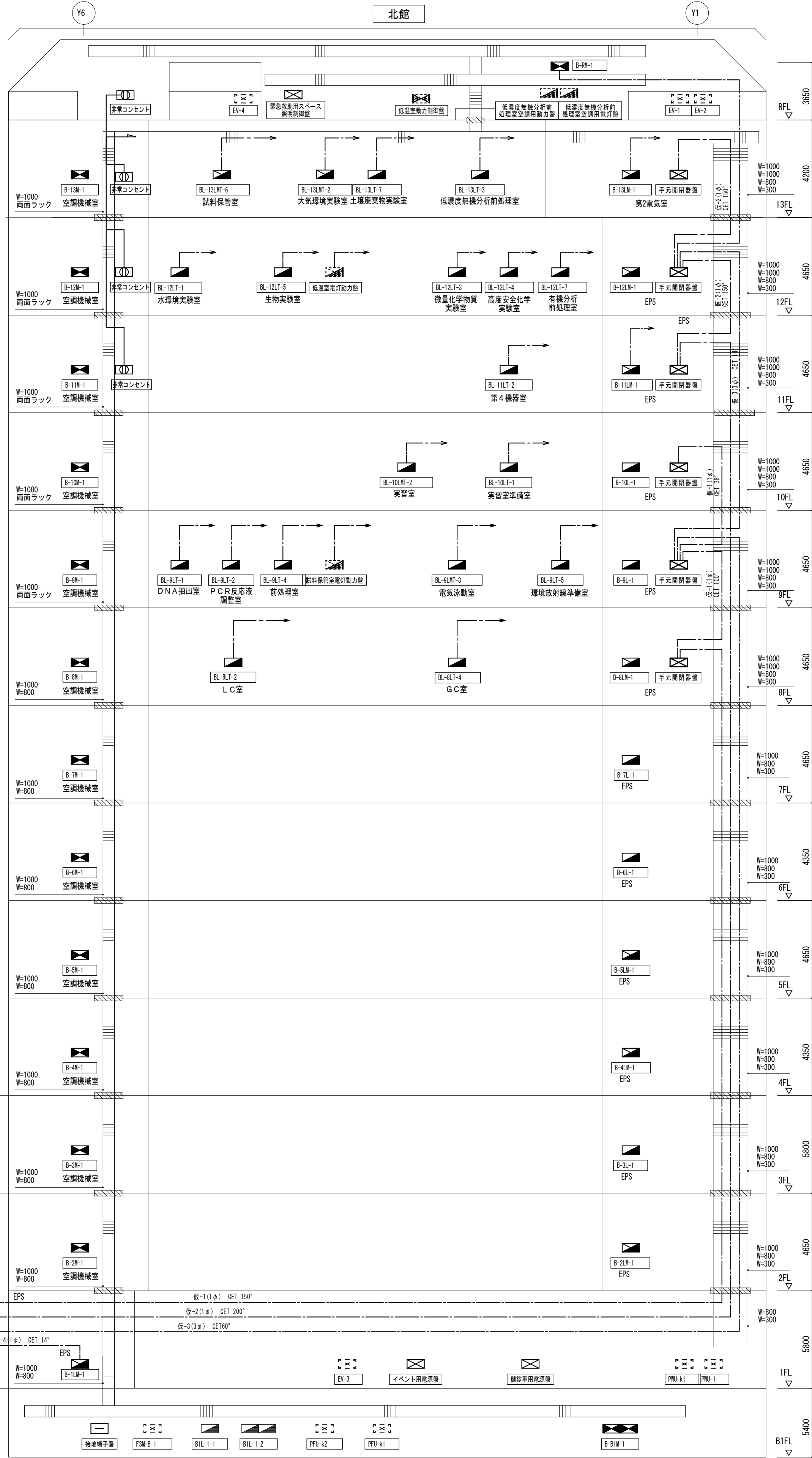
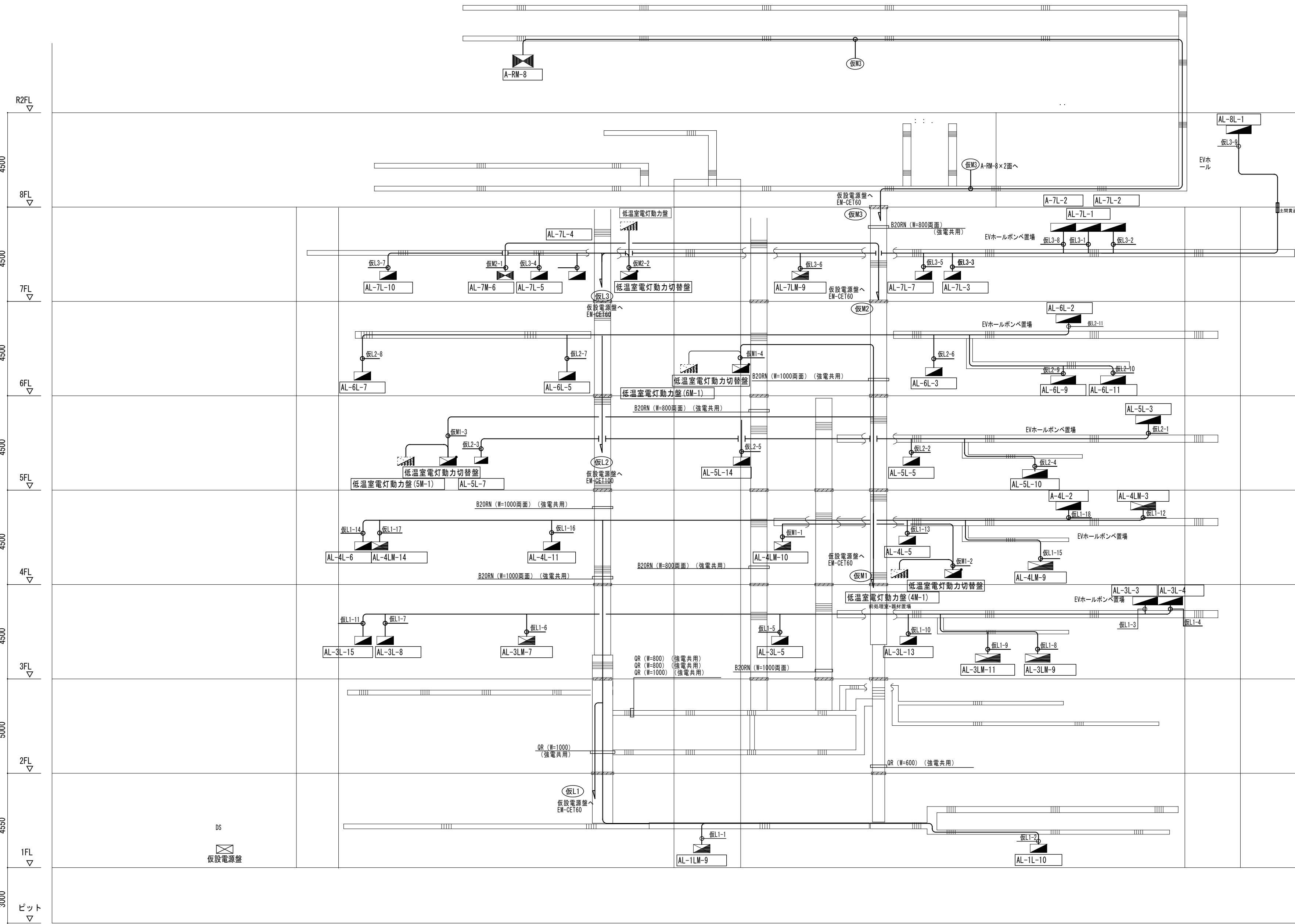
4. その他

- ①仮設電源盤より送電できない機器については、別途仮設配線を行い送電すること。
- ②別途仮設配線を行う機器については、担当者の指示による。



- 註記
 1. 幹線サイズ、制御線サイズは各々幹線リスト・制御線リストによる。
 2. 図中  は防火区画貫通処理（国土交通大臣認定）を示す。
 3. ブルボックスのサイズは幹線・動力設備平面図参照とする。
 4. 図中、太線は本工事、薄線は既設を示す。
 5. 各階のケーブルラックの様、サイズは中央監視制御・幹線・動力設備平面図を参照のこと。

南館



完成図		地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所等 一元化施設整備工事			
E		電気設備工事		A1 N. S	
016		仮設電源幹線系統図		A3 N. S	
鴻池組・大鉄工業共同企業体		竣工番号 O-22-007			

※ 負荷名称欄の取消線については分電盤名称に記載されているものであり、実際現地に設置されている機器が取消線後に記載されている。

南館仮設電源送電機器						R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	
仮 L 1	1	AL-1L-10	701	1,500	VOC機器室コンセントより延長コードにて環境放射線測定室 AL-1L-2 G704のコンセントプラグ差替え	要
			702		予備	—
			703	165	VOC機器室 薬用冷蔵ショーケース	要
			704		VOC機器室 シリンダーキャビネット	否
			705		VOC機器室 ドラフト	否
			706		予備	—
			計	2,081	VA	
		AL-1LM-9	701	150	試料調製室 バイオマルチクーラー	要
			702		試料調製室 ドラフトチャンバー	否
			703		予備	—
			704		予備	—
			計	188	VA	
	2	A-2L-2	901		誘導灯用	否
			計	0	VA	
			501		多目的トイレ電灯	否
			502		サテライト電灯	否
			503		ガスガバナ室、危険物屋内貯蔵所電灯	否
			504		リモコントランス用電源	否
			505		予備	—
			506		予備	—
			計	0	VA	
			601		廊下、EVホール電灯	否
			602	25	PS/EPS電灯	要
			603		DS電灯	否
			604		機械室電灯	否
			605		機械室電灯	否
			606	150	第1電気室電灯	要
			607	50	発電機室電灯	要
			608		予備	—
			計	281	VA	
			701		サーバーコンセント	否
			702		サーバーコンセント	否
			703		RS盤コンセント	否
			704E	290	危険物屋内貯蔵所 防爆冷蔵庫コンセント	要
			705E	290	危険物屋内貯蔵所 防爆冷蔵庫コンセント	要
			706	300	第1電気室コンセント	要
			707		窒素ガス消火設備用	否
			708		予備	—
			計	1,100	VA	—
			801		計装盤電源	否
			802		予備	—
			計	0	VA	
			合計	1,381	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 1	3	AL-3L-3	701		生活衛生実験室（B） ドラフトチャンバー	否
			702		生活衛生実験室（B） ドラフトチャンバー	否
			703E	250	生活衛生実験室（B） 冷蔵庫	要
			704E	493	生活衛生実験室（B） 製氷機	要
			705E		環境放射線室 冷凍冷蔵庫（負荷無）	—
			706		環境放射線室—ドラフトチャンバー—生活衛生実験室（A） メディカルフリーザー	要
			707E	908	生活衛生実験室（A） メディカルフリーザー（家庭用冷蔵庫+インキュベーター）	要
			708E	200	生活衛生実験室（A） 家庭用冷蔵庫—恒温恒湿器	要
			709		生活衛生実験室（A） ドラフトチャンバー	否
			710		生活衛生実験室（A） ドラフトチャンバー	否
			711		生活衛生実験室（A） ドラフトチャンバー	否
			712		予備	—
			713		予備	—
			計	2,314	VA	
		AL-3L-4	701		水質分析室（有機物） ドラフトチャンバー	否
			702		水質分析室（有機物） ドラフトチャンバー	否
			703E	370	水質分析室（有機物） バイオメヂカルフリーザー	要
			704E	370	水質分析室（有機物） 防爆冷蔵庫 メディカルフリーザー	要
			705		水質分析室（有機物） ドラフトチャンバー	否
			706		水質分析室（有機物） ドラフトチャンバー	否
			707		水質分析室（有機物） ドラフトチャンバー	否
			708		予備	—
			計	925	VA	
		AL-3L-5	701E	290	水質分析室（無機物） 冷蔵庫	要
			702E	370	水質分析室（無機物） 冷蔵庫	要
			703E	370	水質分析室（無機物） 冷蔵庫	要
			704		水質分析室（無機物） ドラフトチャンバー	否
			705		水質分析室（無機物） ドラフトチャンバー	否
			706E	290	少量危険物貯蔵所少量危険物貯蔵取扱所 薬用保冷库（防爆冷蔵庫）	要
			707E	400	少量危険物貯蔵所少量危険物貯蔵取扱所 防爆冷蔵庫	要
			708		予備	—
			計	2,150	VA	
		AL-3LM-7	701E	530	環境微生物室 薬用保冷库（+インキュベーター）	要
			702E	370	環境微生物室 冷凍冷蔵庫	要
			703E	490	環境微生物室 超低温フリーザー	要
			704E	490	環境微生物室 ディープフリーザー	要
			705E		環境微生物室 薬用冷蔵ショーケース（乾燥滅菌器）1250w	否
			706E	370	環境微生物室 薬用保冷库冷凍冷蔵庫	要
			707		予備	—
			708		予備	—
			計	2,813	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 1	3	AL-3L-8	701E	240	B S L 2 実験室 保冷库	要
			702E	230	B S L 2 実験室 メディカルフリーザー	要
			703	130	B S L 2 実験室 インバーター（インキュベーター）	要
			704	230	B S L 2 実験室 インバーター（インキュベーター）	要
			705		B S L 2 実験室 （負荷無）	—
			706E	280	B S L 2 実験室 メディカルフリーザー（インキュベーター）	要
			707	280	B S L 2 実験室 インキュベーター	要
			708		B S L 2 実験室 インキュベーター（負荷無）	—
			709E	280	B S L 2 実験室 冷凍付インキュベーター	要
			710	1,300	B S L 2 実験室 インキュベーター	要
			711		B S L 2 実験室 安全キャビネット	否
			712		予備	—
			計	3,713	VA	
		AL-3L-9	701	150	食品微生物室（フリーザー）	要
			702E		食品微生物室 薬用保冷库（負荷無）	—
			703		食品微生物室 安全キャビネット（負荷無）	—
			704		食品微生物室 安全キャビネット	否
			705		食品微生物室 シェルフ（負荷無）	—
			706		予備	—
			計	188	VA	—
			801E	1,180	食品微生物室 フリーザー	要
			802		予備	—
			計	1,475	VA	
			合計	1,663	VA	
		AL-3LM-11	701		食品成分室 ドラフトチャンバー	否
			702		食品成分室 ドラフトチャンバー	否
			703		食品成分室（負荷無）	—
			704E	175	食品成分室 薬用冷蔵ショーケース	要
			705E	842	食品成分室 薬用保冷库	要
			706E	230	食品成分室 フリーザー	要
			707		予備	—
			708		予備	—
			計	1,559	VA	
		AL-3L-13 DS3下部	701E	370	無機実験室 冷凍冷蔵庫	要
			702		無機実験室 ドラフトチャンバー	否
			703		食品灰化室 ドラフトチャンバー	否
			704	63	食品灰化室 ドラフトチャンバー（デシケーター）	否
			705		予備	—
			706		予備	—
			計	541	VA	
		AL-3L-13 DS2上部	707	90	器具容器包装室（負荷無）コンセントより延長コードにて食品灰化室 AL-3L-12 323のコンセントプラグ差替え（食品安全課にて対応）	要
			708		器具容器包装室 ドラフトチャンバー	否
			709		器具容器包装室 ドラフトチャンバー	否
			710E	370	器具容器包装室 常用保冷库冷凍冷蔵庫	要
			711E	436	器具容器包装室 冷凍冷蔵庫業務用冷蔵庫	要
			712E	461	容器包装溶出試験室 業務用冷蔵庫	要
			713		容器包装溶出試験室 ガス漏れ指示計用電源	否
			714		予備	—
			計	1,696	VA	
			合計	2,238	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	
仮 L 1	3	AL-3L-15	701E	140	高濃度試験試料分析室 冷蔵庫	要
			702E	270	高濃度試験試料分析室 冷蔵庫	要
			703	490	高濃度試験試料分析室 インキュベーター	要
			704		高濃度試験試料分析室 ドラフトチャンバー	否
			705		高濃度試験試料分析室 ドラフトチャンバー	否
			706		高濃度試験試料分析室 クリーンベンチ（ミキサー）100w	否
			707	260	高濃度試験試料分析室 インキュベーター	要
			708E	370	高濃度試験試料分析室 保冷库	要
			709		標準品調整室・（天秤室） ドラフトチャンバー	否
			710		予備	—
			計	1,913	VA	
	4	AL-4LM-3	701E	3	動物用医薬品試験室 デシケータ	要
			702E	238	動物用医薬品試験室 バイオメディカルフリーザー	要
			703	230	動物用医薬品試験室 （バイオメディカルフリーザー）	要
			704	230	動物用医薬品試験室 （バイオメディカルフリーザー）	要
			705	370	動物用医薬品試験室 冷凍冷蔵庫	要
			706	370	動物用医薬品試験室 冷凍冷蔵庫	要
			707E	145	動物用医薬品試験室 バイオフィリーザー（薬用冷蔵ショーケース）	要
			708		動物用医薬品試験室 ドラフトチャンバー	否
			709		動物用医薬品試験室 ドラフトチャンバー	否
			710E	290	動物用医薬品試験室 バイオフィリーザー（防爆冷蔵庫）	要
			711	370	動物用医薬品試験室 冷凍冷蔵庫	要
			712		動物用医薬品試験室 バイオフィリーザー（負荷無）	—
			713		予備	—
			714		予備	—
			計	2,808	VA	
			801E		食品微生物室 フリーザー（動物用医薬品試験室 薬用保管庫 負荷無）	—
			802		予備	—
			計	0	VA	
			合計	2,808	VA	
		AL-4L-5-2	701E	140	残留農薬試験室 バイオメディカルクーラー	要
			702E	175	残留農薬試験室 保冷库	要
			703		残留農薬試験室 （負荷無）	—
			704		残留農薬試験室 （負荷無）	—
			705		残留農薬試験室 ドラフトチャンバー	否
			706		予備	—
			計	394	VA	
		AL-4L-6	701E	175	残留農薬試験室 薬用冷蔵ショーケース	要
			702	230	残留農薬試験室 （バイオフィリーザー）	要
			703E	165	残留農薬試験室 薬用保冷库	要
			704E	370	残留農薬試験室 冷凍庫	要
			705		残留農薬試験室 棚（負荷無）	—
			706		残留農薬試験室 棚（負荷無）	—
			707	460	残留農薬試験室 フリーザー×2台	要
			708		予備	—
			709E		予備	—
			710		予備	—
			計	1,750	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 1	4	AL-4LM-9	701		検体受付室（冷蔵庫）172W	否
			702		食品前処理室 ドラフトチャンパー	否
			703		食品前処理室 ドラフトチャンパー	否
			704E		食品前処理室 製氷機 250W	否
			705		予備	—
			706		予備	—
			計	0	VA	
		AL-4L-11	701E	290	試料保管室4 防爆冷蔵庫	要
			702E	370	試料保管室4 冷凍冷蔵庫	要
			703E	100	試料保管室4 防爆冷蔵庫	要
			704E		試料保管室4 薬用冷蔵ショーケース（負荷無）	—
			705E		試料保管室4 予備冷蔵庫（負荷無）	—
			706E		試料保管室4 予備冷蔵庫（リーラーコンセント 負荷無）	—
			707E	140	試料保管室4 バイオメディカルクーラー	要
			708E	140	試料保管室4 バイオメディカルクーラー	要
			709E	140	試料保管室4 バイオメディカルクーラー	要
			710E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			711E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			712E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			713E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			714E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			715E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			716E	230	試料保管室4 メディカルフリーザー	要
			717E		試料保管室4 予備冷蔵庫（負荷無）	—
			718		試料保管室4（負荷無）	—
			719		試料保管室4（負荷無）	—
			720E		試料保管室4 予備冷蔵庫（負荷無）	—
			721E		試料保管室4 予備冷蔵庫（負荷無）	—
			722E		試料保管室4 予備冷蔵庫（負荷無）	—
			723E		試料保管室4 薬用冷蔵庫（負荷無）	—
			724E	230	試料保管室4 バイオメディカルフリーザー	要
			725E	230	試料保管室4 バイオメディカルフリーザー	要
			726E	230	試料保管室4 バイオメディカルフリーザー	要
			727E	230	試料保管室4 バイオメディカルフリーザー	要
			728		予備	—
			計	4,638	VA	
			801		試料保管室4（負荷無）	—
			802		予備	—
			計	0	VA	
			合計	4,638	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 1	4	AL-4LM-14	701		食品添加物試験室 (負荷無)	—
			702		食品添加物試験室 ドラフトチャンバー	否
			703		食品添加物試験室 (負荷無)	—
			704		食品添加物試験室 (負荷無)	—
			705	140	食品添加物試験室 保管棚(冷蔵庫)ー	要
			706		食品添加物試験室 保管棚(インキュベーター)1500w	否
			707E		食品添加物試験室 薬用冷蔵ショーケース (負荷無)	—
			708		食品添加物試験室 インキュベーター (負荷無)	—
			709E	175	食品添加物試験室 業務用冷凍冷蔵庫(薬用冷蔵ショーケース)ー	要
			710E	140	食品添加物試験室 メディカルクーラー	要
			711E	140	食品添加物試験室 バイオメディカルフリーザー	要
			712E	140	食品添加物試験室 バイオフリーザー (冷凍庫)	要
			713	140	食品添加物試験室 (冷凍庫)	要
			714		予備	—
			計	1,094	VA	
仮 L 2	5	AL-5L-3	701	1,500	腸管系細菌検体処理室 オートクレーブ・電気スタンド差替	要
			702	980	腸管系細菌検体処理室 インキュベーター (2台)	要
			703	490	腸管系細菌検体処理室 インキュベーター	要
			704E	279	検体受付室5-1 薬用保冷库	要
			705E	230	検体受付室5-1 メディカルフリーザー	要
			706	560	汚染食品等検査室 安全キャビネット	要
			707		汚染食品等検査室 ドラフトチャンバー	否
			708		汚染食品等検査室 インキュベーター (+ホモジナイザー) 461w	否
			709		汚染食品等検査室 インキュベーター400w	否
			710E	358	腸管系細菌分離室 冷蔵庫	要
			711E	230	腸管系細菌分離室 メディカルフリーザー	要
			712E	430	腸管系細菌分離室 保冷库	要
			713E	169	腸管系細菌分離室 保冷库	要
			714E	140	腸管系細菌分離室 メディカルフリーザー	要
			715	1,200	腸管系細菌分離室 冷却遠心機	要
			716E	370	腸管系細菌分離室 メディカルフリーザー	要
			717	490	腸管系細菌分離室 インキュベーター	要
			718	490	腸管系細菌分離室 インキュベーター	要
			719	490	腸管系細菌分離室 インキュベーター	要
			720		検体受付室他 自動ドア	否
			721		検体受付室他 自動ドア	否
			722		予備	—
			723		予備	—
			724		予備	—
			計	10,508	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 2	5	AL-5L-5	701	230	腸管系細菌解析室 メディカルフリーザー	要
			702	130	腸管系細菌解析室 メディカルフリーザー	要
			703	490	腸管系細菌解析室 研究用保冷庫	要
			704	140	腸管系細菌解析室 研究用保冷庫	要
			705	130	腸管系細菌解析室 フリーザー	要
			706	450	腸管系細菌解析室 研究用保冷庫	要
			707	130	腸管系細菌解析室 フリーザー	要
			708	840	腸管系細菌解析室 研究用保冷庫+インキュベータ差替	要
			709	830	腸管系細菌解析室 メディカルフリーザー+インキュベータ差替	要
			710	490	腸管系細菌解析室 研究用保冷庫	要
			711	506	腸管系細菌解析室 安全キャビネット	要
			712	506	腸管系細菌解析室 安全キャビネット	要
			713		腸管系細菌解析室 自動ドア	否
			714	1,350	延長タップ10m ヒートブロック・微量高速遠心機差替	要
			計	7,778	VA	
		AL-5L-7	701	598	呼吸器・耐性菌検査室 薬用保冷庫	要
			702	300	呼吸器・耐性菌検査室 バイオメディカルフリーザー	要
			703	228	呼吸器・耐性菌検査室 冷蔵庫（薬品保冷庫）	要
			704	230	呼吸器・耐性菌検査室 メディカルフリーザー	要
			705	547	呼吸器・耐性菌検査室 薬用保冷庫	要
			706	280	呼吸器・耐性菌検査室 メディカルフリーザー	要
			707	228	呼吸器・耐性菌検査室 フリーザー（薬品保冷庫）	要
			708		呼吸器・耐性菌検査室 安全キャビネット	否
			709	433	呼吸器・耐性菌検査室 インキュベーター	要
			710	632	呼吸器・耐性菌検査室 安全キャビネット（インキュベーター）	要
			711	560	呼吸器・耐性菌検査室 安全キャビネット	要
			712		呼吸器・耐性菌検査室 インキュベーター（安全キャビネット）	否
			713	411	呼吸器・耐性菌検査室 インキュベーター（+パスボックス）	要
			714		呼吸器・耐性菌検査室 什器コンセント（負荷無）	—
			715		呼吸器・耐性菌検査室 洗浄室・自動ドア	否
			716		予備	—
			計	5,559	VA	
		AL-5L-10-2	701	430	検体受付室5-2 冷蔵ショーケース	要
			702	180	検体受付室5-2 メディカルフリーザー	要
			703	130	検体受付室5-2 冷蔵庫	要
			704	280	食品細菌分離室 薬用保冷庫	要
			705	358	食品細菌分離室 メディカルフリーザー	要
			706		食品細菌分離室 冷凍冷蔵庫用（インキュベーター+遠心機）580w	否
			707		食品細菌分離室（負荷無）	—
			708	358	食品処理室 薬用保冷庫	要
			709	230	食品処理室 メディカルフリーザー	要
			710		検体受付室5-2他 自動ドア	否
			711		予備	—
			712		予備	—
			計	2,458	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 2	5	AL-5L-14 DS1左側	701	430	試薬調整室 5 冷蔵庫（薬用保冷库）	要
			702	1,460	試薬調整室 5 から核酸解析室へ プレート用遠心機・リアルタイムPCR・サマルサイクラー	要
			703	767	試薬調整室 5 薬用保冷库(冷蔵庫287W) +DNA7-グー-ス(300W)(AL-5L-12 回路306からテーブルタップにて差し替え + 負荷100W+80W)(機器使用時に研究員にて上記テーブルタップに切替)	要
			704	610	試薬調整室 5 メディカルフリーザー(130W) +DNA7-グー-ス(300W)(AL-5L-12 回路306からテーブルタップにて差し替え + 負荷(100W+80W)(機器使用時に研究員にて上記テーブルタップに切替)	要
			705	788	電気泳動室 冷蔵庫（薬用保冷库）+ MultiNA+PC用テーブルタップ	要
			706	130	電気泳動室 フリーザー	要
			707	930	電気泳動室 冷蔵庫+ 電気泳動装置・電気スタンド	要
			708	150	電気泳動室 冷凍冷蔵庫	要
			709		核酸解析室 自動ドア	否
			710		予備	—
			計	6,581	VA	
		AL-5L-14 DS2右側	711	493	培地調整室 製氷機	要
			712		薬品保管庫 （負荷無）	—
			713		薬品保管庫 薬用品保冷库（負荷無）	—
			714	270	薬品保管庫 薬用保冷库（メディカルフリーザー）	要
			715	555	薬品保管庫 薬用保冷库	要
			716		予備	—
			717		予備	—
			718		予備	—
			計	1,648	VA	
			合計	8,229	VA	
	6	AL-6L-3	701	150	検体受付室 6 冷凍冷蔵庫	要
			702E	150	検体処理室 (A) 冷凍冷蔵庫	要
			703E	280	検体処理室 (A) バイオメディカルフリーザー	要
			704E		検体処理室 (A) バイオマルチクーラー（負荷無）	—
			705	150	検体処理室 (A) バイオハザード対応用キャビネット（バイオマルチクーラー）	要
			706		検体処理室 (A) バイオハザード対応用キャビネット	否
			707		検体処理室 (A) バイオハザード対応用キャビネット	否
			708E	150	検体処理室 (B) 冷蔵庫	要
			709		検体処理室 (B) 安全キャビネット（負荷無）	—
			710		検体処理室 (B) 安全キャビネット	—
			711	150	検体処理室 (B) 安全キャビネット（バイオマルチクーラー）	要
			712E		検体処理室 (B) バイオマルチクーラー（負荷無）	—
			713		検体処理室 (B) ドラフトチャンパー	否
			714E	460	前室 超低温フリーザー	要
			715		試薬調整室 6 （THERMO ALUMI BATH ALB-121）	否
			716E	190	試薬調整室 6 メディカルフリーザー	要
			717E	140	試薬調整室 6 バイオメディカルフリーザー	要
			718E	150	試薬調整室 6 冷凍冷蔵庫	要
			719E	150	試薬核酸混合室 冷凍冷蔵庫	要
			720E	370	サーマルサイクラー室 冷凍冷蔵庫	要
			721		予備	—
			722		予備	—
			723		予備	—
			計	3,113	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 2	6	AL-6L-5	701E	240	核酸処理・電気泳動室 薬用保冷ショーケース	要
			702E	310	核酸処理・電気泳動室 薬用保冷ショーケース	要
			703E	290	核酸処理・電気泳動室 メディカルフリーザー	要
			704E	140	核酸処理・電気泳動室 メディカルフリーザー	要
			705E	280	核酸処理・電気泳動室 メディカルフリーザー	要
			706E	140	核酸処理・電気泳動室 メディカルフリーザー	要
			707E	233	核酸処理・電気泳動室 冷凍冷蔵庫	要
			708		予備	—
			計	2,041	VA	
		AL-6L-7	701E	140	共同機器室 (BSL1) 冷凍冷蔵庫	要
			702E	1,200	共同機器室 (BSL1) MALDI-TOF/MS+PC用仮設配線	要
			703E	493	共同機器室 (BSL1) 製氷機	要
			704E	140	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			705	140	試料保管室6 (メディカルフリーザー)	要
			706E	440	試料保管室6 バイオメディカルフリーザー	要
			707E		試料保管室6 予備	—
			708E	1,200	試料保管室6 超低温フリーザー	要
			709E	140	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			710E	290	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			711E	290	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			712	290	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			713E		試料保管室6 フリーザー (負荷無)	—
			714E	140	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			715E	140	試料保管室6 メディカルフリーザー	要
			716E	140	試料保管室6 バイオメディカルフリーザー	要
			717		血清検査室 安全キャビネット	否
			718	190	血清検査室 安全キャビネット (負荷無)-CO2インキュベーター	要
			719	540	血清検査室 CO2インキュベーター (+バイオマルチクーラー)	要
			720E	140	血清検査室 メディカルフリーザー	要
			721E	247	血清検査室 冷凍冷蔵庫	要
			722		予備 (負荷無)	—
			723		予備	—
			724		予備	—
			計	7,875	VA	
			801E		予備	—
			802		予備	—
			計	0	VA	
			合計	7,875	VA	
		AL-6L-9	701	400	動物・環境由来検体処理室 (A) 薬用保冷库 (メディカルフリーザー)	要
			702		動物・環境由来検体処理室 (A) (負荷無)	—
			703		動物・環境由来検体処理室 (A) (負荷無)	—
			704	190	動物・環境由来検体処理室 (B) メディカルフリーザー	要
			705	180	動物・環境由来検体処理室 (B) 薬用冷蔵庫	要
			706		動物・環境由来検体処理室 (B) 安全キャビネット	否
			707		動物・環境由来検体処理室 (B) 安全キャビネット	否
			708		予備	—
			計	963	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 2	6	AL-6L-11 切替器①	701E	140	危機管理室 メディカルフリーザー	要
			702E	150	危機管理室 バイオマルチクーラー	要
			703		危機管理室 安全キャビネット 312W	否
			704		危機管理室 安全キャビネット 312W	否
			705		予備	—
			706		予備	—
			計	363	VA	
		AL-6L-11 切替器②	711E	140	ウイルス実験室 バイオフリーザー	要
			712E	650	ウイルス実験室 冷凍冷蔵庫 (+遠心機)	要
			713		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			714		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			715		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			716		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			717E	140	ウイルス実験室 バイオフリーザー	要
			718E	140	ウイルス実験室 バイオフリーザー	要
			719		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			720		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			721E	140	ウイルス実験室 バイオメディカルクーラー	要
			722E	150	ウイルス実験室 冷凍冷蔵庫	要
			723	150	ウイルス実験室 バイオメディカルクーラー	要
			724	234	ウイルス実験室 冷蔵庫	要
			725		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			726		ウイルス実験室 安全キャビネット	否
			727	890	ウイルス実験室 冷凍冷蔵庫	要
			728	175	ウイルス実験室 冷凍冷蔵庫	要
			729	230	ウイルス実験室 バイオフリーザー	要
			730	1,400	ウイルス実験室 CO2インキュベーター (+クールユニット)	要
			731		ウイルス実験室 (負荷無)	—
			732	1,247	ウイルス実験室 CO2インキュベーター (2台)	要
			733	700	ウイルス実験室 CO2インキュベーター (2台)	要
			734		予備	—
			計	7,983	VA	
			合計	8,345	VA	
		AL-6L-14	701		細胞培養室 CO2インキュベーター (負荷無)	—
			702	1,690	細胞培養室 CO2インキュベーター (2台)	要
			703E	140	細胞培養室 メディカルフリーザー	要
			704E	226	細胞培養室 冷凍冷蔵庫	要
			705		細胞培養室 オートクレーブ 800w	否
			706	700	細胞培養室 CO2インキュベーター	要
			707	700	細胞培養室 CO2インキュベーター	要
			708	380	細胞培養室 CO2インキュベーター	要
			709		DNA実験室 安全キャビネット	否
			710		DNA実験室 インキュベーター 800w	否
			711E	385	DNA実験室 ディープフリーザー	要
			712E	250	DNA実験室 超低温フリーザー	要
			713E	150	DNA実験室 冷凍冷蔵庫	要
			714		DNA実験室 オートクレーブ 800w	否
			715		予備	—
			716		予備	—
			計	5,776	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 3	7	AL-7L-1	701	280	医動物実験室 恒温インキュベーター（負荷無）フリーザー	要
			702E		医動物実験室 フリーザー（負荷無）	—
			703E	125	医動物実験室 フリーザー	要
			704E	370	医動物実験室 冷凍冷蔵庫	要
			705E	370	医動物実験室 冷凍冷蔵庫	要
			706E	370	医動物実験室 冷凍冷蔵庫	要
			707	200	医動物実験室 飼育恒温槽	要
			708	200	医動物実験室 飼育恒温槽	要
			709		医動物実験室 人工気象器	要
			710		予備	—
			計	2,394	VA	
		AL-7L-2	701E		抗酸菌検査解析室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			702E	190	抗酸菌検査解析室 フリーザー	要
			703E	190	抗酸菌検査解析室 （フリーザー）	要
			704E	140	抗酸菌検査解析室 バイオメディカルクーラー	要
			705E	445	抗酸菌検査解析室 メディカルフリーザー	要
			706	440	抗酸菌検査解析室 インキュベーター	要
			707		抗酸菌検査解析室 安全キャビネット	否
			708		抗酸菌検査解析室 自動ドア	否
			709		予備	—
			710		予備	—
			計	1,756	VA	
		AL-7L-3	701	280	細菌用安全実験室 フリーザー	要
			702		細菌用安全実験室 フリーザー（リーラーコンセント）負荷無	—
			703	140	細菌用安全実験室 マイバイオ（リーラーコンセント）フリーザー	要
			704	460	細菌用安全実験室 フリーザー（リーラーコンセント）	要
			705	1,025	細菌用安全実験室 フリーザー（リーラーコンセント）+超低温槽	要
			706		細菌用安全実験室（BSL3） 冷凍冷蔵庫（負荷無）	—
			707	279	細菌用安全実験室（BSL3） 専用冷蔵庫	要
			708		細菌用安全実験室（BSL3） オートクレープ 550w	否
			709		細菌用安全実験室（BSL3） 安全キャビネット	否
			710		細菌用安全実験室（BSL3） 安全キャビネット	否
			711		細菌用安全実験室 （リーラーコンセント）負荷無	—
			712	225	細菌用安全実験室（BSL3） 冷却遠心機（薬用保冷库）	要
			713	770	細菌用安全実験室（BSL3） インキュベーター	要
			714		細菌用安全実験室（BSL3） インキュベーター（負荷無）	—
			715		細菌用安全実験室 自動ドア	否
			716		予備	—
			計	3,974	VA	
			801		細菌用安全実験室（BSL3） 自動ドア（オートクレープ）550W	否
			802		予備	—
			計	0	VA	
			合計	3,974	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 3	7	AL-7L-4	701E	800	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			702E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリースター (負荷無)	—
			703E	550	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			704E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリースター (負荷無)	—
			705E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温槽 (負荷無)	—
			706E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温槽 (負荷無)	—
			707E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリースター (負荷無)	—
			708E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリースター (負荷無)	—
			709E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリースター (負荷無)	—
			710E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			711E	355	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			712E	260	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			713E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			714E		微生物部病原体等冷凍保管室 (電話機子機)	否
			715E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			716E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			717E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			718E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			719E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			720E		微生物部病原体等冷凍保管室 (負荷無)	—
			721E		予備	—
			722E		予備	—
			723E		予備	—
			724E		予備	—
			計	2,456	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	
仮 L 3	7	AL-7L-5	701E		微生物部病原体等冷凍保管室	要
			702E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			703E	50	微生物部病原体等冷凍保管室（PC）	要
			704E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			705E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			706E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			707E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			708E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			709E	271	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			710E	330	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			711E	1,540	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			712E	1,200	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温ECOフリーザー	要
			713E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			714E		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			715E	100	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー 100W	否
			716E	580	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			717E	355	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			718E	271	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			719E	580	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			720E	290	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			721E	275	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			722E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			723E	520	微生物部病原体等冷凍保管室 低温フリーザー	要
			724E	330	微生物部病原体等冷凍保管室（フリーザー）	要
			725E	330	微生物部病原体等冷凍保管室（フリーザー）	要
			726E	330	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			727E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			728E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			729E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			730E	330	微生物部病原体等冷凍保管室（フリーザー）	要
			731E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			732E	140	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			733E		微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー（負荷無）	—
			734E	230	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			735E	230	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			736E	230	微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー	要
			737E		微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー（負荷無）	—
			738E		微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー（負荷無）	—
			739		HUB・親機	否
			740		予備	—
			741		予備	—
			742		予備	—
			計	11,690	VA	
			801E		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			802E	1,170	微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー	要
			803		予備	—
			804		予備	—
			計	1,463	VA	
			合計	13,153	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 L 3	7	AL-7L-7-2	701	130	動物舎一般実験室 冷蔵庫（フリーザー）	要
			702	370	動物舎GLP実験室 薬用保冷库（冷凍冷蔵庫）	要
			703		動物舎GLP実験室 飼育ゲージ	否
			704	520	動物舎後室 低温フリーザ	要
			705		予備	—
			706		予備	—
			計	1,275	VA	
		AL-7LM-9	701E	150	動物舎感染実験室 フリーザー	要
			702	200	動物舎感染実験室 セーフティラック	要
			703		動物舎感染実験室 安全キャビネット（負荷無）	—
			704		動物舎感染実験室 安全キャビネット（負荷無）	—
			705		動物舎感染実験室（ABSL3） 安全キャビネット（負荷無）	—
			706E		動物舎感染実験室（ABSL3） 安全キャビネット（負荷無）	—
			707	1,805	動物舎感染実験室（ABSL3） インキュベーター（+冷却遠心機）	要
			708		動物舎感染実験室（ABSL3） 実験台	否
			709		動物舎感染実験室（ABSL3） セーフティラック	否
			710		動物舎感染実験室（ABSL3） 前室・後室インターロック盤	要
			計	2,694	VA	
		AL-7L-10-2	701E	200	洗浄滅菌室7 冷蔵庫冷凍庫	要
			702E	160	洗浄滅菌室7 冷蔵庫冷凍庫	要
			703	493	洗浄滅菌室7 製氷機	要
			704E	140	洗浄滅菌室7 冷蔵庫メディカルフリーザー	要
			705E	550	ウイルス用安全実験室 冷凍冷蔵庫	要
			706	819	ウイルス用安全実験室 インキュベーター	要
			707		ウイルス用安全実験室 安全キャビネット（負荷無）	—
			708		ウイルス用安全実験室 安全キャビネット（負荷無）	—
			709E		ウイルス用安全実験室 冷却遠心機（負荷無）	—
			710	365	ウイルス用安全実験室 フリーザー	要
			711E		ウイルス用安全実験室（BSL3） 安全キャビネット	否
			712		ウイルス用安全実験室（BSL3） 安全キャビネット	否
			713	506	ウイルス用安全実験室（BSL3） CO2インキュベーター	要
			714	260	ウイルス用安全実験室（BSL3） インキュベーター	要
			715		ウイルス用安全実験室（BSL3） インキュベーター（負荷無）	—
			716E	506	ウイルス用安全実験室（BSL3） CO2インキュベーター	要
			717	550	ウイルス用安全実験室（BSL3） 超低温フリーザー	要
			718E	550	ウイルス用安全実験室（BSL3） 薬用保冷库	要
			719		予備	—
			720		予備	—
			計	6,374	VA	
	8	AL-8L-1	701	1,500	観測室 High volume air sampler（モニタリングポスト）	要
			702	1,500	観測室（モニタリングポスト）	要
			703	1,500	観測室（モニタリングポスト）	要
			704	150	観測室 ドラフトチャンバー（冷蔵庫）	要
			705		観測室 ドラフトチャンバー	否
			706		予備	—
			計	5,813	VA	

南館仮設電源送電機器						R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	
仮 M 1	4	AL-4LM-10	801		食品前処理室 製氷機（ハイプロ負荷無）	—
			802		食品前処理室 製氷機（将来用）負荷無	—
			803		防爆冷蔵庫（負荷無）	—
			計	0	VA	／
		低温室切替 盤 4 M-1 4階低温室 電灯動力盤	1	3,500	R-4-3R1 外気処理ユニット	要
			2	1,100	R-4-1 冷凍機	要
			3	1,100	R-4-2 冷凍機	要
			4	130	R-4-1R1 冷却器	要
			5	130	R-4-2R1 冷却器	要
			計	7,450	VA	／
	5	低温室切替 盤 5M-1 5階低温室 電灯動力盤	1	1,500	R-5-1 冷凍機	要
			2	1,500	R-5-2 冷凍機	要
			3	1,500	R-5-3 冷凍機	要
			4	1,500	R-5-4 冷凍機	要
			5	130	R-5-1R1 冷却器	要
			6	130	R-5-2R1 冷却器	要
			7	130	R-5-3R1 冷却器	要
			8	130	R-5-4R1 冷却器	要
			計	8,150	VA	／
	6	6階 超低温切替 盤	101	1,550	試料保管室6 超低温フリーザー	要
			102	1,500	試料保管室6 超低温フリーザー	要
			計	3,813	VA	／
		低温室切替 盤 6M-1 6階低温室 電灯動力盤	1	1,500	R-6-1 冷凍機	要
			2	1,500	R-6-2 冷凍機	要
			3	1,500	R-6-3 冷凍機	要
			4	130	R-6-1R1 冷却器	要
			5	130	R-6-2R1 冷却器	要
			6	130	R-6-3R1 冷却器	要
			計	6,113	VA	／
仮 M 2	7	AL-7M-6	101		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			102		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			103	670	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			104		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			105	2,650	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			106	2,650	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			107		微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー（負荷無）	—
			108		微生物部病原体等冷凍保管室（負荷無）	—
			109		微生物部病原体等冷凍保管室 メディカルフリーザー（負荷無）	—
			110		微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー（負荷無）	—
			111		微生物部病原体等冷凍保管室 フリーザー（負荷無）	—
			112		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			113		微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー（負荷無）	—
			114	3,630	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			115	1,180	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー 1,180W	否
			116	3,000	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			117	3,000	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			118	3,000	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			119	3,000	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			120	3,000	微生物部病原体等冷凍保管室 超低温フリーザー	要
			121		洗浄滅菌室7 滅菌装置1	否
			122		洗浄滅菌室7 滅菌装置2	否
			計	32,225	VA	／

南館仮設電源送電機器						R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否
仮 M 2	7	低温室切替 盤 7M-1 7階低温室 電灯動力盤	1	1,500	R-7-1 冷凍機	要
			2	1,500	R-7-2 冷凍機	要
			3	1,500	R-7-3 冷凍機	要
			4	130	R-7-1R1 冷却器	要
			5	130	R-7-2R1 冷却器	要
			6	130	R-7-3R1 冷却器	要
			計	6,113	VA	
仮 M 3	R	A-RM-8	BE		4階試料保存室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			BE		4階試料保存室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			BE		6階フリーザー室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			BE		7階検察室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			計	0	VA	
			BE		7階微生物部病原体等冷凍保管室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			BE		7階微生物部病原体等冷凍保管室 空気熱源ヒートポンプパッケージ室外機	否
			計	0	VA	
			合計	0	VA	

仮L 1	33,618 VA
仮L 2	62,643 VA
仮L 3	39,888 VA
電灯仮設計	136,148 VA
仮M 1	25,525 VA
仮M 2	38,338 VA
仮M 3	0 VA
動力仮設計	63,863 VA

北館仮設電源送電機器						R5年度 仮設要否	R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称		
仮 1	10. 階 手 元 開 閉 器 盤	BL-10L-1 (BL仮12-1)	701E	370	多目的室実習室準備室 コンセント (薬用保冷库)	否	否
			702		予備	-	-
			703		予備	-	-
			計	463	VA		
		BL-10LM-2 (BL仮12-2)	701E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			702E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			703E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			704E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			705E	690	検体冷凍保管室 コンセント (フリーザー×2台)	要	要
			706E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			707E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			708E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			709E		検体冷凍保管室 コンセント (負荷無)	-	-
			710		予備	-	-
			711		予備	-	-
			712		予備	-	-
			計	863	VA		
仮 2	11. 階 手 元 開 閉 器 盤	B-11LM-1 (BL仮20-1)	901		誘導灯	否	否
			902		予備	-	-
			計	0	VA		
			501		男性トイレ・女性トイレ・SK 電灯	否	否
			502		空調機械室 電灯	否	否
			503		リモコントランス用電源	否	否
			504		予備	-	-
			計	0	VA		
			601		エレベーターホール他 電灯	否	否
			602		執務室・会議室他 電灯	否	否
			603		資料室・女性更衣室・男性更衣室他 電灯	否	否
			604		第4機器室 電灯	否	否
			605		第3機器室 電灯	否	否
			606		揮発性物質前処理室 電灯	否	否
			607		機材室 電灯	否	否
			608		予備	-	-
			計	0	VA		
			701E	200	試薬物品保管庫 コンセント (冷凍冷蔵庫)	要	要
			702	288	資材室作業室 コンセント (負荷無冷凍冷蔵庫)	要	要
			703		LC盤用電源 (OFF)	-	-
			704		RS盤用電源	否	否
			705		端子盤用コンセント (ITV・情報)	否	否
			706E		資材室作業室 コンセント	否	否
			707		環境科学研究センター執務室 (サーバー用) コンセント	否	否
			708		環境科学研究センター執務室 (蓋付き) コンセント	否	否
			計	488	VA		
			801		第3機器室・第4機器室 空調室内機	否	否
			802		第3機器室・第4機器室 BSユニット	否	否
			計	0	VA		
			合計	488	VA		
		BL-11L-2 (BL仮20-2)	701E	363	第4機器室 コンセント (冷凍冷蔵庫)	要	要
			702E	930	第4機器室 コンセント (パソコン) 第3機器室BL-11LM-1 337へ配線	要	要
			703		予備	-	-
			704		予備	-	-
			計	1,616	VA		

北館仮設電源送電機器						R5年度	R6年度
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称	仮設要否	仮設要否
仮 1 2	12. 階 手 元 開 閉 器 盤	BL-12L-1 (BL仮21-1)	701	289	水環境実験室 コンセント（インキュベーター）	要	要
			702	629	水質分析室 コンセント（冷蔵庫・フリーザー）	要	要
			703		水環境実験室 コンセント（テーブルタップ）	否	否
			704	796	水環境実験室 コンセント（冷蔵庫×2台）	要	要
			705		予備	－	－
			706		予備	－	－
			計	2,143	VA		
		BL-12L-3 (BL仮21-2)	701E	435	微量化学物質実験室 コンセント（冷蔵庫）	要	要
			702E	930	微量化学物質実験室 コンセント（冷凍庫）	要	要
			703		予備	－	－
			704E	168	微量化学物質実験室 コンセント（冷凍庫）	要	要
			705	985	微量化学物質実験室 コンセント（冷凍冷蔵庫）	要	要
			706		予備	－	
			計	3,148	VA		
			801E		微量化学物質実験室 コンセント(30A)負荷無	－	－
			計	0	VA		
		合計	3,148	VA			
		BL-12L-4 (BL仮21-3)	701		高度安全化学実験室 コンセント（負荷無）	－	－
			702E	629	高度安全化学実験室 コンセント（冷凍冷蔵庫）	要	要
			703		高度安全化学実験室 コンセント（負荷無）	－	－
			704		予備	－	－
			705		予備	－	－
			計	786	VA		
		BL-12L-5	701	2,000	生物実験室 コンセント（ロッカー型冷蔵庫）	要	要
			702		予備	－	－
			703E	1,050	生物実験室 コンセント（ディープフリーザー）	要	要
			704E	300	生物実験室 コンセント（インキュベーター薬用冷凍冷蔵庫）	要	要
			705E	1,050	無菌室前室 コンセント（ディープフリーザー）	要	要
			706		無菌室 ケースブレイカー(30A)遠心機	否	否
			707	300	無菌室 コンセント（インキュベーター）	要	要
			708		無菌室前室 オートクレープ用電源(30A)負荷無	－	－
			709E	880	生物実験室 コンセント（人工気象器）	要	要
			710E		生物実験室 コンセント(30A)ケースブレイカー負荷無（インキュベーター）	否	否
			711	1,460	無菌室前室 コンセント（インキュベーター+ディープフリザー）	－	要
			712E		生物実験室 コンセント（負荷無）	－	－
			713		予備	－	－
			714		予備	－	－
			計	8,800	VA		
			801E		予備	－	－
			802E		予備	－	－
			計	0	VA		
			合計	8,800	VA		
		BL-12L-7 (BL仮21-5)	701	796	有機分析前処理室 コンセント(20A)冷凍冷蔵庫	要	要
			702	615	有機分析前処理室 コンセント（冷蔵庫）+底質分析前処理室冷凍冷蔵庫・冷蔵庫に配線	要	要
			703		予備	－	－
			704		予備	－	－
			計	1,764	VA		

北館仮設電源送電機器						R5年度 仮設要否	R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称		
仮 1 2	13. 階 手 元 開 閉 器 盤	BL-13LM-2 (BL仮22-2)	701E	855	大気環境実験室 コンセント (フリーザー)	要	要
			702E	635	大気環境実験室 コンセント (フリーザー)	要	要
			703		予備	—	—
			704		予備	—	—
			計	1,863	VA		
		B-13LM-1 (BL仮22-1)	901		誘導灯	否	否
			902E		誘導灯	否	否
			903		予備	—	—
			904		予備	—	—
			計	0	VA		
			501		男性トイレ・女性トイレ・SK 電灯	要	要
			502	110	空調機械室、第2電気室 電灯	要	要
			503		リモコントランス用電源、伝送ユニット用電源	否	否
			504		換気扇 第2電気室	否	否
			計	138	VA		
			601		東エレベーターホール 電灯	否	否
			602		試料保管室 電灯	否	否
			603		無機分析前処理室 電灯	否	否
			604		土壌廃棄物実験室 電灯	否	否
			605		顕微鏡室、第1機器室他 電灯	否	否
			606		第2機器室 電灯	否	否
			607		低濃度無機分析前処理室 電灯	否	否
			608		大気環境実験室 電灯	否	否
			609		アスベスト前処理室 電灯	否	否
			610		前室 電灯	否	否
			611		予備	—	—
			612		屋上受水槽遮断弁電源	否	否
			計	0	VA		
			701		RS盤用電源	否	否
			702		端子盤用コンセント (ITV・情報)	否	否
			703		インターロック制御盤 電源	否	否
			704		予備	—	—
			705	1,500	第2電気室 コンセント	要	要
			計	1,875	VA		
			801		土壌廃棄物実験室、第1機器室 空調室内機	否	否
			802		第2電気室 空調室内機	否	否
			803		土壌廃棄物実験室、第1機器室 BSユニット	否	否
			804		予備	—	—
			805		予備	—	—
			806		予備	—	—
			計	0	VA		
			合計	2,013	VA		
		BL-13L-3 (BL仮22-3)	701E		低濃度無機分析前処理室 コンセント (負荷無冷凍冷蔵庫)	要	要
			702		予備	—	—
			計	0	VA		
		BL-13LM-6 (BL仮22-4)	701E	500	試料保管室 コンセント (負荷無) 第1機器室へ配線 冷凍冷蔵庫差替え	要	要
			702E	1,026	試料保管室 コンセント (冷凍冷蔵庫)	要	要
			703		予備	—	—
			704		予備	—	—
			計	1,908	VA		
			801E		試料保管室 コンセント (冷凍冷蔵庫負荷無) 200V	否	否
			802		予備	—	—
			803		予備	—	—
			804		予備	—	—
			計	0	VA		
			合計	1,908	VA		
		BL-13L-7 (BL仮22-5)	701E	848	土壌廃棄物実験室 コンセント (冷凍冷蔵庫)	要	要
			702E	455	土壌廃棄物実験室 コンセント (冷蔵庫)	要	要
			703		予備	—	—
			704		予備	—	—
			計	1,629	VA		

北館仮設電源送電機器						R5年度 仮設要否	R6年度 仮設要否
仮設No	階	盤名称	回路番号	容量(W)	負荷名称		
仮 ー 4	仮 設 電 源 盤 よ り	B-1LM-1 (BL仮30)	901		誘導灯	否	否
			902		階段通路誘導灯（東B1～7階）	否	否
			903		階段通路誘導灯（西B1～7階、建屋側）（西B1～13階、外壁側）	否	否
			904		階段通路誘導灯（東8～13階、建屋側）	否	否
			905		階段通路誘導灯（中階段）	否	否
			906		階段通路誘導灯（西8～R階、建屋側）	否	否
			計	0	VA		
			501		リサイクルゴミ集積室、塵芥集積室 電灯	否	否
			502		男性トイレ（B）・女性トイレ（B）・多目的トイレ 電灯	否	否
			503		男性トイレ（A）・女性トイレ（A）・SK 電灯	要	要
			504		リモコントランス、伝送ユニット用電源	否	否
			505		社用駐輪場 電灯	否	否
			506		予備	－	－
			計	0	VA		
			601		西EVホール、荷捌室、前室他 電灯	否	否
			602		ユーティリティスペース、トイレ前廊下室 電灯	否	否
			603		東EVホール 電灯	否	否
			604		職員用エントランス 電灯	否	否
			605		警備員室・受付他 電灯	否	否
			606		図書館（開架）	否	否
			計	0	VA		
			701E		風除室2 自動ドア用電源	否	否
			702		RS盤用電源	否	否
			703		入札室 コンセント	否	否
			704		副受信機用電源	否	否
			705		操作用PC用電源（警備員室コンセント）	否	否
			706E	130	検体保管室 コンセント（ウイルス課冷蔵庫）	要	要
			707E	470	検体保管室 コンセント（フリーザー）	要	要
			708		端子盤用（ITV・情報） コンセント	否	否
			709		警備員室 天井コンセント	否	否
			710		ITV架電源	否	否
			711		非常呼出用電源	否	否
			712	80	インターホン電源	－	要
			計	850	VA		
			合計	850	VA		
仮 ー 3 （ 3φ ）	9 階 手 元 開 閉 器 盤	9 M-1 (BM仮10-1)	M1	7,340	9階低温室（冷凍機）3.67KW×2台	要	要
			M2	1,060	9階低温室（クーリングコイル）0.53KW×2台	要	要
			仮設配線	1,520	動力1次側～電気泳動室-80度冷蔵庫仮設コンセント 差し替え		要
			計	12,400	VA		
	12 階 手 元 開 閉 器 盤	12 M-1 (BM仮11-1)	701E	5,140	12階低温室（冷凍機）2.57KW×2台	要	要
			702E	220	12階低温室（クーリングコイル）0.11KW×2台	要	要
			計	6,700	VA		

R5年度

仮ー1 13,646 VA
 仮ー2 26,156 VA
 仮ー4 850 VA
 電灯仮設計 40,652 VA
 仮ー3（3φ） 19,100 VA
 動力仮設計 19,100 VA

－	76
要	64
否	69

非常用発電設備点検業務仕様書

1 業務名称

非常用発電設備点検業務

2 作業概要

当研究所に設置している非常用発電設備の点検整備を行う。

3 仕様

本仕様書によるほか製造者の点検整備基準「C点検」、潤滑油・冷却水交換及び内部観察を行う。
各年度の点検は次のとおりとする。

各年度○印の内容を実施すること

項 目	R 8 年度	R 9 年度	R 1 0 年度
点検一覧表ほか C 点検	○	○	○
潤滑油・冷却水交換	○		○
内部観察			○

4 作業場所

大阪市東成区中道 1 丁目 3 番 3 号

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

5 履行期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 1 0 年 1 0 月 1 日午前 9 時まで

6 作業時間等

作業予定日及び作業時間は、担当者と事前に協議すること。

7 作業範囲及び内容

・点検機関仕様

製造者名 ヤンマーエネルギーシステム株式会社

機関形式 発電機 AY20L-625H 発電機容量 625KVA [500KW] (長時間形)

エンジン AY20L-AP 定格出力 546KW

電圧及び周波数 6600V 60Hz 回転速度 1800min⁻¹

製造年月 2022 年 5 月

8 業務従事者

(1) 業務責任者

本業務における業務責任者は、設備運転保守管理業務で選任された者とし、本業務と安全管理を遂行すること。

(2) 業務作業員

本業務の作業員は本業務に精通していること。又、作業に当たっては労働安全衛生規則第 3 5 1 条による定期自主検査を行った安全防具、保護具を使用し安全に留意すること。

9 提出書類

点検報告書（作業写真含む）（2部）

非常用電源（予防的保全処置）点検報告書（2部） 担当者に確認のうえ消防署に提出すること。

その他担当者が指示するもの

10 その他

- ・本業務中に施設に損傷を与えた場合は受託者の責任において復旧すること。
- ・本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は担当者と協議すること。

<点検一覧表>

点検項目	点検内容
発電機室	隔壁等の破損による開口部の有無や水の浸透の有無の確認 整理整頓が来ているか確認 換気装置の機能の確認 照明設備の機能の確認 標識の状況と表示の適否の確認
本体基礎部	共通台板の取付状況及び基礎ボルトの変形、損傷等の有無 防振装置のひび割れ、変形、損傷、たわみの有無 付属機器の取付状態及び取付ボルトの点検 原動機と発電機の軸継手部の損傷、緩み等の有無
ディーゼル機関	原動機の据付け状況の点検 各部の汚損、変形等の有無 機側の各配管等に漏れが無いことの確認 各部の潤滑油量が適正であることの確認 潤滑油の汚れ及び変質の有無 各シリンダの吸排気弁のバネ部点検と弁頭隙間調整 燃料フィルター及び潤滑油フィルターの分解清掃 調速装置の作動状況の点検
燃料タンク	燃料タンクの貯油量確認と油面計の動作点検 燃料タンク、配管、バルブ類の状態と取付状態の確認 通気管の金網の脱落、腐食等の有無 燃料タンク内のスラッジの体積状況、水分含有状況の確認と排出
保護装置	各保護装置の動作確認と配線の接続確認
発電機	発電機本体、出力端子保護カバー等の変形、損傷、脱落、腐食等の有無 絶縁抵抗測定、接地抵抗測定、各種データ測定（電圧、周波数等）
セルモータ	ブラシの磨耗状態、ブラシ抑え圧力等の点検 スリップリングの点検
制御盤	計器類の動作確認 保護継電器の動作確認

仕 様 書

- 1 業務名称 地下タンク法定漏洩点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和10年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲 (1) この仕様書に規定する事項は、受注者とその責任において履行するものとする。
(2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
(3) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）によるものとする。
- 5 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 6 その他 (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
(2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
(3) 受注者は、作業中破損箇所を発見したときは、直ちに施設ITグループ担当職員（以下「担当者」という。）に報告し指示を受けること。
(4) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を監督職員に通知するとともに担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。
- 7 委託概要及び委託範囲
仕 様 地下重油タンクについて消防法14条の3の2及び関係諸法令に基づく点検を実施すること。
 - 1 業務内容
地下タンク（A重油9KL）及び配管点検一式の漏洩点検を履行期間中に1回行う。点検実施者は、危険物取扱者免状を有し、地下タンク設備を熟知した者とする。
地下タンク残油量：約9,000L
 - 2 点検対象設備
地下タンク、給油管、送油管、返油管及び通気管
地下タンクの種類：鋼製強化プラスチック製二重殻タンク
 - 3 報告書
(1) 点検終了後は直ちに報告書を2部作成の上、担当者に確認した後消防署へ提出すること。
(2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
 - 4 検 査
受注者は、本業務委託が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けること。
 - 5 その他

- (1) 修理等の処置
業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。
- (2) 部品等の取替条件
業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。
- (3) 撤去品及び残材の処置
この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。
- (4) 作業計画
業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。
なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を担当者に報告し、承諾を受けること。

以 上

（南館）ガス吸収冷温水機保守点検業務 仕様書

- 1 業務名称 ガス吸収冷温水機保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所
- 3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 契約書、仕様書は、相互に補完するものとする。
 - (3) 本仕様書に記載のない事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）に基づき実施すること。
- 5 業務概要
 - (1) 対象機器
ガス吸収冷温水機 NHG-360KQ6A（川重冷熱工業株式会社製）2台
 - (2) 設置場所
南館 屋上
 - (3) 点検項目・内容

点検項目	点検内容
冷房シーズンイン点検	絶縁抵抗試験 センサー抵抗確認 電磁開閉器の確認 本体外観確認 ガス配管点検 運転盤点検 遮断弁点検 燃焼装置の点検 燃焼状態の点検・調整 安全装置の点検 真空度の点検 ポンプ・モーターの点検 機内抵抗の確認 制御系数値の確認 運転データの記録と点検（専用ツールによる）

点検項目	点検内容
冷房シーズンオン点検	本体外観確認 ガス配管点検 機器動作点検 燃焼装置の点検 燃焼状態の点検・調整 真空度の点検 ポンプ・モーターの点検 機内抵抗の確認 制御数値の確認 運転データの記録と点検（専用ツールによる） 冷却水水質チェック
暖房シーズンイン点検	絶縁抵抗試験 センサー抵抗確認 電磁開閉器の確認 本体外観確認 ガス配管点検 運転盤点検 遮断弁点検 燃焼装置の点検 燃焼状態の点検・調整 安全装置の点検 真空度の点検 ポンプ・モーターの点検 機内抵抗の確認 制御数値の確認 運転データの記録と点検（専用ツールによる）
暖房シーズンオン点検	本体外観確認 ガス配管点検 機器動作点検 燃焼装置の点検 燃焼状態の点検・調整 真空度の点検 ポンプ・モーターの点検 機内抵抗の確認 制御数値の確認 運転データの記録と点検（専用ツールによる）

点検項目	点検内容
冷却水系チューブ清掃	冷却水配管内の水抜き、水張り 水室カバー取外し、取付（片面のみ） 伝熱管、管板、水室カバーの点検 伝熱管清掃 水室内・水室カバーのケレン清掃及び部分塗装
溶液分析	溶液サンプリング分析 分析結果によるインヒビター濃度の判定 分析結果によるインヒビター濃度の調整 ※ 溶液精製は除く

(4) 点検回数・実施時期

本業務で実施する年度別点検項目は、業務対象欄「○」で示すものとする。

点検項目	点検回数	実施時期	業務対象		
			8年度	9年度	10年度
冷房シーズンイン点検	1回／年	4～5月	○	○	○
冷房シーズンオン点検	1回／年	7～9月	○	○	○
暖房シーズンイン点検	1回／年	10～11月	○	○	—
暖房シーズンオン点検	1回／年	1～2月	○	○	—
冷却水チューブ洗浄	1回／年	4～5月	○	○	○
溶液分析	1回／年	4～5月	○	○	○
異常発生時の緊急対応	都度	都度	○	○	○

(5) 故障等の対応

履行期間内に故障等の不具合が発生した場合は、直ちに現場確認を行い、対応について発注者と協議すること。

6 提出書類

- (1) 業務計画書（工程表・作業員名簿・業務内容・緊急連絡体制表など）
- (2) 業務報告書
- (3) 業務写真
- (4) その他発注者が要求するもの

7 その他の事項

- (1) 業務の日程については、発注者の承諾を得ること。
- (2) 業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- (3) 業務に必要な電気、ガス及び水の使用については、発注者と協議すること。
- (4) 点検中に設備の異常を発見した場合は、直ちに発注者に報告すること。
- (5) 発注者又は第三者に危害又は損害を与えた場合は、直ちに発注者に報告すると共に受注者の責任において必要な措置を講じること。
- (6) 業務により発生した廃棄物は、関係法令に基づき適切に処分すること。

仕 様 書

- 1 業務名称 自動扉保守点検業務
- 2 業務場所 大阪市東成区中道1丁目3番3号
- 3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 目 的 本業務は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所（以下、「法人」という。）に設置している自動扉の保守点検を実施することで、その機能を良好な状態に維持することを目的とする。
- 5 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
 - (3) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）に基づき実施すること。
- 6 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 7 その他
 - (1) 作業員は、会社名、氏名を記載した名札を着用すること。
 - (2) 本業務に使用する機器及び材料以外の物品を持ち込んではいけない。
 - (3) 受注者は、作業中破損箇所を発見したときは、直ちに法人担当者に報告し指示を受けること。
 - (4) 受注者は、緊急体制表を提出すること。
 - (5) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、法人の業務に支障をきたすと思われる作業については、事前に作業の内容及び作業日程等を法人担当者に通知すること。

8 保守点検対象

【北館】

1 階

- | | | | |
|---------------|-------------|-----|--------------------|
| ○ 北側エントランス出入口 | 両開き② | 1 台 | (ナブテスコ株式会社製 D S 型) |
| ○ 北側エントランス風除室 | 片開き①(E)③(W) | 2 台 | (ナブテスコ株式会社製 D S 型) |
| ○ 南側エントランス出入口 | 両開き⑤ | 1 台 | (ナブテスコ株式会社製 D S 型) |
| ○ 南側エントランス風除室 | 片開き④(W)⑥(E) | 2 台 | (ナブテスコ株式会社製 D S 型) |

計 6 台

【南館】

5 階

- | | | | |
|--------------|-------------|-----|--------------------|
| ○ 検体受付室 5-1 | 片開き⑨ | 1 台 | (ナブテスコ株式会社製 V S 型) |
| ○ 腸管系細菌検体処理室 | 片開き⑦(O)⑧(I) | 2 台 | (ナブテスコ株式会社製 V S 型) |
| ○ 汚染食品等検査室 | 片開き⑪(O)⑫(I) | 2 台 | (ナブテスコ株式会社製 V S 型) |

○ 腸管系細菌分離室	片開き⑬	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 腸管系細菌解析室	片開き⑭(R)⑮(L)	2 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 呼吸器・耐性菌検査室	片開き⑳	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 洗浄滅菌室 5	片開き㉑	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 食品処理室	片開き⑩	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 食品細菌分離室	片開き⑯	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 収去フラン器室	片開き⑮(I)⑰(O)	2 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 核酸解析室	片開き⑲(I)㉒(O)	2 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)

7 階

○ 抗酸菌検査・解析室	片開き㉔(L)㉕(R)	2 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)
○ 細菌用安全実験室	片開き㉓	1 台	(ナブテスコ株式会社製 V S 型)

計 19 台

※ (E)：東側 (W)：西側 (L)：左側 (R)：右側 (I)：IN (O)：OUT

9 業務内容

(1) 自動扉の定期点検を令和 8 年度・9 年度は年 2 回（4 月～9 月 1 回・10 月～3 月 1 回）、令和 10 年度は年 1 回（4 月～9 月 1 回）行う。

(2) 保守点検の範囲

○ 自動扉開閉装置	駆動部	(ドアエンジン・プーリー・連結ベルト)
○ 自動扉開閉装置	懸架部	(ドアハンガー・ハンガーレール)
○ 自動扉開閉装置	制御部	(コントローラー・配線モジュール)
○ 自動扉開閉装置	検出部	(起動センサー・補助光電センサー) 北館のみ
○ 自動扉開閉装置	検出部	(起動センサー(兼保護装置))
○ 補助光電センサー		(兼保護装置) 南館のみ
○ 自動扉開閉装置	その他	(電気錠・オプション品) 北館のみ
○ 自動扉開閉装置	その他	(オプション品) 南館のみ

(3) 保守点検の範囲外

○ 建具類（ガラス・サッシ・振れ止め・ガイドレール類・錠錠など）
○ 対象範囲に起因しない作業に伴う扉脱着作業費など
○ 連動設備類（テンキー・キースイッチ・集合インターホン・非常開放スイッチなど）
○ 受注者が納入・施工しない連動設備類

(4) 点検整備項目

【北館】

区 分	詳 細
作動履歴の確認	累計開閉回数、サーマル作動回数、セーフティ発生回数
自己診断エラー表示の有無	設定機器（ハンディーターミナル）によりエラー表示の確認
各種設定の確認	開き速度、閉じ速度、開放タイマー、各種トルク、クッション速度及び距離、開閉セーフティ感度
懸架部点検	ハンガーレールの状態（異音、損傷、締結材緩み）、ドアハンガーの状態（異音、損傷、締結材緩み、踊り止め隙間）、ストッパーの状態（損

	傷、指挟み防止 25mm 以上)、有効開口幅実測・確認
動力作動部点検	手動開閉時の異音、干渉確認、ドアエンジン締結材緩み、グリース漏れ、防振ゴム損傷状態、駆動・従動各プーリーの状態（回転、亀裂・欠け）、電気錠の型式・作動状態・手動解錠（対象機器のみ）、電気錠制御器の型式・接続状態、タイミングベルト（チェーンワイヤー）の状態（ひび割れ、ささくれ、キンク、錆）
制御装置点検	開速度、閉速度、クッション作用、開き保持時間
センサー部点検	センサー検出範囲及び感度、補助センサー作動状況
電気回路	配線の支持・接続状態及び被覆の亀裂の有無、機器の導通確認（保護接地の確認）、電源電圧の測定（1 回／年）、絶縁抵抗の測定（必要により）
その他	自動ドアステッカー・警告ラベル、故障時連絡先シール、（注 1）PC-1 機器作動、オプション品(PC-1 機器作動を除く)

（注 1）PC-1 機器作動のオプション契約加入時に適用とする。

* 機種・仕様により点検項目と取得できる情報は異なる。

【南館】

区 分	詳 細
作動履歴の確認	累計開閉回数、サーマル作動回数、セーフティ発生回数
自己診断エラー表示の有無	設定機器（ハンディーターミナル）によりエラー表示の確認
各種設定の確認	開き速度、閉じ速度、開放タイマー、各種トルク、クッション速度及び距離、開閉セーフティ感度
懸架部点検	ハンガーレールの状態（異音、損傷、締結材緩み）、ドアハンガーの状態（異音、損傷、締結材緩み、踊り止め隙間）、ストッパーの状態（損傷、指挟み防止 25mm 以上）、有効開口幅実測・確認
動力作動部点検	手動開閉時の異音、干渉確認、ドアエンジン締結材緩み、グリース漏れ、防振ゴム損傷状態、駆動・従動各プーリーの状態（回転、亀裂・欠け）、電気錠の型式・作動状態・手動解錠（対象機器のみ）、電気錠制御器の型式・接続状態、タイミングベルト（チェーンワイヤー）の状態（ひび割れ、ささくれ、キンク、錆）
制御装置点検	各種設定通りに動作しているか確認（開速度、閉速度、開放タイマー、クッション動作）、制御装置の状態
センサー部点検	センサー（起動・併用）検出範囲及び感度、センサー（保護用）検出範囲及び感度・保護領域の静止検知、補助センサー作動状況
電気回路	配線の支持・接続状態及び被覆の亀裂の有無、機器の導通確認（保護接地の確認）、電源電圧の測定（1 回／年）、絶縁抵抗の測定（必要により）
J I S 対応	安全防護「開」作動（各種安全防護対策実施）、安全防護「閉」作動（各種安全防護対策実施）
その他	ステッカー類の貼付け（①表示・②警告・③戸袋・④型式）オプション機器の状態（バッテリー型式、容量、使用期間等）（WO 作動、

	PC-1 作動、HDC 等)
--	----------------

* 機種・仕様により点検項目と取得できる情報は異なる。

(5) 確認項目

【北館】

サッシ部の確認	無目点検カバー取付状態、ガイドレール内の状態、扉の状態、振れ止め・扉ガイドの取付状態、指挟み防止対策、各部適正隙間確認
---------	---

【南館】

サッシ部の確認	無目点検カバーの取付状態（破損、締結材緩み）、ガイドレール・振れ止めの状態（変形、損傷、がたつき確認）、ドアの状態（切傷、擦傷などの危険源がない）、ガラスの状態（安全ガラス・飛散防止フィルム貼り、損傷なし）
---------	---

- (6) 作業は、自動ドア施工技能士（厚生労働省認定）の資格を有する者が自ら行なうか、施工技能士に指導を受けた必要な技術力を有する者が行うこと。
- (7) 点検項目及び判定基準は、自動ドア保守基準（JADA A 0003 全国自動ドア協会）、自動ドア安全ガイドライン（JADA B 0005 全国自動ドア協会）及び自動ドア点検基準書（ナブコドア株式会社 HD0029）に基づくものとする。
- (8) 契約期間中に故障が発生した場合は、速やかに技術員を派遣し、適切な処置をとること。

10 報告書

- (1) 点検及び緊急事態の発生時に報告書を作成の上、法人担当者に提出すること。
- (2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
- (3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。

11 検 査 受注者は、本委託が完了した時、発注者の検査を受検すること。

12 費用負担区分

- (1) 点検及び故障修理時の技術員の技術料及び諸経費は受注者の負担とする。
- (2) 本装置の内、次の部品等は受注者の負担とする。
- 本装置のヒューズ
 - 潤滑油
 - 標準ライナー
 - ボルト・ビス類
- (3) 本装置の内、次の部品等は受注者の負担とする。（南館のみ）
- ドアハンガー
 - 連結ベルト
 - プーリー
- (4) 前項以外の取替部品費用は別途とし、取替作業費及び諸経費は受注者の負担とする。
- (5) 次の内容については、別途とする。
- 発注者の要望による本装置の仕様変更や改造に伴う工事費及び諸経費
 - 契約対象自動ドア装置の移設に伴う工事費及び諸経費

○ 点検及び故障修理時の警備立会費用等、受注者の直接作業以外の費用

(6) 通常業務時間外の緊急修理派遣費用

発注者の要請により緊急出動を要する場合に限り、発注者は下記の緊急出動費を負担するものとする。
ただし、受注者の発意により、且つ発注者の承認を得て作業した場合はこの限りではない。

区 分		適用時間	緊急修理派遣費用
平 日	早朝作業	5:00 ～ 8:00	5,000 円
	夜間作業	18:00 ～ 22:00	5,000 円
	深夜作業	22:00 ～ 翌 5:00	10,000 円
休 日※	通常作業	8:00 ～ 18:00	5,000 円
	早朝作業	5:00 ～ 8:00	10,000 円
	夜間作業	18:00 ～ 22:00	10,000 円
	深夜作業	22:00 ～ 翌 5:00	15,000 円

※ 日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 30 日から 1 月 3 日）の作業に適用する。

13 その他

(1) 修理等の処置

業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(2) 部品等の取替条件

業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(3) 撤去品及び残材の処置

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。

(4) 作業計画

業務実施に先立ち法人担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。
なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を法人担当者に報告し、承諾を受けること。

(5) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

仕 様 書

- 1 業務名称 排水処理設備保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
 - (3) 大阪市下水道条例第10条の2第2項に基づき設置した除害施設について、適正に維持管理を行うものとする。
- 5 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 6 その他
 - (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
 - (2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
 - (3) 受注者は、作業中破損箇所を発見したときは、直ちに施設ITグループ担当職員（以下「担当者」という。）に報告し指示を受けること。
 - (4) 連絡体制として、受注者は緊急時に備え、早急に措置が取れるように緊急体制表を担当者に提出すること。
 - (5) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を監督職員に通知するとともに担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。
- 7 委託概要及び委託範囲
 - 仕 様 排水処理設備を良好な状態に維持するため、点検を実施すること。
 - 1 業務内容
排水処理設備の点検を毎月1回行う。
点検仕様については、別紙による。
 - 2 故障応答
履行期間中故障が発生した場合は、速やかに技術員を派遣し、適切な処置をとること。
 - 3 報告書
 - (1) 点検及び緊急事態の発生時に報告書を作成の上、担当者に提出すること。
 - (2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
 - (3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。
 - 4 検 査
受注者は、本委託が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けること。

5 その他

(1) 修理等の処置

業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(2) 部品等の取替条件

業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(3) 撤去品及び残材の処置

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。

(4) 作業計画

業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。

なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を担当者に報告し、承諾を受けること。

(5) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

以 上

点 検 仕 様

1 点 検 機 器

NO	機 器 名 称	数量	単位	機器仕様	備 考
1	中和槽ユニット	1	台	1,200×1,200×1,300H 有効水深1,100H 有効容量 1.5m ³ 攪拌機 縦形ギヤー式 360rpm×0.4kW×1 中和用pH電極 浸漬型×1 監視用pH電極 浸漬型×1	
2	中和ユニット付属制御盤	1	台	自立型 700×300×1,000H 中和用pH指示調節計 監視用pH指示調節計 pH記録計	
3	原水ポンプ	2	台	水中ポンプ 50φ×0.1m ³ /分×9mH×0.4kW	
4	放流ポンプ	2	台	水中ポンプ 65φ×0.4m ³ /分×12mH×2.2kW	
5	酸剤注入装置	1	台	タンク 100L 減液警報付 ポンプ 38cc/分×1.0MPa×20W	
6	アルカリ剤注入装置	1	台	タンク 100L 減液警報付 ポンプ 38cc/分×1.0MPa×20W	
7	放流弁	1	台	電動バタフライ弁 80A	
8	返送弁	1	台	電動バタフライ弁 80A	
9	原水槽水位計	3	台	フロート	
10	放流槽水位計	3	台	フロート	

2 点 検 内 容

NO	機 器 名 称	点検内容	備 考
1	中和槽ユニット	pH電極洗浄校正 pH電極ホルダー内部KCL液の確認・補充 攪拌機動作点検 中和制御確認、調整 薬液注入点の清掃	pH電極交換 KCL液補充（適宜）
2	中和ユニット付属制御盤	絶縁抵抗値測定 各機器運転電流値確認・記録 自動制御点検 盤内警報確認	pH記録用紙(2冊/箱)を4箱納品
3	原水ポンプ	動作点検、運転電流値確認	
4	放流ポンプ	動作点検、運転電流値確認	

NO	機 器 名 称	点検内容	備 考
5	酸剤注入装置	動作点検 液漏有無の確認 薬注確認	ダイヤフラム交換
6	アルカリ剤注入装置	動作点検 液漏有無の確認 薬注確認	ダイヤフラム交換
7	放流弁	手動動作確認 pH値との連動試験	
8	返送弁	手動動作確認 pH値との連動試験	
9	原水槽水位計	フロート動作試験	フロート交換（2年に1回）
10	放流槽水位計	フロート動作試験	フロート交換（2年に1回）

3 交 換 部 品

本業務で実施する年度別交換部品は、交換年度欄「○」で示すものとする。

NO	機器名称	部品名称	交換年度			備考
			R8	R9	R10	
1	中和槽ユニット	中和用pH電極	○	○	—	
		監視用pH電極	○	○	—	
2	中和ユニット付属制御盤	pH記録用紙	○	○	—	2冊/箱を4箱納品
3	酸剤注入装置	ダイヤフラム	○	○	—	
4	アルカリ剤注入装置	ダイヤフラム	○	○	—	
5	原水槽水位計	フロート	○	—	—	
6	放流槽水位計	フロート	—	○	—	

仕 様 書

- 1 業務名称 防災監視システム保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
 - (3) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）に基づき実施すること。
- 5 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 6 その他
 - (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
 - (2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
 - (3) 受注者は、作業中破損箇所を発見したときは、直ちに施設ＩＴグループ担当職員（以下「担当者」という。）に報告し指示を受けること。
 - (4) 連絡体制として、受注者は緊急時に備え、早急に措置が取れるように緊急体制表を担当者に提出すること。
 - (5) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を監督職員に通知するとともに担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。
- 7 委託概要及び委託範囲
 - 仕 様 防災監視システムを良好な状態に維持するため、点検を実施すること。
 - 1 業務内容
防災監視システムの点検を年2回行う。
点検仕様及び参考システム図については、別紙－1、別紙－2による。
 - 2 故障応答
履行期間中故障や異常が発生した場合は、原則として故障等の受付をした当日に技術員を派遣し、調査・復旧作業を行うこと。
 - (1) 故障等受付時間帯は、24時間365日とする。
 - (2) 技術員派遣時間帯は、24時間365日とする。
 - 3 報告書
 - (1) 点検及び緊急事態の発生時に報告書を作成の上、担当者に提出すること。
 - (2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
 - (3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。
 - 4 検 査
受注者は、本委託が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けること。

5 その他

(1) 修理等の処置

業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(2) 部品等の取替条件

業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(3) 撤去品及び残材の処置

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。

(4) 作業計画

業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。

なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を担当者に報告し、承諾を受けること。

(5) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

以 上

点 検 仕 様

1. 点検時期等

	8 年度		9 年度		10 年度	
時期	6 月～7 月	1 月～2 月	6 月～7 月	1 月～2 月	6 月～7 月	1 月～2 月
回数	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回	対象外

2. 防災システム運用状態

- 2. 1 受信機地区表示部、各 LED 点灯状態の確認
- 2. 2 受信機液晶表示部（各種設定画面）、設定状態の確認
- 2. 3 自動試験結果及び感知器汚れリストの確認
- 2. 4 受信機履歴・予約機能の点検項目確認

3. 受信機、附属装置 外観・機能点検

- 3. 1 受信機・副受信機等 外観点検
- 3. 2 受信機・副受信機等 機能点検

4. 受信機及び附属装置 電圧測定

- 4. 1 受信機電源 充電回路電圧測定
- 4. 2 受信機電源 出力電圧測定
- 4. 3 受信機予備電源 放電試験

5. 受信機 伝送系測定

- 5. 1 対地間電圧測定
- 5. 2 感知器 伝送波形測定 (SA/SB)
- 5. 3 LON 幹線 伝送波形測定 (TA/TB)
- 5. 4 制御幹線 伝送波形測定 (NA/NB)
- 5. 5 制御幹線 伝送波形測定 (S+/S-) (副表示機)

6. 附属装置電源部 電圧測定

- 6. 1 防災用直流電源 電圧測定

7. 中継器 機能点検

- 7. 1 中継器 機能点検
- 7. 2 中継器 制御電源 電圧測定
- 7. 3 中継器 排煙口電源 電圧測定
- 7. 4 中継器 ガス検知器 電圧測定

8. センター表示装置 外観・機能点検

- 8. 1 センター表示装置 外観点検

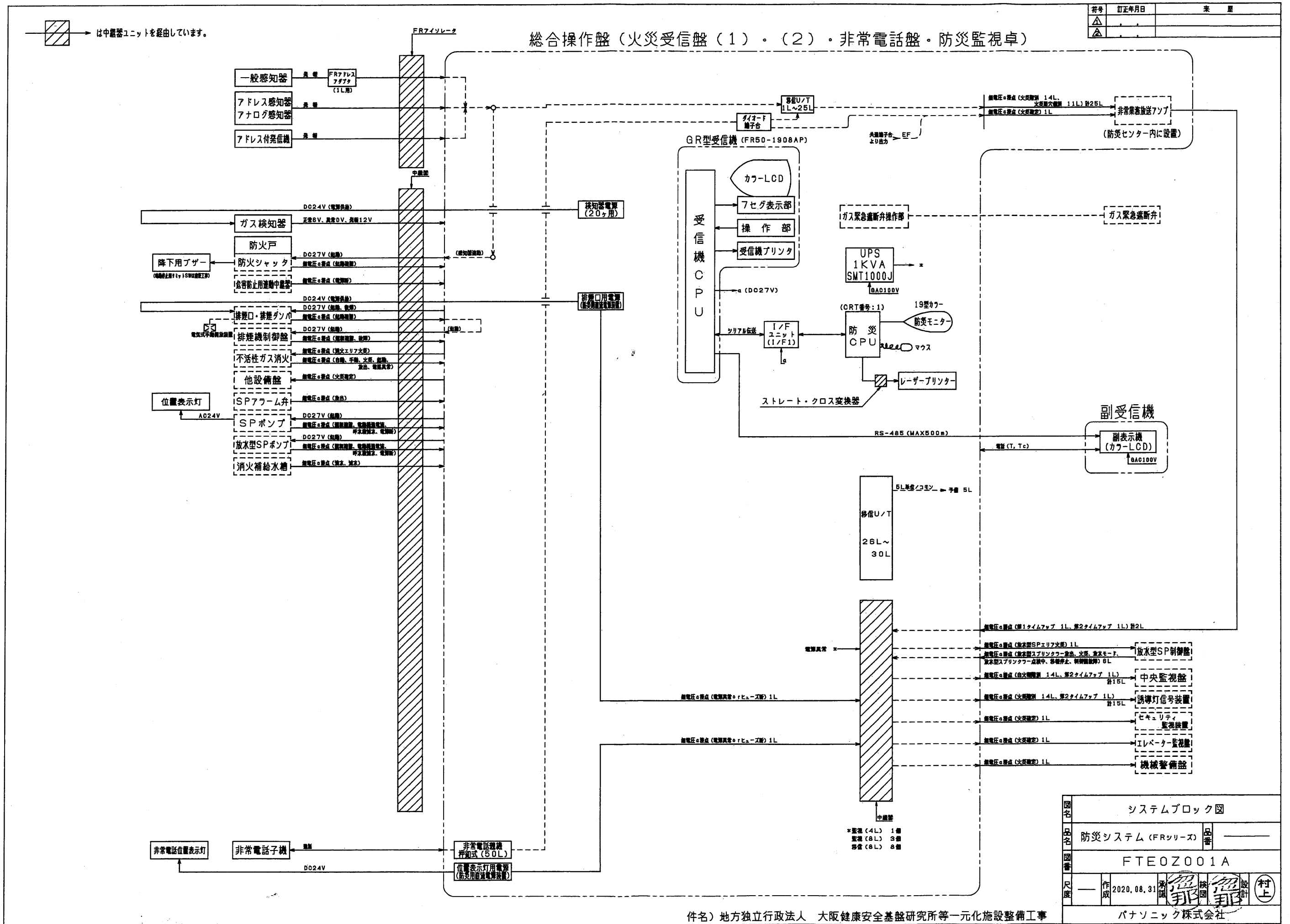
8. 2 センター表示装置 一般機能点検

8. 3 センター表示装置 機能点検

9. FRコントローラ 外観・機能点検

9. 1 FRコントローラ外部・内部点検

9. 2 FRコントローラ機能点検



仕 様 書

- 1 業務名称 入退室管理設備保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 適用範囲
 - (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
 - (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
 - (3) オンサイト契約、オンコール契約を含むものとする。
 - (4) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）によるものとする。
- 5 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- 6 その他
 - (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
 - (2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
 - (3) 受注者は、作業中破損個所を発見したときは、直ちに施設ITグループ担当職員（以下「担当者」という。）に報告し指示を受けること。
 - (4) 連絡体制として、受注者は緊急時に備え、早急に措置が取れるように緊急体制表を担当者に提出すること。
 - (5) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を監督職員に通知するとともに担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。

7 委託概要及び委託範囲

仕 様 入退室管理設備を良好な状態に維持するため、点検を実施すること。

1 業務内容

入退室管理設備の点検を年1回行う。

	8年度	9年度	10年度
時期	10月～11月	10月～11月	—
回数	1回	1回	—

点検仕様については、別紙による。

2 故障応答

故障が発生した場合は、速やかに技術員を派遣し、適切な処置をとること。

3 報告書

- (1) 点検及び緊急事態の発生時に報告書を作成の上、担当者に提出すること。
- (2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
- (3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。

4 検 査

受注者は、本委託が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けるこ

と。

5 その他

(1) 修理等の処置

業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(2) 部品等の取替条件

業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(3) 撤去品及び残材の処置

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。

(4) 作業計画

業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。

なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を担当者に報告し、承諾を受けること。

(5) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

以 上

点 検 仕 様

入 退 室 管 理 設 備

機器名称		数量	単位	点 検 内 容	備 考
セ ン タ ー 装 置	セキュリティ監視装置	1	台	外観点検 筐体及び筐体内部の清掃 マウスの動作確認 キートップ・キー隙間の清掃 キーボードの動作確認 ディスプレイ表示部の清掃 ディスプレイスイッチ類の確認 ディスプレイコネクタの緩み確認 エラー確認	
	UPS	1	台	外観点検 筐体の清掃 バッテリー寿命確認 商用／バッテリーの電源切替確認 停電時出力波形測定 端子部増し締め 電圧測定 入力電圧 出力電圧 停電時出力電圧	令和8年度 バッテリー1.5KVA ×1セット交換
	管理サーバー	1	台	外観点検 筐体及び筐体内部の清掃 マウスの動作確認 キートップ・キー隙間の清掃 キーボードの動作確認 ディスプレイ表示部の清掃 ディスプレイスイッチ類の確認 ディスプレイコネクタの緩み確認 エラー確認	
	HUB	1	台	外観点検 筐体の清掃 コネクタ接続部の接続状態確認 LED点灯状態確認	
	カード読取装置	1	台	外観点検 筐体の清掃 動作確認	
	管理用パソコン	2	台	外観点検 筐体の清掃 キー隙間の清掃 キー動作確認 液晶ディスプレイ清掃 コネクタの緩み確認	

機器名称		数量	単位	点 検 内 容	備 考
ロ ー カ ル 装 置	コントロール盤（8G）	17	面	外観点検 筐体及び筐体内部の清掃 コネクタ接続部の接続状態確認 電圧測定 AC 1 0 0 V DC 5 V DC 2 4 V バッテリー電圧 バッテリー充電電圧 メモリバックアップ電池	令和 8 年度 停電補償用電 池×20個交換 メモリバ ックアップ 電池×3個交換 メモリバ ックアップ 電池(Pモデル)× 14個交換
	カードリーダー	100	台	外観点検 筐体の清掃 動作確認	
	マグネットセンサ	22	台	動作確認	

仕 様 書

1 業務名称 電力監視設備外保守点検業務

2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号

3 履行期間 令和8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで

4 目 的

本業務は、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所（以下、「法人」という。）に設置している電力監視設備及び照明制御設備の保守点検を実施することで、その機能を良好な状態に維持することを目的とする。

5 適用範囲

- (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
- (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
- (3) オンサイト契約、オンコール契約は、含むものとする。
- (4) 本仕様書に記載なき事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）によるものとする。

6 守秘義務 受注者は、業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。

7 そ の 他

- (1) 受注者は、作業員を指揮監督し、作業員が作業に従事するときは、会社名、作業員名記入の名札を付けさせる等作業員であることを明瞭にするとともに、常に清潔を保たせなければならない。
- (2) 本作業に直接使用する器具及び材料等は、すべて品質良好のものとし、これらの器具及び材料等以外の物品を所内へ搬入してはならない。
- (3) 受注者は、作業中破損箇所を発見したときは、直ちに法人担当者に報告し指示を受けること。
- (4) 連絡体制として、受注者は緊急時に備え、早急に措置が取れるように緊急体制表を法人担当者に提出すること。
- (5) 受注者は、本業務委託の実施に当たり、研究所の業務に支障をきたすと思われる作業については、作業の内容及び作業日程等を監督職員に通知するとともに法人担当者の指示により研究所関係者にも周知すること。

8 委託概要及び委託範囲

(1) 業務内容

電力監視設備、照明制御設備の点検を年1回行う。

	8年度	9年度	10年度
時期	1月～2月	1月～2月	—
回数	1回	1回	—

点検仕様については、別紙による。

(2) 故障応答

故障が発生した場合は、速やかに技術員を派遣し、適切な処置をとること。

(3) 報告書

- 1) 点検及び緊急事態の発生時に報告書を作成の上、担当者に提出すること。
- 2) 報告書には、必要に応じ写真及び資料等を添付すること。
- 3) 報告書の書式は、受注者の書式とする。

(4) 検 査

受注者は、本委託が完了した時、発注者の指定する職員による検査を受けること。

9 その他

(1) 修理等の処置

業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(2) 部品等の取替条件

業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

(3) 撤去品及び残材の処置

この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。

(4) 作業計画

業務実施に先立ち担当者と作業手順、方法、日程等十分に打合せの上、作業計画をたてること。
なお、変更の必要が生じかつ、その内容が重要と判断される場合は、変更日程を法人担当者に報告し、承諾を受けること。

(5) 提出書類

受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。

点 検 仕 様

電 力 監 視 設 備

機 器 名 称	数 量	単 位	点 検 内 容	備 考
H U B	1	台	外観点検 筐体の清掃 コネクタ部の接続状態確認	
調整用H I M (ノートP C)	1	台	筐体の清掃 キー隙間の清掃 キー動作確認 液晶ディスプレイ清掃 コネクタの緩み確認 データバックアップ	
電気B - B C	2	台	外観点検 筐体及び筐体内部の清掃 コネクタ接続部の接続状態確認 端子部増し締め 電圧測定 AC 1 0 0 V DC 5 V DC 2 4 V 伝送電圧 メモリーバックアップ電池 N - M A S T 伝送波形測定	令和 9 年度交 換部品 DC24V電源 基板×2枚 コンパクトフラッシュメ モリ×2枚 DC5V電源基 板×2枚
U P S	3	台	外観点検 筐体の清掃 バッテリー寿命確認 商用／バッテリーの電源切替確認 停電時出力波形測定 端子部増し締め 電圧測定 入力電圧 出力電圧 停電時出力電圧	本体側 1 台 R S 側 2 台
4 制御 8 監視端末器	7	台	外観点検 筐体の清掃 端子部増し締め 動作確認（端末器への模擬接点入力）	
1 6 監視端末器	39	台	外観点検 筐体の清掃 端子部増し締め 動作確認（端末器への模擬接点入力）	
4 計量端末器	2	台	外観点検 筐体の清掃 端子部増し締め 現地メーターと中央表示値との確認	

機 器 名 称	数量	単位	点 検 内 容	備 考
8 計測端末器	6	台	外観点検 筐体の清掃 端子部増し締め 現地デバイスとセンター装置または入力換算値との確認	
6 A リレー制御端末器	1	台	外観点検 筐体の清掃 端子部増し締め	
盤点検	21	面	筐体及び筐体内部の清掃 外観点検 端子部増し締め 電圧測定 入力電圧 制御・監視電圧 伝送電圧	

照 明 制 御 設 備

機 器 名 称	数量	単位	点 検 内 容	備 考
設定用保守 P C	1	台	筐体の清掃 キー隙間の清掃 キー動作確認 液晶ディスプレイ清掃 コネクタの緩み確認 データバックアップ	
照明 B - B C	2	面	外観点検 筐体及び筐体内部の清掃 コネクタ接続部の接続状態確認 端子部増し締め 電圧測定 AC 1 0 0 V DC 5 V DC 2 4 V 伝送電圧 メモリーバックアップ電池 N - M A S T 伝送波形測定	令和 9 年度交 換部品 DC24V電源 基板×2枚 コンパクトフラッシュメ モリ×2枚 DC5V電源基 板×2枚
システム拡張端末器	8	台	筐体の清掃 端子部増し締め 設定データ確認	

仕 様 書

- 1 業務名称 構内交換電話設備保守点検業務
- 2 業務場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令和8年4月1日～令和10年10月1日午前9時まで

4 適用範囲

- (1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
- (2) 契約書、仕様書（以下「設計図書」という。）は、相互に補完するものとする。
- (3) 本仕様書に記載なき事項については、電気通信事業法（昭和59年12月25日法律第86号）、端末設備等規則（昭和60年4月1日郵政省令第31号）が定める技術基準に基づき実施すること。

5 業務概要

(1) 構内交換電話設備の内容

品 名		数量	単位
北館	電子交換機 日立 CX01	1	式
	多機能電話機 HI-24G-TELSDA	16	台
	一般電話機 HI-A4Ⅱ	110	台
	コードレス電話機（親機）VE-GDL45DL	17	台
	コードレス電話機（増設子機）KX-FKD556	25	台
	コードレス電話機（充電器親機）VE-GDS15DL	26	台
南館	一般電話機 HI-A4Ⅱ	18	台
	コードレス電話機（親機）VE-GDL45DL	74	台
	コードレス電話機（増設子機）KX-FKD556	19	台
構内配線		1	式

(2) 構内交換機設置場所

北館 2階

(3) 点検回数・点検時間

技術員による点検を月1回行うこと。

点検時間は開所日の9時から17時まで

※ 開所日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く日

(4) 故障時の対応

故障等の緊急時には迅速に対応すること。

6 業務報告

- (1) 毎月の点検が完了したときは、遅滞なく業務完了報告書を発注者に提出すること。

- (2) 報告書の書式は、受注者の書式とする。

7 検 査

受注者は、本委託が完了したときは、発注者の指定する職員による検査を受けること。

8 そ の 他

- (1) 点検日については、事前に発注者の承諾を得ること。
- (2) 業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
- (3) 点検中に設備の異常を発見した場合は、直ちに発注者に報告すること。
- (4) 発注者又は第三者に危害又は損害を与えた場合は、直ちに発注者に報告すると共に受注者の責任において必要な措置を講じること。
- (5) 業務実施の結果、修理が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。
- (6) 業務実施の結果、委託契約外の機器又は部品の取替が必要な場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。
- (7) この仕様に基づく作業によって発生する撤去品及び残材は無償で引取り、受注者の負担において速やかに搬出すること。
- (8) 受注者は本業務の実施に当たり、必要な書類を発注者に提出すること。
- (9) 本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は、発注者と受注者の協議の上これを定めるものとする。

仕 様 書

- 1 業務名称 昇降機保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
- 3 履行期間 令8年4月1日から令和10年10月1日午前9時まで
- 4 対象機器 昇降機（乗用）：5基
昇降機（人荷用）：1基
小荷物専用昇降機：1基
※詳細は別紙による。
- 5 共通仕様 フルメンテナンス契約とし、乗用及び人荷用の昇降機にあつては遠隔点検付きとする。点検項目及び点検内容は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 建築保全業務共通仕様書（最新版）に基づき実施すること。
また、本仕様書に記載されていない事項は、上記仕様書に準ずる。
- 6 特記仕様
 - (1) 点検内容 乗用及び人荷用の昇降機にあつては、技術員による点検を年4回（1回／3カ月）、遠隔点検を毎月行い、小荷物専用昇降機にあつては、技術員による点検を毎月行うこととする。 毎月の業務完了後、報告書を提出すること。
また、建築基準法第12条に基づく定期検査を1回／年行い、報告書を提出するとともに、特定行政庁に報告すること。
 - (2) 保守内容 当該設備の機能を維持し安全な運行を行うため、技術員による点検の際には消耗部品等の供給・交換又は補充等を行い、必要な予防保全に努めること。
また、故障等の緊急時には迅速に対応することとし、その場合の費用は本契約に含む。また、対応の都度、報告書を提出すること。
エレベーターが地震時管制運転装置の地震感知器「低」動作により休止した場合に、対象設備が自動で関連機器を診断し、機器に異常が無いことを確認して、エレベーターを自動で仮復旧するシステムを提供すること。また、仮復旧後は専門技術員を現場へ派遣し対象設備を本復旧させるものとする。
 - (3) その他 上記（１）、（２）は最低限の要求仕様であつて、受注者の提供する標準の保守点検サービスに含まれる無償の付加機能・サービスがある場合は、

事前に発注者の承諾を得て実施すること。それにかかる追加部品等（シール等の表示も含む）の設置および契約終了時の撤去、故障時の復旧にかかる費用、また通信費等は原則、本契約に含む。

本業務で使用する受注者の資機材（脚立等）、部品・消耗品等（劣化しないものに限る）については、事前に発注者の承諾を得れば、エレベーター機械室に保管することが出来る。

本業務により発生する撤去品等は場外搬出のうえ、受注者の責めにより適正に処分すること。

その他、疑義が生じた場合は発注者、受注者協議のうえこれを定める。

昇降機設備仕様書

1号機	： 乗用（車いす用）、13人乗り（900kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転、火災管制運転	105m/分	14 停止
2号機	： 乗用、11人乗り（750kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転、火災管制運転	105m/分	14 停止
3号機	： 乗用（車いす用）、11人乗り（750kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転、火災管制運転	60m/分	7 停止
4号機	： 人荷用（非常用）、17人乗り（1,150kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転	60m/分	15 停止
5号機	： 乗用（車いす用）、15人乗り（1,00kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転、火災管制運転	60m/分	8 停止
6号機	： 乗用、15人乗り（1,00kg） 戸開走行保護装置、地震管制運転、 停電時自動着床運転、火災管制運転	60m/分	7 停止
7号機	： 小荷物専用昇降機、 フロアタイプ	200kg 45m/分	2 停止

（南館）ガスヒートポンプチラー保守点検業務
仕様書

1 業務名称

（南館）ガスヒートポンプチラー保守点検業務

2 業務場所

大阪市東成区中道一丁目3番3号

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 南館

3 履行期間

令和9年4月1日から 令和9年9月30日まで

4 作業時間

開所日の9時から17時まで

※ 開所日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く日

5 業務概要

本研究所南館に設置しているガスヒートポンプチラーの機能を良好に維持するため、定期点検を1回実施する。

6 業務対象設備

- | | | |
|----------|-----------------|-----------------|
| (1) 機 種 | ヤンマーエネルギーシステム社製 | ガスヒートポンプチラーユニット |
| (2) 型 番 | YCWP710JANB | |
| (3) 台 数 | 4台 | |
| (4) 設置場所 | 南館屋上 | |

7 業務（点検）内容

(1) エンジン系

- ① エンジンオイルの補充・交換
- ② オイルフィルターの交換
- ③ エンジンクリーナエレメントの交換
- ④ 点火プラグの交換
- ⑤ バルブクリアランスの調整
- ⑥ 排気ドレンフィルタの補充
- ⑦ 排気ドレンフィルタパッキン交換
- ⑧ 排気ドレンオイル吸着マットの交換

(2) 配管関係

- ① 燃料ホースの点検・交換
- ② 冷却水ホースの点検

(3) 駆動系

- ① V リンベルトの調整・交換

(4) 圧縮機

- ① 冷媒・冷凍機油漏点検
- ② クラッチの点検
- ③ 本体の点検

(5) 室外総合

- ① 運転音・振動の点検
- ② フィルタ（コントロールボックス）の清掃・交換
- ③ 運転データの確認

(6) フロン排出抑制法に基づく定期点検

8 提出書類

- (1) 業務工程表（計画・実施）
- (2) 業務報告書（フロン定期点検記録含む。）
- (3) 業務写真（作業前・作業中・作業後）
- (4) その他本法人職員が要求するもの

9 その他の事項

- (1) 危険を伴う作業については、関係法令を遵守するとともに十分な安全確保に努めること。
- (2) 発注者に危害又は損害を与えた場合は、受託者の責任において必要な措置を講じること。
- (3) 受注者は、保守点検契約期間内に故障が発生した場合は、速やかに現場確認を行いその後の対応は発注者と協議のうえ決定する。
- (4) 本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は、本法人職員と協議の上決定するものとする。

(北館) ガスヒートポンプチラー保守点検業務
仕様書

1 業務名称

(北館) ガスヒートポンプチラー保守点検業務

2 業務場所

大阪市東成区中道一丁目3番3号

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 北館

3 履行期間

令和7年10月1日から 令和8年3月31日まで

4 作業時間

開所日の9時から17時まで

※ 開所日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く日

5 業務概要

本研究所北館に設置しているガスヒートポンプチラーの機能を良好に維持するため、定期点検を1回実施する。

6 業務対象設備

- | | | |
|----------|-----------------|-----------------|
| (1) 機種 | ヤンマーエネルギーシステム社製 | ガスヒートポンプチラーユニット |
| (2) 型番 | YCWP710JANB | |
| (3) 台数 | 9台 | |
| (4) 設置場所 | 北館屋上 | |

7 業務（点検）内容

(1) エンジン系

- ① エンジンオイルの補充・交換
- ② オイルフィルターの交換
- ③ エンジンクリーナエレメントの交換
- ④ 点火プラグの交換
- ⑤ バルブクリアランスの調整
- ⑥ 排気ドレンフィルタの補充
- ⑦ 排気ドレンフィルタパッキン交換
- ⑧ 排気ドレンオイル吸着マットの交換

(2) 配管関係

- ① 燃料ホースの点検・交換
- ② 冷却水ホースの点検

- (3) 駆動系
 - ① V リンベルトの調整・交換
- (4) 圧縮機
 - ① 冷媒・冷凍機油漏点検
 - ② クラッチの点検
 - ③ 本体の点検
- (5) 室外総合
 - ① 運転音・振動の点検
 - ② フィルタ（コントロールボックス）の清掃・交換
 - ③ 運転データの確認
- (6) フロン排出抑制法に基づく定期点検

8 提出書類

- (1) 業務工程表（計画・実施）
- (2) 業務報告書（フロン定期点検記録含む。）
- (3) 業務写真（作業前・作業中・作業後）
- (4) その他本法人職員が要求するもの

9 その他の事項

- (1) 危険を伴う作業については、関係法令を遵守するとともに十分な安全確保に努めること。
- (2) 発注者に危害又は損害を与えた場合は、受託者の責任において必要な措置を講じること。
- (3) 受注者は、保守点検契約期間内に故障が発生した場合は、速やかに現場確認を行いその後の対応は発注者と協議のうえ決定する。
- (4) 本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は、本法人職員と協議の上決定するものとする。

（北館）空冷ヒートポンプチラー保守点検業務 仕様書

1 業務名称

（北館）空冷ヒートポンプチラー保守点検業務

2 業務場所

大阪市東成区中道一丁目3番3号

3 履行期間

令和9年4月1日 から 令和10年3月31日 まで

4 作業時間

開所日の9時から17時まで

※ 開所日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く日

5 業務概要

本研究所北館に設置している空冷ヒートポンプチラーの機能を良好に維持するため、年2回の定期点検を実施する。

6 業務対象設備

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 機 種 | 三菱電機製空冷式ヒートポンプチラー |
| (2) 型 番 | CAHV-MP1800B-P |
| (3) 台 数 | 11 台 |
| (4) 設置場所 | 北館屋上 |

7 業務内容

(1) 点検作業

① 機能点検	運転状況の確認
	冷媒系統の確認
	送風機の確認
	電気系統の確認
	保護機器の確認
② 状態点検	空気側熱交換器の確認
	水側熱交換器の確認
	パネルの確認
	ドレンパンの確認
	水配管系等の確認
	圧縮機の確認
③ フロン排出抑制法に基づく定期検査	

- (2) 業務報告書の作成・提出
- 8 提出書類
 - (1) 業務工程表（計画・実施）
 - (2) 業務報告書
 - (3) 業務写真（作業前・作業中・作業後）
 - (4) その他本法人職員が要求するもの
- 9 その他の事項
 - (1) 危険を伴う作業については、関係法令を遵守するとともに十分な安全確保に努めること。
 - (2) 発注者に危害又は損害を与えた場合は、受託者の責任において必要な措置を講じること。
 - (3) 受注者は、保守点検契約期間内に故障が発生した場合は、速やかに現場確認を行いその後の対応は発注者と協議のうえ決定する。
 - (4) 本仕様書に記載されていない事項及び疑義を生じた場合は、本法人職員と協議の上決定するものとする。

（南館）簡易ボイラー保守点検業務
仕 様 書

- 1 業務名称 簡易ボイラー保守点検業務
- 2 履行場所 大阪市東成区中道一丁目3番3号
地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所
- 3 履行期間 令和9年4月1日から 令和10年3月31日まで
- 4 作業時間
開所日の9時から17時まで
※ 開所日：土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く日
- 5 適用範囲
(1) この仕様書に規定する事項は、受注者がその責任において履行するものとする。
(2) 契約書、仕様書は、相互に補完するものとする。
(3) 本仕様書に記載のない事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備保全課保全指導室監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）に基づき実施すること
- 6 業務概要
本研究所南館に設置している簡易ボイラーの機能を良好に維持するため、定期点検を実施する。
- 7 業務対象機器
(1) 機 種 日本サーモエナー製 簡易貫流ボイラー
(2) 型 番 EQS-402NM
(3) 台 数 2台
(4) 点検回数 2回／年
- 8 保守点検要領
別紙のとおり（スタンダードプラン）
- 9 提出書類
(1) 業務計画書（工程表・作業員名簿・業務内容・緊急連絡体制表など）
(2) 業務報告書
(3) 業務写真
(4) その他発注者が要求するもの
- 10 その他の事項
(1) 業務の日程については、発注者の承諾を得ること。
(2) 業務を通じて知り得た業務上の秘密を第三者に漏らしてはならない。
(3) 業務に必要となる電気、ガス及び水の使用については、発注者と協議すること。
(4) 点検中に設備の異常を発見した場合は、直ちに発注者に報告すること。

- (5) 発注者又は第三者に危害又は損害を与えた場合は、直ちに発注者に報告すると共に受注者の責任において必要な措置を講じること。
- (6) 業務により発生した廃棄物は、関係法令に基づき適切に処分とすること。

保守点検要領

1 本体関係	(1) 缶内状況 (2) 炉内耐火材の状況 (3) 各弁類の状況 (4) 蒸気、水漏れの有無
2 給水関係	(1) 給水ストレーナーの清掃 (2) 給水ポンプの状況 (3) 逆止弁の漏れ確認 (4) 水位電極棒の清掃
3 安全装置関係	(1) 途中失火異常確認 (2) 不着火異常確認 (3) 擬似炎異常確認 (4) 感震器作動確認 (5) 安全弁漏れ確認 (6) その他異常確認
4 バーナー関係	(1) 送風機及びモーターの状況 (2) ガス遮断弁、制御弁作動確認 (3) ガス配管外部漏れ確認 (4) メイン、パイロットバーナーの清掃 (5) 火炎検出器の清掃 (6) 点火電極の清掃
5 制御関係	(1) 蒸気圧力計の状況 (2) 圧力スイッチの漏れ (3) 圧力制御動作確認 (4) 設定圧力の制御確認 (5) 風圧、ガス圧スイッチの制御確認 (6) 給水制御動作確認 (7) 燃焼制御動作確認 (8) 電磁開閉器の接点磨耗状況 (9) インバーターの状況
6 燃焼関係	(1) 燃焼ガス中の酸素濃度測定 (2) 各圧力測定 (3) フレーム電流測定 (4) 排ガス温度測定 他
7 水質管理関係	(1) 軟水の確認 (2) オートブローの作動確認 (3) オートブローストレーナの清掃 (4) 薬注ポンプ及び装置の作動確認